

全体計画

藤沢地域づくり計画



【藤沢地域づくり計画】

令和 6 年 4 月

藤沢町住民自治協議会

(目 次)

I	はじめに
II	地域づくり計画策定
1	地域づくり計画の意義
2	計画の期間
3	これまでの成果
III	目指すべき将来像
IV	分野別計画

I はじめに

藤沢町は、平成 23 年 9 月に一関市と合併し、一関市の一員としてスタートしたところです。

藤沢地域は、岩手県の南端に位置し、北に千厩町と川崎町、西に北上川を挟んで花泉町、南東に宮城県登米市東和町と気仙沼市本吉町に隣接しています。

また、地域の 60 パーセントが、標高 200m から 400m の南部北上山系に連なる山地です。この山並みを水源に大平川と合流する黄海川、大籠川と合流する二俣川、及び山谷川と合流する相川の 3 つの流域に大きく区分されるほか、増沢川は千厩川に含まれ、いずれも北上川に注いでいます。

また、古くからの歴史があり、十文字遺跡や相ノ沢遺跡など縄文時代の遺跡が多く遺されています。

さらに、前九年の役のヤマ場をなす黄海の戦い、仙台藩時代の下大籠地区を中心とした「たたら製鉄」とキリシタン殉教をめぐる出来事は大籠キリシタン資料館など町内に遺る史跡を通して、今なお訪れる人々の心に当時の歴史を語りかけています。

人口及び世帯数の推移は、次のとおりです。（令和 6 年 4 月 1 日現在）

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成 25 年 4 月	2, 946	4, 347	4, 554	8, 901
平成 30 年 4 月	2, 864	3, 931	4, 040	7, 971
令和 5 年 4 月	2, 777	3, 572	3, 544	7, 116
令和 6 年 4 月	2, 772	3, 497	3, 436	6, 933
比較（平成 25 年）	△ 174	△ 850	△ 1, 118	△ 1, 968

人口及び世帯数は減少し、高齢化率は 44 パーセントで高齢化が進んでいます。さらに 65 歳以上のひとり暮らし世帯が 539 世帯、高齢者世帯が 422 世帯と増加しており、全世帯の 34.6 パーセントにも及びます。

Ⅱ 地域づくり計画策定

1 地域づくり計画の意義

藤沢地域は、昭和 40 年代後半から、自らの地域は自らが創るという「住民自治」によるまちづくりが進められてきました。43 の自治会が結成され、自治会毎に「地域振興計画（ミニ計画）」を作り、地域づくりの指針として当時の藤沢町の総合計画の基本となりました。

平成 23 年 9 月に一関市との合併により、一関市において新たなまちづくりの方針として、協働のまちづくりとそれを推進する地域協働体の設置が提起されました。

このことを踏まえ、地域づくり計画策定（平成 26 年度～平成 30 年度）や地域協働体の設置を進めたところです。5 年毎の計画期間満了を経て、今次第 3 次の計画の策定となりました。

さらに引き続き地域づくりを進めるため、43 の自治会でミニ計画を作成し、それを基に各地区協議会（8 地区）において「地域づくり計画」を作成しました。また、志縁団体である特別会員においてもミニ計画同様の「地域づくり計画」を作成しました。

さらにこれらをベースとして、藤沢地域の将来像について、自ら考え「地域の資源・人材」を活かし、諸課題解決とより良い藤沢実現に向けた

地域づくり計画を策定しました。

なお、策定にあたり、藤沢地域内小中学生にアンケートを実施するとともに、理事会役員、藤沢地域内各所においてワークショップを開催し、広く市民の声を反映させることとしました。

2 計画の期間

10年間（令和6年度～令和15年度）

3 これまでの成果

昭和50年3月、町内の自治会の連絡・協調により、地域自治の確立を目的に「自治会連絡協議会」が設立され、その後「藤沢町自治会協議会」として改編し、さらに、平成26年11月に藤沢地域内の各種団体も含めた地域協働体として、「藤沢町住民自治協議会」と再改編し、現在に至っています。

藤沢地域においては、藤沢町時代から取り組んだ、地域ミニ計画の作成、自治のシンボルとして「希望のケルン」の建立、ビューティフル藤沢整備事業による「10万本の花咲くまち藤沢」としての花壇・フラワーロードづくり、年2回のクリーンアップ一斉清掃事業、生活物資リサイクル集団回収等を通して、これまでの住環境、自然環境の整備に取り組んできました。

さらに、地域資源を活用したお宝活用事業、おらほの里盛り上げたい事業や若者達による事業の展開など地域の連携と創造を結集し、積極的な事業を行い、地域自治の意識高揚を図ってきました。

また、想定以上の早さで進行する少子高齢化に対応するため、ここに
住む者の声を大切に「おらだのしゃべり場」と称した住民懇談会を開催
し、地域課題として浮かび上がった高齢者の移動手段への対応策とし
て、町内商店の協力を得てシニアカー緊急充電スポットの設置など、課
題解決の具体策を講じて参りました。

今後も藤沢町住民自治協議会がこれまでの活動の実績を基に、地域づ
くりの中核を担っていく使命が求められています。

Ⅲ 目指すべき将来像

みんなの藤沢 みんなでつくろう

(令和6年度～令和15年度テーマ)

- ・住民主体のまちづくりを実践しよう
- ・みんながいきいきと輝くふじさわをめざそう
- ・藤沢の魅力を広め、ふるさとへの誇りを持とう

IV 分野別計画

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
コミュニティ	少子高齢化に伴い、地域力の低下が懸念されている。 こうしたことから、社会情勢の変化に対応した自治会等の組織の見直し、事業の見直しについて常に検討していかなければならない。	【藤沢町住民自治協議会】 ○理事会 ・構成理事の役割明確化と見直し ・選出方法の見直し ○再編・統廃合希望自治会への支援強化 【藤沢町住民自治協議会、各地区協議会、自治会、特別会員】 ○少子高齢化、人口減少に対する対応 ・事業の見直し検討 ・将来を見据えた持続可能な体制の構築
コミュニティ	人口減少に伴い、事業の継続が困難な自治会等が散見される。次代を担うまちづくりの担い手の確保、ここに住む住民みんながまちづくりの主役だという原点に立ち帰る必要がある。	○住民総参加のまちづくり ・各種事業の総点検（みんなが参加できる行事の模索と見直し） ・住民懇談会開催 ・協働のまちづくり会議、地域づくりフォーラム継続開催 ○まちづくり担い手育成 ・青年層、子ども会育成組織の設立検討 ・自治会事務局会議開催 ・新自治会長等研修開催 ○協議会事務局事務効率化 ・事務の簡素化 ・文書の節減等 ・情報提供の工夫

コミュニティ	藤沢市民センターの指定管理を受託し、10年経過する。現在、当該施設のほか黄海分館を指定管理しているが、これまでの検証と今後の方向性について、検討協議していく必要がある。	○黄海分館 ・地元住民の声を集約 ・きのみっこが利用している別館の取り扱いについて協議 ・施設の老朽化に伴う施設改修 ・指定管理更新の是否検討 ・利用促進策の検討 ○藤沢市民センター ・指定管理更新の是否検討 ・利用促進策の検討 ・職員数適正配置要望
コミュニティ	本格的な人口減少を食い止めるためには、この地の魅力を創出し、この地に移住者を増やすための施策を検討していく必要がある。	○ふるさとの魅力創出事業 ・他市町村との交流事業の展開 ・地元自慢、お宝活用事業 ・郷土の歴史PR事業の展開 ・絶景風景発見、PR事業 ○みんなが輝くまちづくり展開 ・市民センター事業の充実 ・いきがい、やりがい創出事業 ふじさわ笑楽校の開校
安心、安全 (防犯・交通安全)	空き家の増加により、地域として、何らかの防犯対策が必要である。 通勤、通学路での安全確保の徹底。 さらに、高齢者の交通の足の確保に向け、歩道の整備は喫緊の課題である。	○空き家現況調査の実施 ・空き家バンク登録推奨 ・空き家解消先進地現地視察実施 ・空き家活用策の検討 ○通学、通勤時安全確保 ・歩道設置箇所拡大 ・住民総参加交通・地域安全運動の展開 ・通学路防犯灯設置箇所増設 ・危険箇所点検 ・あいさつ運動展開

安心・安全 (防災)	地球温暖化等の影響により、全国各地で想定外の大雨、洪水災害、土砂災害等をもたらし、猛威を振るっている。こうした自然災害への備えを常に行い、被害の軽減を図らなければならない。	○災害危険箇所の把握 ・危険箇所の把握 ・消防機関との連携強化 ・自主防災組織を核とした防災訓練の実施、防災に関する学習会開催 ・災害時連絡網の整備 ・黄海川、北上川の合流部に水門設置のための住民運動展開 ・黄海川堤防嵩上げ工事实現への取り組み強化
福祉 (子育て支援)	少子化の進行は地域力が低下する原因でもある。次代の地域づくりの担い手を地域みんなで育てて行かなければならない。子どもの居場所づくり、見守り等支える仕組みづくりを検討していくことが必要。	○子ども居場所づくり ・市民センター事業等青少年事業等の充実 ・自治会、各団体による子ども会支援充実 ・行政による子ども支援サービスの充実拡大 ・子育て世代の意見・要望を聞く懇談会の開催 ○世代間交流の推進 ・みんなで見守り、支え合うまちづくりを展開

福祉 (高齢者福祉)	高齢化の進行は地域力の減退、社会のデメリットばかりが強調されがちだが、いわゆる生活弱者と言われる人達も、ともに地域を支え合う欠くことの出来ない人材である。元気な高齢者を増やし、健康寿命を伸ばすとともに、高齢者の人生経験を地域に還元させる必要がある。	○元気な高齢者を増やす ・お茶飲み会継続開催 ・高齢者が生きがい、やりがいのある地域づくり展開 ・市民センター事業等高齢者事業の充実 ○高齢者の移動手段確保 ・買い物支援策検討、実施 ・生活路線への歩道設置促進 ・市営バス、デマンドタクシー利用促進、路線等拡充 ○高齢者生活支援 ・一人暮らし、高齢世帯への支援（除雪、草刈り、ゴミ出し等） ・見守り、声かけ運動実践 ・行政、社協等サービスの周知徹底
産業	農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増大など農業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりである。また、日々変化する国際情勢、人材不足など、事業所を取り巻く環境も同様に厳しいものがある。	○農業後継者の育成支援 ○耕作放棄地活用 ・住民懇談会開催 ・行政、関係機関指導、助言 ○商工業との連携 ・空き店舗活用策 ・賑わい策検討 ○観光客誘致策検討 ・館ヶ森エリア ・大籠キリシタン ○工場誘致 ○事業所との連携強化

都市間交流・移住定住・結婚	少子高齢化、人口減少は都市部を除いた全国的課題ではあり、その解決の糸口は容易に見いだせないのが実情である。 しかしながら、テーマに掲げる3つの共通ワードは「魅力の創出」である。一人ひとりが、地域の魅力を創出する、魅力あるまちづくりを展開していく必要がある。	○地元を知り、地元を発信 ・市民センターによる地元学講座開催 ・SNS,ホームページで藤沢情報発信 ・情報誌の発行 ○交流、定住人口増への挑戦 ・オンライン機器を活用し交流事業展開 ・住みやすさ、生きやすいまちを目指す。 ・市民一人ひとりが藤沢のセールスマンになる。知り合いを増やそう。 ○魅力づくり ・市民センター事業への参加 ・個性を大切にする。 ・あいさつで明るいまちづくり展開
環境	豊かな自然環境を活かしたまちづくりを展開することは、地域への愛着を醸成する大切な手段である。これまでも地域展開してきたビューティフル藤沢整備事業展開を全住民が参加していけるよう周知、実施していく必要がある。	○ビューティフル藤沢整備事業の継続 ・クリーンアップ一斉清掃の総参加体制の構築 ・花壇整備充実 ・生活物資リサイクル集団回収事業の拡充 ○自然を生かした事業展開 ・川遊び、釣り等体験事業の展開 ・昔の遊び再現 ・有害鳥獣による被害増加に伴う被害防止のための研修会等の開催

教育文化	家庭内教育、生涯学習を支援し地域力の向上に努めていくことは地域の魅力創造に大きく寄与します。 また、郷土史の伝承と、郷土芸能文化、郷土食の継承を推し進め、地域の誇りを高揚していく必要がある。	○家庭内教育支援 ・市民センター事業での支援充実 ・子育て世代との意見交換会 ○生涯学習事業展開 ・市民センター事業強化充実 ・各種団体の育成 ○郷土史伝承 ・各種団体との連携 ・黄金文化等郷土史の発掘等 ・キリシタン、製鉄文化広報等 ・前九年の役（黄海の戦い）周知 ○郷土芸能文化、郷土食 ・郷土の祭への協力 ・神楽等郷土芸能文化担い手の育成 ・市内外への情報発信
教育文化 （野焼祭等）	藤沢地域内小中学生から、郷土の一大イベントである「藤沢野焼祭」に対する声が多く出された。その多くは、祭を残して欲しい、盛り上げたいというものであった。 少子高齢化の中で、どのように持続可能な祭にすべきか、みんなで考える必要がある。	○祭の運営方法等についての見直し検討を実行委員会に提言 ・縄文村の運営 ・スタッフ、ボランティアの確保 ・市民の声を祭に反映

公共交通	藤沢地域内の公共交通は、市営バス、スクールバスによるほか、デマンド型タクシーが走っている。 住民懇談会では、多くの市民から交通の便の悪さ、高齢者の足の確保の不安の声が出ており、公共交通の充実に向けた取り組みが喫緊の課題となっている。	○市営バスとデマンド型タクシーの運行体系等抜本的な体制拡充 ・住民ニーズの把握 ・市への要望 ○ライドシェアなど新たな交通手段の検討 ・市、関係機関との協議の場設定 ・協議会専門部会での検討
道路	国道、県道、市道に関する補修、改修等については、市民の要望事項として最重要課題の一つである。 市道においては、定期的に要望箇所の現地確認を自治会と行政で行い、共通理解のもと、補修等が施工されていることから、その継続が望まれる。 一方、国道、県道においては、要望は行っているものの、その実現には至っておらず、早急の対応が望まれる。	○市道 ・維持補修、改修の定期的現地調査の継続 ・緊急を要する道路の補修等への迅速対応を要望 ・交通安全施設の改修等に対する計画的、迅速対応を要望 ・通学路、高齢者の移動のための歩道設置要望 ・道路パトロールにより除雪による市道損傷箇所迅速復旧 ○県道 ・主要地方道花泉藤沢線（白沢地内）大雨時通行不能箇所解消を要望 ・主要地方道花泉藤沢線歩道拡幅、延長改修要望 ・堀切橋幅員狭小による掛け替え要望 ・県道東和薄衣線拡幅改良工事の施工要望 ・県道大籠線補修工事の実現 ○国道 ・国道 456 号線藤沢地域内拡幅工事要望 ・国道 456 号線藤沢地域内バイパス構想の具現化

		・ 国道 456 号線七曲峠難所の解消 ・ 国道 346 号線（門の沢地区歩道整備、道路改良）改修工事要望
--	--	--

8 地区地域づくり計画

藤沢地区地域づくり計画

『藤沢地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

1 位置・地勢

2 歴史・活動の経過

3 これまでの成果

IV 分野別計画

共通テーマ 安心、安全、健康に暮らし、絆溢れる住みよいまちづくり

令和6年4月

藤沢地区自治会協議会

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10年間（令和6年度～令和15年度）

II 目指すべき将来像

安心、安全、健康に暮らし、絆溢れる住みよいまちづくり

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

藤沢地区は、藤沢の中心部に位置し、館山を南側から北側を取り囲むように広がっている。また中央に主要地方道花泉千厩線が走り、平行して前田川と南北に大平川が流れる自然環境に恵まれた地域です。町の中心部は住宅地域で、商店街及びスーパー等の商工機能、市役所支所などの行政機能、銀行・郵便局、JA支店等の金融機能、病院、特養ホーム、老健等の医療福祉機能、消防分署の災害対応機能等などがあり、認定こども園、小学校、中学校の教育環境、体育館や図書館、市民センター、文化センター等があり、多くのサービスを利用できる恵まれた環境にあります。

町地区から少し離れた地区では、農業を主体にした生活が営まれていましたが、現在では、サラリーマン世帯や2種兼業農家が大半を占め、年金世帯が増加しており、世帯間の繋がりや世帯と地域の関わりが希薄になっています。

① 人口については、下記のとおりです。

【藤沢地区世帯、人口の推移】

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成25年4月	484	622	712	1,334
令和5年4月	522	548	601	1,149
比較	38	△74	△111	△185

世帯数は核家族化が進行。人口は減少し一人暮らし世帯、高齢者世帯が増加しています。

② 公共施設等の現況

当地区は、市役所藤沢支所、藤沢駐在所、藤沢病院、老健ふじさわ、光栄荘、保健センター、藤沢分署、藤沢体育館、藤沢市民センター、藤沢図書館、認定こども園、藤沢小学校、藤沢中学校等があり、他に JA 藤沢支店、藤沢郵便局、岩手銀行藤沢支店があり、日常生活上の利便性の高い地域です。

2. 歴史・活動の経過

自治会の活動は、昭和50年7月頃に現在の1区自治会～5区自治会が結成され、藤沢地区の活動がスタートしています。

また、昭和初期に創られた「藤沢小唄」に代わり、昭和53年からは「ふじさわ音頭」が盆踊りのテーマ曲として、現在でも縄文野焼祭で継承されています。

また、当地区では、明治期に二度の大火に見舞われたことから、町地区に「火盗難防止会」が結成され、毎年旧暦1月12日に「火伏祭」が開催されています。会結成の趣旨を子どもたちに継承し、住民が一体となって防火思想の普及を図り、現在も続いている行事になっています。

3. これまでの成果

火盗難防止会は、明治期の1882年と1888年に発生した仲町中央部の火災「明治の大火」を機に発足した組織です。藤沢竹駒神社境内に本部を置き、不寝番や拍子木を鳴らしながら回番を行い、火の用心や盗難防止に努めてきた伝統ある自警団です。現在は藤沢地区の63世帯が加入し、毎週火曜日に交代で回番を実施しています。明治の大火のあった旧暦1月12日には、地元消防団や婦人消防協力隊の協力を得て「火伏祭」を開催し、藤沢竹駒神社で無火災を祈願、その後商店街をパレードしながら、地域住民に火災予防を呼び掛けています。防火活動への貢献に対し1988年（昭和63年3月）両磐地区消防組合消防長、1993年に岩手県警察本部長、社団法人岩手県防犯協会より表彰状を授与されています。また、感謝状についても、1988年（昭和63年5月）に東磐井防犯協会連合会長、千厩警察署長から、1990年（平成2年3月）には、財団法人岩手県消防協会より授与されています。

また、平成25年度には、いちのせき元気な地域づくり事業の認定を受け、藤沢地域全体に防火意識の輪を広げていく取り組みを行なっています。

IV 分野別計画

1. 安心、安全、健康に暮らし、絆溢れる住みよいまちづくり

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
産業 商業	町外大型商業施設への消費者流出の形は変わらず、地区内商店の閉店が後を絶たない。 また、人口減による消費者の減少が店舗の維持を困難にしている。	事業者は継続に傾注し、消費者は傍観者にならず、互恵精神の発揮
産業 農業	農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増大は今後とも進むと思われる。地区の形態から大型化は困難な状況にあり、農地の有効活用が求められている。	大型化が推奨されたが、後継者不足が問題化されつつある。 支援を拡大して後継者を育成しなければならない。
道路	地区内、特に町地区と町裏地区の国道・県道・市道は拡幅が困難であり、通行車両数も多く歩行者への安全確保が喫緊の課題である。	バイパス施工の実現
道路 排水	集中豪雨的な降雨時の冠水対策、横断暗渠やU字溝は改修されているが、継続して改修しなければならない。	道路管理者による現状確認を早急を実施して改修されなければならない。
道路 除雪	除雪車による除雪は行われているが、残された雪の処理に困っている。車両通行・歩行者通行に危険な状況となっている。	特に、凍結が烈しい路線箇所は自らが利用する思いで除雪すべき。空き家・高齢者世帯の増加により、自前の除雪も難しく自助、近助に加えて公助を検討する時期になっているのではいか。
道路 交通安全	改良工事の困難な道路が多く、事故の危険性が高い場所も多く、増水時に冠水する箇所も多い。	道路標識、停止線・路側帯が見えないように道路管理の徹底を図る。
公共交通	地区内の公共交通は市営バスがあるが、本数も少なく利用率も低い。 運転免許返納後の利用性の悪さから、返納も進んでいない状況にある。	町内にあっては、スクールバス、患者輸送利用の検討。ファミリーカーシェアリング、ライドシェアの導入

地域コミュニティ 自治会	少子高齢化、若者の町外流出による人口減少が進み、自治会運営が困難となっている。	自治会活動への若い世代の参加促進方策の検討。地震、火災法面崩壊等防災意識付ける活動による連帯意識高揚
地域コミュニティ 行事等	参加者等の少ないイベント、行事などが多く見受けられ、本来の目的達成になっていない。	自治会の実態からして、行事等全ての抜本的な見直しが必要
高齢者福祉	一人暮らし世帯、高齢者世帯は 120 世帯となっており、4 軒に 1 軒が高齢者のみの世帯になっている。 食生活改善推進員が中心となった「ふれあい一皿運動」や地域お茶会の開催などで引きこもり防止や見守り活動を行っている。	限界集落の定義に合致するという自治会もある中で、単位自治会を越えた協力と地区内組織との連携強化が必要。 高齢者が孤立しないように声掛けや見守り、高齢者支援センター等の援助・支援制度を地域で理解し、自助努力が困難になった時の次の段階につないでいくことが必要。

西口地区地域づくり計画

『西口地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

1 位置・地勢

2 地域の歴史

3 自治会活動の経過

IV 分野別計画

令和6年4月

西口自治会協議会

I 計画期間

この計画期間は、10 年間（令和 6 年度～令和 15 年度）です。

II 目指すべき将来像

「自然豊かな高鳥兎の里」の地域づくり

安全・安心な助け合いの心を大切にした地域活動

限界集落に負けない誰もが地域に住みたいと思う環境づくり

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

西口地区は、藤沢町の中心部から西へ約 5 キロに位置し、中央に主要地方道花泉藤沢線が地区東端の天神橋付近で大平川と合流した黄海川と並行して走り、西部は黄海地区と接し、一関と藤沢を結ぶ藤崎線が北端の高鳥兎山（312.8m）・烏森山（308m）を境に藤沢地区増沢地区・川崎町に接しており、南部は深萱地区と隣接しており、黄海川を挟んで南北に 3 自治会、153 世帯 477 人が生活する自然豊かな典型的中山間地である。

自治会の発足は早く、各種行事や事業を活発に行ってきたが、社会生活の変化に伴い限られた行事にも参加者が減り、近所でも顔を合わせる機会が少なくなっている。

ほとんどが兼業農家で、町内や近隣市町の職場に勤務しており、日中は高齢者が留守を守っている状況である。

公共交通機関は、市営バス 2 路線になり、本数も減り殆どがマイカーに頼るしかない状況である。免許証の自主返納によりデマンドタクシーの利用も増えてきている。

当地域でも、少子高齢化が顕著で、高齢化率は約 48%と高く、独居老人世帯が多くなり見守り活動や身の回りのお世話等の「生活支援」が必要である。

また草刈りや側溝の清掃等の共同作業に体力的に参加が難しくなり支障が出てきており、従来の班の見直しや、近い将来に地区自治会の統合が必要である。

2. 地区の歴史

西口地区のシンボルは高鳥兎山と烏森山で、旧西口分校付近は荒屋長者の屋敷跡の伝説があり、発掘調査が行われ、竪穴式住居跡や大量の土器を破棄した遺稿が出土し調査の結果今から約 4500 年前（縄文時代中期後半）の遺跡と判明、中でも岩偶（石製の人型）はこの時期では全国で唯一の物として貴重である。

白沢聖観音は平安時代の寛平元年（889）の安置と云われ、正月の 7 日に行われる筒粥の神事おためしは約 500 年前から行われており、天喜 5 年（1057）前九年の黄海の戦いにまつわる「散臣長根」「名乗り坂」「葛藤地（格闘地）」等の地名や伝説も多く、古くからの産金地帯で平泉文化を支えたともいわれ、貴重な古文書や文化遺産もたくさん守り伝えられている。中世には八沢本郷に属し、明治中期まで西口村として一つの行政区画であった

3. 活動の経過

昭和 4 7 年に各行政区ごとに自治会が発足し、自治会単位で健康づくり、福祉・スポーツ、演芸会等活発に活動してきた。

昭和 60 年に西口地区コミュニティセンターが完成し、3 自治会全体の行事開催が可能になった。演芸大会や敬老会、交通安全・防犯研修会等を行えるようになった。平成 5 年 4 月に西口地区体育館が落成し、自治会対抗スポーツレクリエーション等盛んに開催されてきたが、ここ数年は少子高齢化により体育館の利用はほとんどない状態である。

令和 5 年度末で指定管理から外れ廃止となった。西口地区コミュニティセンターは令和 7 年度末に指定管理が終了し、以降については市と協議を行う予定である。

① 西口地区世帯、人口の推移

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成 3 0 年 4 月	1 8 0	2 8 0	2 7 6	5 5 6
令和 5 年 4 月	1 5 3	2 3 8	2 3 9	4 4 7
比較	▲ 2 7	▲ 4 2	▲ 3 7	▲ 7 9

世帯数及び人口が減少しています。

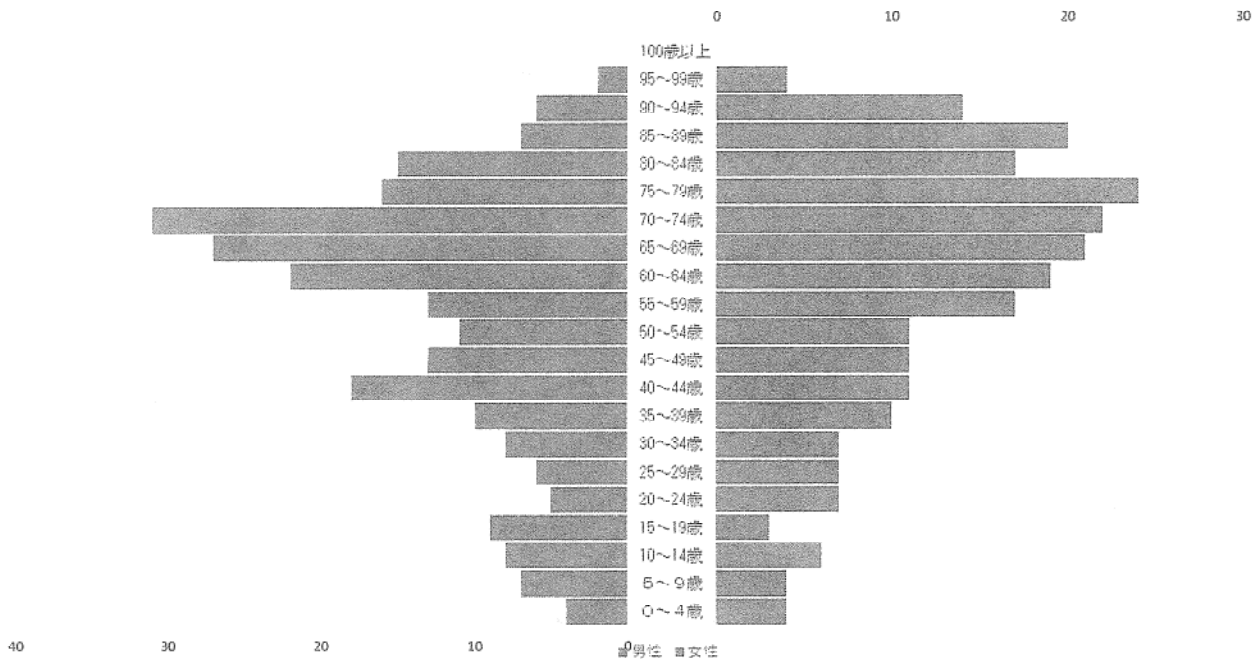
② 高齢者の状況

年	人口	65 歳以上 人口	高齢化率	ひとり暮らし 高齢者	高齢者のみの世帯	
平成 30 年	551 人	223 人	40. 47%	24 人	17 世帯	39 人
令和 5 年	466 人	223 人	47. 85%	24 人	25 世帯	54 人
比較	▲85 人		7. 38%		8 世帯	15 人

※一関市在宅高齢者実態結果数値

調査基準日各年の 10 月 1 日

西口地区人口構成



③ 公共施設等の現況

西口コミュニティセンター

- 西口自治会協議会の役員会・総会等の利用
- 西口鶴亀クラブの活動
- 西口地区敬老会の利用
- 交通・防犯座談会の利用
- 年3回草刈り・施設清掃
- 各種団体の会合等利用

④ その他の活動

- 白沢神社のおためし保存会が行っているおためし神事への協力
- 歴史講座開催
- 農村地域づくり実践活動の事業
- 緑のふるさと協力隊員の受け入れ（令和5年度）
- 西口自治会協議会・各種団体の実践活動

④ これまでの成果

西口自治会協議会の年間事業は、地区民の協力により順調に推移している
令和5年度には緑のふるさと協力隊の受け入れを行った。協力隊員には農業体験と合わせて、各自治会の行事への参加と地域情報の発信をして貰うことができた。

高齢者の生きがい交流お茶会はコロナの影響で一時的にできない時期があったが順調に行われている。

IV 分野別計画

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
地域コミュニティ	後継者難による世帯の激減、超高齢化により環境整備事業の地域住民の負担増加	地区全域の区割りの見直し、諸事業の見直しの実施（継続） 世代を超えた夫婦・親子全員参加の集う機会を増やす
	設備管理費の削減と災害時避難所施設のため施設充実、AED の設置	行政への要望（地域協力）
福祉	一緒に遊べる子供がいない 独り暮らし、高齢世帯の増加	みんなで見守り 健康ウォーキング等の町全体、他地区開催イベントへの参加 コミュニティセンター跡地へのケアハウス等の高齢者向け憩いの場所建設
産業	コミュニティセンター、体育館跡地への企業誘致の要望、地元若者の定着を目指す	耕作していない土地を就農意欲のある希望者への譲渡を簡単にできる仕組みづくりと企業誘致
	荒廃地、不耕作地の増加、山林の荒廃、竹林の増加	行政への要望（農業希望者が簡単に入植できる仕組みづくり）
教育・文化	高鳥兎山周辺を公園に向け整備し憩いの場を造る	行政への要望、地域協力による山道整備
	郷土文化の伝承	白澤神社おためし神事行事への協力・参加
防犯・交通	道路の縁石の破損個所が目立つため雨水の浸透によりがけ崩れが心配される	行政への要望 各地域の危険個所の点検
	道路全般支障木の腐蝕が目立ち倒木の恐れがある箇所が多くみられる	高齢者が多く地区対応が難しいため行政へ要望
安心・安全	大雨・洪水・地震などへの備えは充分か？	交通・防犯座談会、講習会の開催の開催、各地域の点検
道路	千厩花泉線（白沢地内）が大雨で増水すると道路に水が上がる	行政への改修工事要望
その他	鳥獣被害の拡大	行政への要望 狩猟免許取得補助と捕獲報奨金の増額及び捕獲動物処分の無償化

本郷地区地域づくり計画

『本郷地区地域づくり計画』

I 計画期間 令和6年度 ～ 15年度

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

1 位置・地勢

2 歴史・活動の経過

3 これまでの成果

IV 分野別計画

地域産業

交通整備

地域づくり

文化財の継承

高齢者福祉

令和6年4月

本郷地区自治会協議会

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10 年間（令和 6 年度～令和 15 年度）

II 目指すべき将来像

自然豊かな大地の創造「ふれあいの郷」

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

本郷地区は、藤沢町の中心部から南へ約 3 km に位置し、中央を国道 4 5 6 号線が縦断しています。近年は吉高トンネルの開通により隣接する宮城県東和町米川や中山地区との交流も増えている。東側は、保呂羽・大籠地区に接し西側は、黄海地区と隣接しており、東西に 3 自治会 2 4 8 世帯 8 2 2 人が生活する、みどり豊かな中山間地です。

自治会の発足は、昭和 4 8 年から始まり 5 0 年には 3 自治会が設立された。設立時には各種行事や事業等を活発に行ってきたが、社会生活の変化に伴い生活様式も多様化し、住民の意識・価値観も変わり自治会に対する考えも変化してきている。

大半が兼業農家で町内はもとより市内外の企業に勤務しており、高齢者が

農作業しつつ留守を守っている状況です。公共交通はデマンド型タクシーのみで、各戸マイカー使用でなければ生活できない状況です。

また少子高齢化率 40%と高く老人の一人暮らし世帯が多くなり見守りやお世話活動等「生活支援」が必要である。

自治会活動への参加が難しく班の見直しや各自治会の統合も必要と思われる。

2. 歴史・活動の経過

本郷地区には、藤沢の地名発祥の花、白藤が生息している。また、岩手県指定の文化財（阿弥陀如来）を有する藤勢寺があります。葉山神社は、旧藤沢村村社であり現在も秋の例大祭を催し御神輿巡業、奉納神楽など執り行われている。

自治会の発足当初は、健康づくり、福祉、など活発に活動し、スポーツ大会でも優秀な成績を残してきた。

3. これまでの成果

平成15年に本郷地区白藤交流会館が完成し、本郷地区としての行事開催の場が出来、活動の拠点となり各種活動が行われている。

1) 防火、防犯、交通安全各種研修会

- 2) 敬老会開催
- 3) ウォーキング教室開催
- 4) 本郷のまつり「てど」の開催
- 5) 本郷養老クラブ各種活動
- 6) 本郷神楽伝承活動
- 7) 本郷地区栄養教室・健康教室開催
- 8) 本郷ピザ同好会の立ち上げ ～野焼き祭での販売

① 人口については、下記のとおりです。(平成30年4月現在)

【本郷地区世帯、人口の推移】

	世帯数	男(人)	女(人)	計(人)
平成30年4月	244			705
令和6年4月	235	318	297	615
比較	△9			△90

世帯数及び人口は減少、一方、一人暮らし世帯、高齢者世帯が増加しています。

IV 分野別計画

○この計画は遠い活きの10年間の“方向性、をまとめるもので、具体的な事業などを決めるものではありません。

○具体的な取り組みの際には、地区協議会内で優先順位などを決め、「事業計画書（別紙）」を参考に事業計画を立て、事業を実施します。

1.

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
地域産業	本郷地区の基幹産業である農業は、兼業が多く就業者の高齢化と後継者不足により耕作放棄となり農地荒廃が進んでいる。	ア 農作業受委託組織を確立し、集落営農の推進を図る。 イ 農業後継者の育成確保を図る。
交通整備	交通面では、今だ緊急自動車の入れない道路があり病気、災害時に人命にかかわる事態になっている。3.11大震災及び復旧工事の大型車両、通行による道路の破損が多く見られる。防火用水が不足し災害時に大きな不安を抱えている。	ア 道路整備で安心安全な生活 イ 道路補修で防災、交通安全 ウ 消火栓の設置
地域づくり 文化財の継承	本郷地区には本郷白藤交流会館と第9区自治会館がありこれらを拠点に防犯・防災・交通安全等各種研修会・栄養・健康教室・老人クラブの開催また平成24年から地区敬老会・本郷のまつり「てど」等を開催していましたが、ただ今リニューアル中である。 本郷神楽の伝承活動として冬休みを活	ア 本郷自治会協議会や行政との連携を密にした活動の推進 イ 子供たちの健やかな成長のための援助活動推進 ウ 高齢者の生きがい

	用し子供芸能発表会に向けた活動を行っておりますが児童の減少後継者不足の問題を抱えている。	のための援助活動の推進 エ 地域芸能、伝統文化の保存と継承の推進
高齢者福祉	少子高齢化・一人暮らし・空き家問題等自治会員減少の課題である今大変な時期に来ている。	自治会独自で考える問題ではないと思う。 行政・住民一体となって考えていかなければならない問題 まず行政が考えること

黄海地区地域づくり計画

『黄海地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

ふれあいのある快適な住環境の創造

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢
2. 歴史・活動の経過
3. これまでの成果

IV 分野別計画

1. 自然を大切にし、安全・安心して暮らせる地域に
2. 地域資源を活用し、賑わいと活力にあふれる地域に
3. 人を育み、文化を創造する生きがいのある地域に
4. 人と人とが結び合い、支え合い、絆あふれる地域に

令和6年4月

黄海地区住民自治協議会

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10 年間（令和 6 年度から令和 15 年度）

II 目指すべき将来像

ふれあいのある快適な住環境の創造

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

黄海地区は、藤沢地域の西側に位置し、地区の西は一級河川北上川を挟んで花泉地域に接しており、東は西口地区と藤沢地区、南は宮城県登米市、北は川崎地域に接している。地区の中央を一級河川黄海川が東西に流れており、東磐井地域で一番広大な田園地帯となっている。地区の周囲は丘陵地帯となっており、山間部の頂上近くまで田畑が散在している。

基幹産業は農業であり、かつては葉煙草栽培や養蚕が盛んであったが、現在は水稲、りんご、ピーマンなどが基幹作物となっている。平地には、過去に良質な水源を活用した染め物工場もあったが衰退し、現在は鶏肉加工や化粧品製造、ガラス繊維強化プラスチック工場などが稼働している。地区の南側には、国営農地開発事業によって造成された大型圃場やダムがあり、果樹園や観光農園、動物園などがある。

黄海地区の世帯数は、令和 5 年 4 月 1 日現在で 682 世帯（うち外国人 24 世帯）であり、人口は同日現在で男性 958 人（うち外国人 12 人）、女性 939（うち外国人 25 人）の計 1,897 人（うち外国人 37 人）である。うち 6 歳から 11 歳までの小学生は 81 人、12 歳から 14 歳までの中学生は 46 人の計 127 人、65 歳以上の高齢者は 820 人で高齢化率は 43.23%になっており、少子高齢化が進んでいる。

2. 歴史・活動の経過

古の黄海は、陸奥話記によれば、前九年の役（西暦 1057 年）の時、源頼義・義家親子と安部貞任が激闘を交わした「黄海の戦い」と呼ばれる古戦場として富に有名である。

また、地勢的に北上川の狭隘地区であることと北上川と黄海川の合流部のため、古来より洪水被害に頻繁に見舞われてきており、流域の治水対策は全ての地区民にとって永年の課題である。

昭和 40 年代後半から、黄海地区にも次々と自治会が結成され、行政と一体となり、「住民自治」のもと単位自治会ごとに独自の地域づくりを展開してきた。より快適な生活環境づくりに向けた共通の取り組みとしては、ビューティフル藤沢整備事業の一環として、花壇・フラワーロード事業、生活物資リサイクル製品集団回収

事業、クリーンアップ一斉清掃事業などがある。

しかしながら、産業構造の変化や少子高齢化等によって、急激に過疎化が進んでいる。その影響もあって、自治会の担い手が不足して活動に支障を来していることから、早急に対応が迫られている。

団体功労に関する表彰では、昭和 62 年に深萱ピア推進協議会が「農村地域アメニティコンクール」で全国優良賞を受賞。この受賞を契機としてビューティフル藤沢整備事業が始まったし、平成 14 年には七日町自治会が「全日本花いっぱい和歌山大会」で花いっぱい功労表彰を受賞している。

国際交流では、二日町祭神太鼓が平成 25 年 8 月、オーストラリアで海外公演を行った。二日町祭神太鼓は、平成元年に地元有志により結成され、藤沢野焼祭をはじめ、各地域のイベントで公演し、活動の輪を今でも広げている。

伝統芸能では、神楽の「鶏舞」が数人の伝承グループと黄海小学校の保護者・児童の 2 グループにより活動が継続されている。

自主防災の面においては、昭和 56 年 8 月の台風 15 号直撃時、七日町自治会が町消防団に協力し、黄海川右岸に 16,000 袋の土嚢を積み上げ、被害を最小限に止めた。そのことがその後の防災力上大きな経験となっている。平成 18 年度には、当時の黄海地区自主防災連合会が可動式発電機、投光機、メガホン等の防災機材を藤沢市民センター黄海分館に事業導入して、防災体制の整備を図った。

3. これまでの成果

平成 28 年、「黄海地区自治会協議会」は、それまでの黄海地区の 12 の自治会に老人クラブ連合会、区長、食生活改善推進員、保健推進員、民生・児童委員、消防団、婦人消防協力隊、土地改良区、交通安全協会、防犯連絡員、環境整備友の会、農業委員、農業を考える会、遺族会、小学校 P T A、こども園保護者会、自治会女性部の各団体を編入して組織替えを行い、名称を「黄海地区住民自治協議会」に改称した。改編後の協議会は黄海地区全体の課題等について話し合う組織として機能している。

協議会には組織改編当時、「総務部」、「生涯部」、「福祉部」、「産業部」の 4 つの専門部があったが、平成 29 年 3 月に「治水対策部」を新設し、現在は 5 つの専門部で活動している。

総務部の主な活動は、平成 28 年から二日町の招魂社で関係団体と共催して黄海地区独自の「戦没者慰霊祭」を実施しているし、平成 30 年から地区内 4 箇所で「地域避難所毎運営研修会」を開催している。また、毎年「花壇コンクールの審査」も実施している。

生涯部では、以前の黄海地区スポーツ推進協議会が実施していた「黄海地区民大運動会」が 65 回を数え、地区スポーツの祭典として地区民の親睦、交流を深めていたが、令和 2 年度から 5 年度までの 4 年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止

対策の一環として開催できない状況にあり、代替としてニュースポーツ大会などを実施している。

福祉部では、平成 24 年度から市と市社会福祉協議会から委託を受け、「黄海地区敬老会」を実施していたが、これも新型コロナの影響を受けて令和 2 年度から開催を見送り、敬老者名簿と記念品の配布を行っている。

産業部では、平成 30 年度から「軽トラ市」を開催しており、地区住民はもとより、周辺の住民が大勢来訪して活気に満ちている。

治水対策部では、黄海川と北上川の合流部に「水門の設置と黄海川の堤防の嵩上げ」を要望する署名活動を展開し、集まった 1,500 名の署名とともに要望書を国土交通省岩手河川国道事務所に提出している。

また、黄海川治水対策勉強会や黄海川清掃活動のほか、国や県に対して毎年要望活動を継続して行っており、活動を通して黄海地区全体での治水対策の話し合いを進めている。このことは、治水対策が黄海地区全体の課題であることが地区住民に浸透してきている成果である。

IV 分野別計画

1. 自然を大切にし、安全・安心して暮らせる地域に

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
防犯・防災	①防火水槽、消火栓が不足している。	市に対して、有蓋防火水槽、消火栓の増設を要望する。
	②台風や集中豪雨による黄海川外側の内水被害対策が必要である。	市に対して、小河川の改修や排水機関場の設置、冠水する道路の改修について要望する。
	③台風や集中豪雨による黄海川堤防の越水対策が必要である。	県に対して、黄海川堤防の嵩上げを要望する。
	④台風や集中豪雨による北上川から黄海川への逆流水対策が必要である。	国に対して、北上川と黄海川の合流部に水門の設置を要望する。
	⑤防災計画は提起されたが、具体的避難の方法がはっきりしない。	地区の状況を考慮した避難方法を地区住民で検討し、その結果を周知するとともに避難場所や避難所毎に訓練を実施する。
	⑥防災訓練を計画しても、会員の意識が低く参加者が少ない。	防災訓練と既存の行事を併合するなど、訓練内容を検討し、災害への危機意識の高揚を図る。
	⑦防災マップが配付され、川の浸水区域や急傾斜地が示されたが、災害に対する意識が低い。	防災マップの見方や災害情報の活用の仕方を学ぶ地区毎防災訓練を実施し、意識の高揚を図る。
	⑧消防団員が不足してきている。	市や市消防団に火災や水害などの有事の際にのみ出動できる登録制による消防団OBの（仮称）「消防協力隊員」制度を提起し、消防団員不足に対応する。
	⑨国有林から県道に土砂が流れ込み、通行に危険な状態である。	国に対して、土砂の流出防止対策と除去を要望する。

1. 自然を大切に、安全・安心して暮らせる地域に

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
防犯・防災	⑩防犯灯が不足している。	市に対して、防犯灯の点検と新設を要望する。
	⑪緊急避難場所、避難所で防災放送（マスト）が聴きづらい。	市に対して、防災放送（マスト）の増設を要望する。
	⑫小日形区に北上川護岸に連結する防災用道路が必要である。	国に対して、北上川護岸連結防災用道路の整備を要望する。
	⑬避難所運営の在り方と避難誘導體制について、自治会役員等が十分に把握されていない。	地域避難所毎運営研修会を継続して開催し、自治会役員等に浸透させる。
	⑭女性の減少により、婦人消防協力隊員選出に苦慮している。	世帯数の減少に伴う隊員数の見直しを協力隊本部に提起する。
	⑮空き家の増加に伴い、今後益々防犯上の問題が生じてくることが懸念される。	地域内での定期的な確認点検を実施するとともに、隣近所での日常的な目視等簡易点検を行う。
道路	①市道の改良や未舗装道路の整備、カーブミラーの新設が必要である。	市に対して、道路の改良や舗装工事の実施、カーブミラーの新設を要望する。
	②堀切橋、樋ノ口橋、館山橋の幅が狭く、自動車のすれ違いができないので、橋の架け替えが必要である。	県と市に対して、堀切橋、樋ノ口橋、館山橋の橋の架け替えを要望する。
	③七日町地区や川口沖地区など、洪水時に道路が冠水して避難所に行けない地区がある。	市に対して、避難路の新設を要望する。
	④黄海小学校の通学路が狭く、すれ違い走行ができないし、道路の路面状況が悪いうえに、除雪もされないので危険である。	市に対して、黄海小学校通学路の拡幅改良舗装と除雪を要望する。
	⑤通学路ともなっている地域内主要道の交通安全施設が不十分で交通事故発生懸念がある。	県や市に対して、主要地方道花泉藤沢線の歩道拡幅及び延長改修等を要望する。 ・旧小浜魚店から藤沢方面と旧小浜魚店から一本杉橋を経由して八景下、京ノ沢方面への歩道の新設 ・黄海駐在所前交差点への信号機の設置
	⑥県道東和薄衣線の川口沖地内から上曲田地内までの拡幅改良舗装工事と現在設置されている土嚢を撤去したい。	県に対して、拡幅改良舗装工事と現在設置されている土嚢の撤去を要望する。

2. 地域資源を活用し、賑わいと活力にあふれる地域に

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
産業	①農業従事者が高齢化している。	農作業の受委託を推進するとともに農事組合法人等の集落営農組織を設立し、経営を委託する。
	②農業後継者が不足している。	全国から新規就農希望者を募集し、経営を委託する。
	③圃場整備ができて、水田等の土地環境が整備されたが、従事者の高齢化で作付けが困難になってくるのではないかな。	農業生産法人を設立して対応する。
	④未舗装の道路が大型機械の作業効率を低下させている。	市道については、市に対して舗装工事を要望する。
	⑤特産品の開発が求められる。	特産品開発グループを組織し、関係機関と連携して特産品を生み出す。
観光	①椿園に管理棟や野外広場がないので、来訪者への対応が不十分になっている。	市に対して、管理棟、野外広場の新設を要望する。
住環境	①有機肥料センターの悪臭に悩まされている。	市に対して、悪臭を減らす対策を要望する。
	②畜産業からの悪臭に悩まされている。	畜産業者と市に対して、定期的に状況を点検・確認し、悪臭を減らすよう対策を要望する。
	③空き家の増加、耕作放棄地の田畑の増加が環境を悪化させている。	地区住民が空き家の環境をできる範囲で定期的に点検・整備し、市に対して報告する。
	④県道・市道等の維持管理に取り組みたいが、高齢化しており、作業の維持が難しくなっている。	自治会の班単位での作業が困難の場合は、自治会内の会社等を退職して余力のある会員に無償で作業依頼し、自治会内で完結しない場合は、自治会の範囲を超えて対応する等の方策を検討する。
	⑤草刈、伐採等の必要な箇所が増えてきている。	班編制の検討も必要であるが、前記に記載した方策も検討する。
公共交通	①高齢になって車の運転ができなくなったら、生活全般が不自由であり、不安である。	日常品の買い物については、買い物代行を利用することができるが、日常品を積載した移動販売車を新たに運行する必要性について検討する。

3. 人を育み、文化を創造する生きがいのある地域に

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
子育て	①児童や生徒の数が減少し、1人もいない自治会もあるなど、地区全体で児童生徒数の減少が激しい。	こども園や小学校が求める支援や協力に対して、地区として全面的に支援と協力をする。
	②児童の体験活動の場の提供や昔の遊び等の指導を老人クラブを中心とした活動が展開されている。	収穫祭等への参加など、小学校が求める支援や協力に対して、地区として全面的に支援と協力をする。
スポーツ・レク	①地区民大運動会が65回を数えてはいるが、参加できない自治会があるとともに、参加者が減少している。	競技種目を見直すとともに、選手の年代別、男女別、人数などを緩和するなどし、継続して開催できるように検討していく。
	②スポレク祭へ不参加の自治会があるなど、自治会対抗の競技開催が難しくなっている。	少子高齢化や就労構造の変化、核家族化、過疎化などにより、従来の方法ではできないので、より良い方法を検討していく。
	③参加者が高齢化、固定化してきており、若者の参加が少ない。	前記②の取り組みに同じ。
	④若者が気軽に参加できるスポーツ、レクリエーションがない。	職場や同級生単位のグループでの競技の開催を検討する。
	⑤スポーツへの関心を高めることも必要である。	前記②の取り組みに同じ。
文化・芸術	①地区の有志による文化・芸能発表会が企画、運営されている。	当面は有志による開催に依存するが、将来的には協議会主催の事業にする方向で検討する。
	②古くからの唄や踊りが伝わっているが、発表する機会が減少しており、若い世代への継承ができないでいる。	発表の場の確保と女性や若者を巻き込んだ継承の方法を検討していく。
地域コミュニティ	①少子高齢化や就労構造の変化、核家族化、過疎化による人口減少によって、地区の活力が落ちてきている。	自治会役員の世代交代や若者、女性を役員にするなど、若者や女性の意見を自治会活動に活かして活性化を図る。

4. 人と人とが結び合い、支え合い、絆あふれる地域に

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
地域コミュニティ	②自治会員の減少等で班編制に無理が来ている。	各自治会で班編制の見直しをする。
	③役員のなり手がいない。	役員の業務や任務、専門部の統廃合、必要な役員数などを見直すとともに若者、女性を含める。
	④行事への参加者が減少している。	みんなが参加できる行事を模索し、見直すとともにマンネリ化から脱却する。
	⑤地域の人材を発掘し、その能力を役立てる方策を検討する必要がある。	人材バンクを作るなど有効な方法を検討する。
高齢者福祉	①高齢者世帯が増加しており、一人暮らし世帯、見守り必要世帯が増加している。一人暮らし高齢者世帯の中には、施設に入所して無人の世帯もある。	高齢者世帯、一人暮らし世帯について、地域として理解を深める活動を検討する。 班単位での見守り活動の展開を検討する。 一皿運動の更なる充実を検討する。 高齢者の参加しやすい自治会行事を検討する。
	②生活介助を要する高齢者が予想されるが、大雪の時には公道から居宅まで介護者の車が入れない世帯がある。	班ごとに小型除雪機を準備し、班内で除雪に対応する。
	③老人クラブを中心としたお茶会が定例化されているが、今後とも豊かな老後を送れるよう活動しやすい環境の整備が必要である。	市道の草刈り、宅地の草刈り、自治会館の清掃、独居老人の見守り、買い物代行など、老人パワーを発揮できる場、生き甲斐の場を創出していく。
	④年金生活者の増加に伴う寄付等集金活動の在り方を検討する必要がある。	高齢者世帯、一人暮らし世帯への援助について、地域としての方策を考える。
健康	①健康づくりについて、検討する必要がある。	関係機関、団体、有資格者委員との連携のもとに健康づくり教室を実施する。

「徳田地区地域づくり計画」

GOLD MOUNTAIN PROJECT III

令和 6 年 4 月 徳田地区住民自治協議会

○次第○

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

1 位置・地勢

2 歴史・活動の経過

3 これまでの成果

IV 分野別計画

1. みんなが住みたくなる魅力ある地域づくりをしよう

2. 子どもとお年寄りに優しく安心して暮らせる地域をつくろう

3. 里山の景観を保全して、農地を活用していこう

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

（＊基本的に平成 25 年 4 月策定の 5 カ年計画を継続し進める）

計画期間を 10 年間とする（令和 6 年度～令和 15 年度）

II 目指すべき将来像

住む人が笑顔あふれる、夢と希望に満ちた徳田の郷

～徳田・黄金の郷づくり GOLD MOUNTAIN PROJECT III～

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

徳田地区は一関市藤沢町中心部より東側中山間地域に位置する農村地域である。東は千厩町、室根町に接しており、明治 22 年旧八沢村が成立するまでは徳田村として独立した村落がなしていた。

かつて、地域の中心部には城砦として馬場館（現在の西光寺付近）が立地し、中世葛西氏の所領だった時代には藤沢城主岩渕氏と大原城主大原氏の戦いで、当地から千厩町小梨にかけて戦場となったようである。また、江戸期には磐井東山徳田郷として一関田村藩の所領であったと伝えられる。当時より地域の信仰を集めた徳田八幡神社は現在も藤沢地区との境界付近に鎮座している。さらに、東側の千厩町小梨地区との境界には奥州藤原氏の時代から

江戸期に至るまで東山の代表的金山として多くの黄金を産出した黄金山が聳え、南には東山南方18カ村の総鎮守保呂羽神社が鎮座する保呂羽山が聳えており、徳田地区は山々に囲まれた小さな盆地のような地形をなしている。

山々に囲まれた状況の地形にあるため、地域を通りぬける国道や県道等の幹線道路やバス路線がなく、自家用車やバイクがその主な交通手段であり、外部からの往来のない地域である。かつては何軒もの商店が地域内に存在したが、現在は藤沢地区との境界にホームセンターがあるだけで高齢者等の買い物には不便な地域となっている。このような状況は、藤沢町内の他地区についても例外ではなく、少子高齢化による人口減少が更に進行しておりそれぞれの地域の将来像を描いていくことが特に重要な要素であると考えられる。

① 世帯数・人口の推移

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成25年4月	321	511	515	1,026
平成30年4月	333	490	470	960
令和4年12月	317	448	416	864
比較（10年）	-4	-63	-99	-162

世帯数は大きく変動していないが人口は著しく減少している。また、表にはないが1人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している。

② 公共施設等の現況

次のような公共施設等が地区内に立地している。

・徳田交流館

- ・ 徳田ふれあいランド（旧徳田小学校）
- ・ B & G 海洋センター
- ・ スパーク藤沢
- ・ ニコニコドーム
- ・ グループホームひまわり
- ・ 自治会館（24区～28区）

2. 歴史・活動の経過

徳田地区住民自治協議会は、徳田地区内の5つの自治会を構成団体に昭和60年7月に発足し、現在まで恒例の取り組みとして「藤沢野焼祭」における縄文徳田村の運営、徳田地区「どんと祭」の開催、75歳以上を対象とした徳田地区「敬老会」の開催などを手がけてきている。

最近では、東日本大震災当時に当地で避難をしていた被災者の皆さんとの交流事業徳田ふれあい絆水田「がんばっ田」の運営から、自然環境保護・景観維持活動として「ホタルの里」や「ひまわり畑」の運営にも継続して取り組んでいる。また、徳田地区「交流の丘」の造営には住民自治協議会が主体となって取り組み、現在も継続した活動を行っている。さらに、地域に伝わる「徳田八幡神社しめ縄会」と「徳田田植え踊り保存会」の活動は大切な伝統文化や伝統芸能であり、各団体と地域が連携して後継者を育成し今後も維持伝承して行か

ねばならない。

地域活動の拠点である「徳田交流館」と「徳田ふれあいランド」は指定管理施設として住民自治協議会が主体となって管理運営している。

3. これまでの成果

徳田田植え踊り保存会は地域の伝統芸能であり、先人達より脈々と引き継いできたものである。新春に開催される「子ども芸能発表会」に毎年出演し、その成果により平成9年藤沢町国際交流協会の派遣事業としてオーストラリアで文化伝承活動の公演に参加出演している。また、「八幡神社のしめ縄会」では神社に奉納するしめ縄用に「かおり米」を販売したり醸造委託で日本酒にして地域の行事等に活用してきた。

徳田地区内の「農地・水・環境保全活動組織」の自然保護・景観整備活動は高い評価を受け、平成24年度に「第1回目岩手県農地・水・環境保全向上活動のモデル賞」を受賞し岩手県知事の視察訪問を受けたところである。

平成25年度の地域づくり計画では、旧徳田小学校を「徳田ふれあいランド」と命名し、現在まで市からの委託を受け、住民自治協議会で管理運営している。また、「黄金の郷調査事業」として平成29年度に黄金山登山を地域住民参加のもと実施した。市への要請事項であった「市道桜ノ沢線」が舗装整備され、桜ノ沢から曲田方面へのアクセスが良好になった。

自治会協議会で取り組んでいる「交流の丘」整備事業では、敷地の刈り払いと桜の植樹を行い、地域住民の憩いの場所として整備に取り組んでいる。現在も計画進行中であり継続して整備事業に取り組んでいく予定である。自然環境の整備事業としても「ホタルの里づくり」「ひまわり畑」「菜の花畑」の運営、韃靼蕎麦の育成から蕎麦づくりや食事会等にも取り組んできた。

IV 分野別計画

1. みんなが住みたくなる魅力ある地域づくりをしよう

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
地域コミュニティ	・若者が流出するので、地域への定住を図りたい ・世代を越えて住みたくなるような地域づくりが必要 ・徳田のよさを外部に PR する機会が少ない ・人口減や高齢化により自治会運営の困難が予想される	・若者の意向を取り入れた自治会活動のあり方 ・若者が主体的に参加できる行事や機会をつくる ・徳田地域活動の情報発信 ・自治会の統合や再編に取り組む
産業	・若者が仕事にチャレンジできる環境づくり ・田舎環境を活用した都会からの起業者の斡旋 ・農業後継者の育成の場	・インターネット環境等を活用した企業等の誘致 ・田舎でしかできないような産業等の PR 活動 ・農業等の担い手研修会の開催
移住・定住・結婚	・空き家等活用して移住者を受け入れる。 ・独身者が参加できる地域行事や出会いの場がほしい	・HP を活用した都会等からの移住者の募集 ・一関市の空き家バンクへの登録と活用 ・若者が参加できる行事の運営や喫茶店、居酒屋等の開設や活用
都市間	徳田の素晴らしさを都会にアピールし	・徳田地区住民自治協

交流	よう ・空き家を活用した都会との交流 ・東日本大震災で築いた地域間交流の継続	議会の HP の開設と運営 ・空き家を活用した体験宿泊や合宿等の受け入れ ・「がんばっ田」の耕作と交流の継続
交通	交通手段が自家用車等に限られる地域である	・デマンド型タクシーの活用 ・スクールバスの共同利用 ・自動運転車のモデル事業の受け入れ
防災	・各自治会で「防災マップ」を作製している ・地域内危険箇所の把握と点検 ・災害時に有効な道路の確保 ・土砂災害指定地域の解消	・「防災マップ」の定期的な点検と見直し ・既存の道路を避難環状道路として整備する ・長沢地区上流部への治水・防災ダムの建設
道路	・他地域や地域内への連絡道路が少ない。	・市道「馬場唱石線」の整備 ・市道「黄金山線」の整備 ・市道「徳田線」歩道の整備

2. 子どもとお年寄りに優しく安心して暮らせる地域をつくろう

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
地域コミュニティ	・高齢者の独居や高齢者世帯の安心で安全な生活の確保 ・高齢者が集える場所がほしい。 ・高齢者の買物不便地域の解消	・高齢者見守りネットワークの構築 ・送迎付高齢者向け居酒屋の定期開催 ・地域巡回販売者への派遣要請
防災	・災害時に高齢者だけで避難することが困難 ・降雪時の高齢者世帯の除雪が必要	・高齢者世帯の把握と避難マニュアルや訓練の実施 ・自治会の除雪機の購入、活用やスノーバスターズ
公共交通	自家用車等の活用以外移動手段がない。	・自治会における送迎システムの構築 ・高齢者カーシェアリングの取り組み
健康づくり	・独居高齢者など通院手段のない方が多い。	・高齢者家庭への訪問診療の増加
高齢者福祉	・高齢者が生き生きして主体性を持って暮らせる地域づくり 高齢者の共同生活の場	・特技や職業を生かしたシルバー人材センターの開設 ・子どもに教える昔遊び教室 ・高齢者スマホ教室 ・高齢者のための料理教室 ・シェアハウス、ケアハウスの開設 ・高齢者と子どもの居場所づくり

3. 里山の景観を保全して農地を活用していこう

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
産業	空き農地の増加と活用方法 景観作りに利用した植物の活用	・ 自給農業と法人経営の2極化 ・ ひまわり油、なたね油等の採種販売
観光	・ 黄金山や保呂羽山を地域資源として生かそう ・ 無名の農村地帯であることを生かしたPR活動 ・ 観光資源の整備	・ 黄金山登山ルート of 整備や保呂羽山トレッキングコースの整備 ・ パラグライダー飛行場の開設 ・ 平泉文化との結びつきをPR ・ 映画のロケ地等の勧誘 ・ 観光農園や貸し農園 ・ キャンプ場の開設
住環境・景観	竹林が至る所にあるが活用されていない。 ・ 休耕地を利用した景観づくり	・ 竹垣を生かした景観づくり ・ 竹細工づくりへの活用 ・ ひまわり畑、菜の花畑、蕎麦畑の耕作と整備

	・ 自然で美しい景観づくり ・ 草刈り作業の効率化 ・ 里山を生かした農村らしい景観づくり ・ 農作物を食害する有害動物の出没	・ 「ホテルの里づくり」 保全拡大整備 ・ 草刈り用人員の確保 ・ 草刈り機械の活用 ・ 徳田交流の丘への水車 の設置整備 ・ 有害動物駆除の学習 と実践 ・ ジビエ料理の研究と 推進
--	--	---

新沼地区地域づくり計画

『新沼地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

- 1 位置・地勢
- 2 歴史・活動の経過
- 3 これまでの成果

IV 分野別計画

- | | |
|----------|-------------------------|
| ① コミュニティ | 自治会組織、自治会再編、コミュニティセンター等 |
| ② 安心・安全 | 交通安全、防犯、災害、公共交通等 |
| ③ 福祉 | 子育て支援、障がい者、高齢者等 |
| ④ 産業 | 農業、商工業等 |
| ⑤ 教育文化 | 家庭教育支援、郷土文化、郷土食等 |
| ⑥ その他 | 上記以外 |

令和 6 年 4 月

新沼地区自治会協議会

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10 年間（令和 6 年度～令和 15 年度）

II 目指すべき将来像

だれでも安心して暮らせる「にいなまの里」

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

一関市藤沢町の北部に位置し、面積は 13. 21 km² 東は千厩町小梨、西は川崎町薄衣、南は徳田、北は千厩町千厩に接しています。

新沼地区は、砂子田、増沢、新沼の 3 地区及び 7 行政区からなっています。

① 人口については、下記のとおりです。（令和 5 年 4 月現在）

【新沼地区世帯、人口の推移】

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成 30 年 4 月	344	545	567	1,112
令和 5 年 4 月	340	500	482	982

世帯数および人口は減少、一人暮らし世帯、高齢者世帯がさらに増加している

地区内の人口等は、令和 5 年 4 月現在一関市のホームページでは、9

82人（ふじの実園生は除く）で、年齢別調べによると少子高齢化が進んでいることがわかります。

地勢は、小丘陵地とそれらを開析する沢から形成されています。丘陵地の底部では、南小梨川、大平川に徳田から流れ込む砂子田川が合流し、東から西に流れています。平地や河川沿いに、水田と集落が広がるほか、丘陵地を造成し、住宅地、耕作地としている。

近年、丘陵地の雑木林が伐採され、大規模な果樹園が、また、大規模太陽光発電所が建設された地域もあります。

藤沢小学校、藤沢中学校は、藤沢地区にあります。

八沢中学校は、藤沢中学校に 昭和44年統合

新沼小学校は、藤沢小学校に 令和5年統合

路線バスは、岩手県交通が運行していましたが、廃止となり、公共交通は、令和4年4月から市営バスの千厩花泉線1路線です。

道路網は、東に国道456号線（千厩～宮城県東和）、西は国道284号線から藤沢中心部に続く市道増沢新沼線、増沢字下田地内の改良工事が完工しました。

舗装化は進んでいますが、カーブ等の改良や歩道整備が望まれます。

国道456号線石合～野々田橋間、市道増沢新沼線石合～神田橋間

の歩道整備、そして、国道456号線関田橋～上山間のカーブの改良を要望します。

② 公共施設等の現況

イ 増沢交流館（昭和55年設立）

ロ 新沼保育園（昭和62年開園）

ハ 新沼コミュニティセンター（平成8年設立）

2. 歴史・活動の経過

明治22年4月1日町村制施行にともない、砂子田村、増沢村、新沼村、徳田村の4か村が合併して八沢村が発足し、村役場が砂子田字高田に置かれました。

戦後、八沢村とした地区民運動会等地域を挙げた行事が、活発に行われました。

郷土芸能は、弥栄神社、立石神社で祭日・正月など季節ごとに神楽が行われました。しかし、今は「増沢神楽」、「藤沢ばやし」が各保存会により継承されるにとどまっています。

3. これまでの成果

主な事業としては、つぎのとおり取り組んできました。

（1）藤沢野焼祭テント村の運営

(2) 新沼地区敬老会の運営

(3) 生涯スポーツ関連行事の開催

(4) ビューティフル藤沢整備事業（花壇・クリーンアップ）への取り組み

(5) 市道増沢新沼線、下田地内及び西小田橋前の改良工事

(6) 国道456号線、高田地内の歩道完成

IV 分野別計画

1. だれでも安心して暮らせる「にいぬまの里」

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
自治会	・ 少子高齢化に伴う活動の継続性 ・ 人口減少・定年延長等で各役員がなり手不足で活動維持困難 ・ 自治会役員の担い手不足 ・ 青年部活動、人員不足、弱体化 ・ 人口の減少と高齢化	・ 当面は会員相互協力で現状維持 ・ 役員ばかりでなく若い人の行事の参加要請 ・ 行政で出来るだけ対処し、過度な地域活動の削減を市に要請 ・ 重複する行事の絞り込み、負担軽減が必要 ・ 隣接する自治会との連携検討 ・ 自治会組織の統合
地域コミュニティ	・ 増沢交流館・自治会館の老朽化。そして、高い場所にあり登坂が大変である。 ・ 少子高齢化及び人口減少による自治会活動パフォーマンスの低下 ・ 自治会活動等への参加者の減少	・ 維持に高額要するため、新沼コミュニティセンター、旧新沼小学校の使用を検討 ・ 子供から高齢者まで楽しんで、自治会活動に多く参加してもらえるような仕掛けを工夫する。 ・ 各層別毎（子供会・青年部・お茶飲み会グループ等）活動の活性化推進の支援 ・ 皆で役員を持ち回り

		し、皆の力でこの地を支え合って行く
地域コミュニティ	・ 少子高齢化と若者の地域行事の参加者の減少による、自治会活動等の維持困難	・ 自治会役員の簡素化 ・ 自治会活動の縮小 ・ 行事等からの過度の地域活動行事の働き方を止めてしまう ・ 慣例にとらわれず時勢を見て柔軟な発想で活動し参加を呼び掛ける
道路 交通 安全	・ 市道増沢新沼線日当～下田間に歩道がない ・ 市道増沢新沼線の交通量増加 ・ スクールバス停に歩道がない ・ 夜間の運転不安 ・ 国道４５６号線、関田～上山間の急カーブ解消 ・ 交通事故防止に努め安全を図る ・ 国道４５６号線石合～野々田橋間と市道増沢新沼線石合～神田橋間に歩行者の安全が危ぶまれる	・ 引き続き歩道の設置を市に要請 ・ 市担当者と定期的な協議・要請 ・ 横断歩道新設を引き続き市に要請 ・ 街灯の追加設置 ・ 行政機関への要望継続 ・ 交通安全学習会の開催 ・ 歩道の設置を市に呼び掛ける ・ 安全な移動空間が高齢者社会と魅力ある地域づくりに必要である

安心・安全 道路	・ 野々田橋～ハネト間の国道456号線を歩いてみると、橋の狭さ等を含め自動車に対して危険を感じる ・ 高齢化による免許証の自主返納等を考え、ここを歩く機会の増加も予測される ・ 火ノ田橋は、仮橋となっており近年の大雨による流失経年劣化等が懸念される。	・ 野々田橋の歩道追加を含め拡幅要望 ・ 野々田橋～ハネト間の歩道設置を継続して要望する ・ 永久橋の掛け替えを市に要望を、継続実施
防犯	・ スクールバス停（要害・下田）西小田橋付近が暗い	・ 市に防犯灯の設置を要望
災害	・ 自然災害の発生増加 ・ 急傾斜地崩壊危険箇所 ・ 災害を防止するため訓練、情報の収集 ・ 動物（鹿・熊等）による人的・農作物被害の増加	・ 防災組織活動の活性化、啓蒙 ・ 啓蒙関係機関との連携 ・ 治山工事の要望、定期的な巡回 ・ 防災学習の開催 ・ 危険性と遭遇時対処の共有や救助体制で関係機関との連携
防災 災害	・ 近年の温暖化等による異常気象（豪雨等）の地震等による対処 ・ 災害、どこにでも起こり得る状態である	・ 危険箇所の再点検 ・ 防災マップの周知や日頃より講習会等実施 ・ 災害対処法の講習会やマニュアル準備
公共交 通等	・ 岩手県交通の路線バスの廃止により、買い物等が不便	・ 利用者の把握 ・ 行政、交通機関関係者との協議連携

福祉 高齢者	・超高齢化社会の線新地として、同生活していくか ・一人暮らし、老老世帯の増加 ・独居高齢者家庭の雪かき ・一人暮らしの家庭の増加 ・独居高齢者家庭の増加 ・一人暮らしの家庭、高齢者世帯が増加している ・生活環境の整備支援や見守り活動の支援が必要 ・高齢者世帯の増加に伴い一人暮らし世帯も増加する傾向にある ・高齢者の運転免許証の自主返納が進む中、バス路線がなくて買い物や通院等への外出が困難になっている ・高齢者の移動手段が少なく、買い物難民が増加している ・高齢者の移動手段が少なくなっている	・今すべきことを洗い出す ・今生きることを楽しむ ・緊急時連絡体制の維持強化、関係機関との連携強化 ・将来的にボランティア組織検討 ・班、近隣の見守り体制づくり ・お茶会の定期実施 ・班、近隣の見守り体制づくり ・ニーズを把握し声かけによる見守り支援 ・無理のない生活環境の整備の支援 ・地域民による高齢者の見守りと健康状態に気遣う ・安全な歩行移動が出来る様に歩道の設置を市に呼び掛ける ・店舗・施設等からの送迎車の実現を考えてみる ・JA や民間の宅配や移動販売を期待 ・何人かグループにて
-------------------	---	--

	る。 ・大雪による私道の除雪対応の検討が必要である。	デマンドタクシー等活用し、グループで買い物する ・除雪機所有者への委託やマンパワーによるボランティアでの対応
産業 農業	・少子高齢化に伴う休耕地の増加 ・農業従事者の高齢化 ・耕作放棄地の増加 ・耕作放棄地の増大	・基盤整備事業採択（令和6年予定）と営農組織の実現、関係機関との連携強化 ・地域活性化に向けた「楽しむ農業」の施行・実践（産直等） ・各班単位での草刈支援 ・有償ボランティア推進 ・班、近隣の見守り体制をつくり、やる気のある個人、法人が参入し易いよう、行政の環境整備が必要、規制の撤廃
産業 農業 自然 環境 景観	・高齢化に伴うマンパワー低下による、耕作放棄地増加や、未耕作地の雑草対策が困難になっている。高齢世帯への雑草対策支援が必要になっている。	・当地域を所管している、農事組合法人と連携した取り組みを行う ・当地域を所管してい

		る、農事組合法人と連携した取り組みをハンマーナイフモア等、機械保有者への委託や御人足等による計画的な集団草刈作業の実施 ・当地域を所管している、農事組合法草刈作業、安全講習会等の実施（女性への普及も視野）
商工業等	・若者の求める施設不足	・若者定住促進のために検討要
教育文化 郷土文化	・市無形文化財の増沢神楽の継承 ・地域芸能 藤沢ばやし	・伝承活動継続と後継者の育成 ・関係機関・団体との連携強化 ・人員不足のため、近隣子供会との連携強化
生活環境	・市道下藺沢線の砂利道路、風雨災害でやられやすい ・道路の支障木による危険箇所の増加 ・道路沿いの草刈り、支障木、倒木、側溝泥上げ未処理 ・害獣の出没増大	・舗装化を市に要請 ・状況把握と関係機関との連携強化・伐採要請 ・ボランティア組織づくりの検討（ある程度の有料化も必要？） ・駆除対策指導会要

	・ 害獣と外来植物による脅威	- 望・ 出没情報周知 - 徹底ハンターの要望 - 必要性検討 ・ 草刈り活動を行う ・ 草刈り活動を行う地域での情報共有をして駆除活動を行う
--	--	---

保呂羽地区地域づくり計画

『保呂羽地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

1 位置・地勢

2 歴史・活動の経過

3 これまでの成果

IV 分野別計画

令和 6 年 4 月

保呂羽地区自治会協議会

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10 年間（令和 6 年度～令和 15 年度）

II 目指すべき将来像

高齢者にも安心・安全で健やかに暮らせる地域づくり

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

保呂羽地区は、町の中心街区の東方約 2 k m から 6 k m の、藤沢町の盟主と呼ぶべき保呂羽山の南麓に位置する中山間地集落です。

地区を貫流する黄海川（雉子川）^{きざす}上流には、金越沢ダム湖があり、起伏と四季彩に富んだ地勢と、個性誇れる伝承世界のなかに暮らしの風景が広がっています。

しかし、近年、住民の高齢化や若年層の昼間人口減少などにより、自治会活動や地区行事などに活気が薄れつつあることが地域活性化を考える上での課題となっています。

町中心部へ向かう市営バス便はあるものの運行本数は少なく、買い物や通院などに一日の時間の大半を費やすことは、高齢者や生活弱者にとって厳し

い現状です。狹隘路や未舗装路も少なからず残され、救急車や消防車の進入を困難な箇所も見受けられます。また、耕作放棄地の拡大により、害獣や害虫の増加も懸念されます。

定住人口が減少しつつあるなか、神社やダム湖、地域の自然環境・農村風景などの地域資源を活用した人的交流の拡大を求め、地域に「動きのある生活風景」を生み出しながら、永続しうる古きを大切にしながら新しい暮らしのあり方を創出し模索し続ける地区でありたいと願います。

① 人口については、下記のとおりです。（令和５年３月末現在）

【保呂羽地区世帯、人口の推移】

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成 30 年 4 月	2 0 3	2 9 5	3 0 1	5 9 6
令和 5 年 3 月	1 8 7	2 5 8	2 6 8	5 2 6
比較	－ 1 6	－ 3 7	－ 3 3	－ 7 0

世帯数及び人口は減少、一方、一人暮らし世帯、高齢者世帯が増加しています。

② 公共施設等の現況

保呂羽地区コミュニティセンターは、正月のどんと祭、9月の敬老会、住民自治活動の会議等の開催に幅広く利用・活用されています。同センターでは、地区の歴史や古人の活躍を紹介するパネルを展示しています。

旧保呂羽小学校体育館は、子供たちや地区住民のスポーツ活動に利用され

ています。また、保呂羽地区にふたつある仏教寺院では、地域住民との交流活動を活発に行っており、寺院で開催される各種の仏教行事や祭事（「長徳寺蘇民祭」や「三社祭」）ほか、各寺院オリジナルの企画（「藤源寺ぼうけん寺」）などが、住民との交流と自治活動におけるひとつの核として好評です。

2. 歴史・活動の経過

小学校・中学校が、地区の「愛郷の学舎」としてあった時代には、運動会や学芸会、そしてグラウンドを利用した地区民運動会や盆踊り大会などが「地区の大きなイベント」としてあり、誰もがこぞって観覧・参加していました。

しかし、近年、学校の統廃合に伴い、地区では子どもたちの声を聞く機会も大きく減少し、寂々とした空気が地区を包んでいます。

住民間の交流機会を増やすため、保呂羽地区自治会協議会では「どんと祭」等を催行し、世代間の交流も図ってまいりましたが、コアになる30～40代の参加が少ないことなども課題となっています。さらに、新型コロナウイルス感染拡大により、交流活動が制限されていた事も要因となっています。

3. これまでの成果

◆環境整備事業

・保呂羽地区自治会協議会では、保呂羽コミュニティセンター周辺・金

越沢ダム周辺の草刈作業を年2回実施しています。

◆地区交流事業

- ・保呂羽地区自治会協議会のお主催による「どんと祭」を開催しています。

◆その他

- ・平成29年、保呂羽出身の俳人・彫刻家・書家絵師・医師であった「青木求順」の業績の顕彰と、求順作の「下返矢天満宮・菅原道真公座像」の保存を目的として「下返矢天満宮保存会」を結成し、天満宮境内と芭蕉の句碑周辺の環境整備に取り組んでいます。なお同会は、平成30年春、「芭蕉の句碑保存会」と名称を変更し、環境整備事業や業績を紹介するパネル展示、記念講演などを行っています。

IV 分野別計画

○付帯的な取り組みの際には、地区協議会内で優先順序などを決め、事業を実施します。

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
道 路	未舗装路や狭隘路も多く、火災の発生や急病人の搬送等に支障をきたしている。	市道整備については、要望箇所を継続要望する。
河 川	豪雨災害の発生に伴い、河川の河床洗掘、護岸の被害が発生している。	河川の草刈作業による維持管理の実施 被害発生箇所の把握
高齢者 福 祉	一人暮らし、高齢者世帯が増加しており、緊急時の対応、見守り体制づくりが必要である。	「ふれあい一皿運動」への協力体制を継続していく。 各自治会で高齢者世帯の状況を把握し、見守り体制を構築する。 隣近所への声がけを継続していく。
防 災	火災・豪雨・地震等の災害時における、高齢者への対応が必要。	地域の住民情報の把握に努め、各自治会で対応策を検討する。
防 犯	高齢者への防犯対策	防火・防犯講習会の開催による啓蒙活動を行う。
害獣対策	農作物の害獣被害が発生している。 家屋、畑周辺のヤブ化が進んでいる。	行政との連携を密にし、有害駆除を行い被害の拡大を防止する。 家や畑周辺のヤブ化の防止に努める。

		有害鳥獣の防護講習会へ参加し、対策を検討する。
産 業 農 業	農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地が増加している。	各地域の中山間活動組織等との連携を図り、保全活動を実施していく。 耕作地の継続保全に取り組む新たな組織づくりを検討する。
地域コ ミュニ ティ	若者が自治会活動に参加しない現状があり、さらに高齢化により全体的に参加者が減少している。	各自治会で開催している防犯教室等の行事を、保呂羽地区協議会での実施を検討する。 敬老事業・どんと祭の事業を継続する。 保呂羽神社・長徳寺・藤源寺が開催する行事を支援する。
公共施 設の管 理	保呂羽地区コミュニティセンター・保呂羽コミュニティ体育館の管理について、令和８年度に指定管理制度を廃止する方針が出されている。	現在指定管理者として、保呂羽地区自治会協議会が施設を管理している。 令和７年度までに今後の施設管理のあり方について協議し、方針を決定する。
自然環 境	高齢化が進むなかで環境保全活動の停滞が心配される。	各自治会が取り組んでいる事業について、作業内容を見直しながら継続可能な体制づくりを進める。



大籠地区地域づくり計画

『大籠地区地域づくり計画』

I 計画期間

II 目指すべき将来像

III 計画策定の基本認識

- 1 位置・地勢
- 2 歴史・活動の経過
- 3 これまでの成果

IV 分野別計画

令和6年4月

大籠地区自治会協議会

I 計画期間

この計画の期間は、下記のとおりです。

10年間（令和6年度～令和15年度）

II 目指すべき将来像

安心・安全・豊かな暮らし～「たたら製鉄とキリシタンの里おおかご」

III 計画策定の基本認識

1. 位置・地勢

大籠地区は藤沢町の南東部に位置し、県道藤沢大籠線沿いを東西に民家が点在する細長い地域で、大峰山をはじめとする山々に囲まれている。

地域は、4つの行政区で構成され、大きく上大籠地区と下大籠地区に分けられており、上大籠地区は藤沢寄り、下大籠地区は宮城県境寄りとなっている。上大籠地区から流れる大籠川は、下大籠地区で千松ダムから始まる二股川と合流し、北上川へと流れる上流部に位置している。

下大籠地区を走る国道346号線は、宮城県登米市東和町から佐沼へ、もう一方は本吉町から気仙沼へと宮城県と隣接し、生活・文化・経済等密接な関わりを保ってきている。

県道を走る市営バスの日曜日・祝祭日の運行はなく、特に子供たちや高齢者の買い物等に影響を及ぼしている。また、平成17年に気仙沼～佐沼間の宮城県交通バス路線が廃止されたことにより、宮城県と関わりが多い下大籠地区民にとっては不便そのもので、タクシー利用者が増えている現状は交通条件の悪さを露呈している。

人口の推移をみると、世帯数は186世帯、人口は451人で、5年前に比べ世帯数はほぼ同じなのに対し、人口は98人も減っている。特に小中学生は5年前の％で、反面、高齢者人口は増えて、高齢化率は52.3%と高まっており、少子高齢化の一途をたどりつつある。

そのような状況の中で、地域住民は人情に厚く、助け合いの精神で近所づきあい・人づきあい・人とのつながりを大切にしている。

① 人口については、下記のとおりです。（令和6年4月現在）

[大籠地区世帯、人口の推移]

	世帯数	男（人）	女（人）	計（人）
平成30年4月	204	273	276	549
令和6年4月	186	234	217	451
比較	△18	△39	△59	△98

世帯数及び人口は減少、一方、一人暮らし世帯、高齢者世帯が増加しています。

② 公共施設等の現況

- ・大籠キリシタン殉教公園（キリシタン資料館、殉教記念クルス館）
- ・郷土文化保存伝習館
- ・大籠コミュニティセンター

2. 歴史・活動の経過

当地区は、県境をまたいで「隠れキリシタンの里」として史跡も点在しており、殉教の地として年間1,000人を超える観光客が史跡巡りや資料館・クルス館を訪れている。

産業としては、農林業が中心で、中山間地域にあり稲作を中心とした兼業農家が大半であるが、丘陵地を利用しての放牧、和牛生産も古くから行われ、現在も続いている。近年、花卉栽培や水田を活用したマコモ栽培も行われている。国営開発農地ではリンゴ・野菜栽培が行われ、地域就農の場となっている。また、地域の森林資源を活用しての炭焼きが古くから盛んで、個人表彰を受ける事もあったが、今は、お茶炭や暖房用として数人が受け継いでいる。

そして、郷土芸能の「下大籠南部神楽」が若者にも受け継がれ、小中学生から大人まで踊りの発表が盛んに行われている。

平成2年から平成7年にかけて、キリシタン史跡に関する建物等が整備され、先に建てられた「郷土文化保存伝習館」に隣接して「キリシタン資料館」「クルス館」及び、公園や遊歩道も完成し観光客の集客につながっている。

3. これまでの成果

これまで先人が森林資源を有効活用するための組合を組織し、植林・刈り払い等を続けながら資源を生み育て守り続けてきている。それが現在計画的な伐採時期を迎えており、経済的な効果が表れてきている。

また、キリシタン殉教と製鉄という歴史的価値のある地域資源の有効活用により、地域活性化を図るため、史跡の歴史看板設置、周遊マップの作成、ボランティアガイドの育成、「たたら製鉄」の再現事業等を行い、史跡の保存・伝承・普及の取組みを進めてきている。

地域の人たちは、実直で親しみやすく、なんでも話し合える人々で、物事を実行する場合はまとまりが良い。これは、地域の長い歴史の中で培われてきたもので、良好なコミュニティが形成されている。

しかしながら、粘り強く思いやりのある人情で、今後も「安心・安全・豊かな暮らし」を目指し地域づくりを継続推進していくことが大切である。

IV 分野別計画

- この計画は地域の10年間の“方向性”をまとめるもので、具体的な事業などを決めるものではありません。
- 具体的な取り組みの際には、地区協議会内で優先順位などを決め、「事業計画書（別紙）」を参考に事業計画を立て、事業を実施します。

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
①産業 (農業・商業・工業・林業)	・就農者の高齢化による農地の維持保全が心配される。 ・森林資源の荒廃が進んでいる。 ・産直施設・地域の人達が気軽に立ち寄れる場所がある。 ・就労の場が遠隔地であり、若者が地元で暮らせる職場が必要	・いま頑張っている専門的農業者を中心に、実態把握を行う。 ・国策として推進する方向性が出ており、大籠生産森林組合等の活動を中心に推進する。 ・地域の産業、交流拠点として定着してきており、みんなで盛り上げていく。 ・現実には厳しいが、実現可能なよりよい方向性を見だし、関係機関と協議していく。
②観光	・大籠キリシタン史跡の保存・管理と情報発信 ・大籠キリシタン殉教公園開設から四半世紀が経過しており、周辺施設設備等の改修が喫緊の課題となっている。	・キリシタン殉教の里として、県境を越えた隣接自治体との連携を図り情報発信を行う。 ・市の観光振興の基本戦略の一つであるインバウンド誘客の推進上、核となる“大籠キリシタン殉教公園”の施設改修が急務である。 ① クルス館への正面階段等の改修 ② クルス館へのアクセス道路の整備 ③ 殉教公園周辺の市道側溝への蓋の敷設 ④ 駐車場のライン引き
③道路	・道路と路肩の損傷の改修、除雪、側溝清掃等の実施 ・市道の草刈りの問題：草刈りは、土地掛かりの人に頼るのではなく、地域みんなで実施する仕組みづくり(高齢化と健康問題) ・国道 346 号線の改修(門の沢地区歩道の整備と道路改良)及び県道 295 号藤沢大籠線の改修(歩道の整備) ・交通安全施設(カーブミラー設置等)の改善が進んでいない。	・市道の改修等は、実態を調査し、一関市に対して要望する。 ・市道の草刈りは、環境整備の一環で行っているが、協議検討する。特に河川の草刈作業についてはリスクが大きい。 ・国県道の改修は、一関市を通して県に要望する。 ・行政等関係機関へのフィードバックを更に進める。

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
④公共交通	・高齢化、運転免許証の返納等に伴い、交通手段がなくなることへの不安の解消 ・気仙沼市(馬籠)、登米市(米川)間のバス路線の復活	・デマンドタクシーの活用と利用日の拡大を検討する。 ・馬籠～米川区間の需要実態について調査検討する。
⑤地域コミュニティ	・人間的にとっても親しみやすく、なんでも話し合える人々で、物事を実行するのにまとまりが良い。 ・少子高齢化は当面避けられず、みんなが笑顔で暮らせる地域づくり。 ・子供・若者が少なく高齢化が進み、限界集落にならない地域づくり。 ・自治会活動が多すぎる。大籠地区全体の交流機会がない。 ・自治会が窓口になっている集金方法の検討 ・だれもが参加できる自治会(老若男女問わず) ・若い人達が参加できる行事、会議の設定 ・中心地から離れており、買い物、イベント参加などに課題がある。 ・行事のマネリ化と高齢化により、コミュニティの場が少なくなってきた。 ・自治会組織体制の見直し	・地域の長い歴史の中で培われたもので、コミュニティを形成していく上で最も大切なことであり、あらゆる機会を通して後世にしっかりと継承していく。 ・少子高齢化社会の中にあっても、そこに住んでいるみんなが助け合いながら、充実して暮らしていけるような活動を行っていく。 ・自治会活動の本旨に沿って、行事等を取捨選択しながら負担のかからない活動を行っていく。 ・若い人は多忙の中にあり、有志で呼びかけ、何ができるかを検討する。 ・立地条件による不便性解消は、各地区の成功事例の中にヒントあり。地域コミュニティ学びの中で克服する活動を行っていく。 ・気軽に集えるイベント等の検討を進める。 ・近い将来、組織再編に踏み切らざるを得ない状況にあるが、町全体の課題として様々な機会を通じて課題を掘り下げながら合意形成を図る。
⑥子育て	・若者が地元で暮らせるような学校環境が整っていない。	・少子化社会の中では難しい問題であるが、就労問題と同一基調の中で取り組んでいく。

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
⑦文化芸術、スポーツレクリエーション	・大籠の歴史を後世に伝えていく。 ・下大籠南部神楽保存会活動を継承していく。 ・キリシタン殉教の歴史「キリシタン史跡」、たたら製鉄遺跡を、他に誇れる地域資源として大切にし、保存伝承していく。	・歴史・文化は、定住条件の基本であり、サロン活動等、気軽に参加できる事業として検討する。 ・下大籠南部神楽保存会後援会活動の充実 ・大籠キリシタン史跡保存会組織への活動参画で取り組んでいく。
⑧自然環境	・当地区には、他に誇れる自然がある。(共有山・水・空気・土地等) ・反面、森林資源等の荒廃が進んでいる。まず川をきれいにする。 ・鳥獣被害があり困っている。(対策費用がかかる)	・地域に誇れる自然環境があることを、共に認識するための学習機会を設定する。 ・鳥獣駆除対策の充実を(関係機関等と共有し推進していく。
⑨住環境・景観	・千松ダムは、貴重な水資源である。 ・年配の人が多くなり、一人暮らしの人も多く、空き家も多くなってきたのが心配 ・道路から見える土地にゴミ(粗大ゴミ)が散乱し、草が生い茂っている。	・千松ダム周辺的环境整備は、アドプト協定の継続的対応の中で推進していく。 ・空き家対策は、市政課題であり、市と連携して取り組んでいく。 ・道路周辺の粗大ゴミは、実態把握をしながら公衆衛生組合等と連携しながら取り組んでいく。
⑩上下水道	大籠地区の水源地である沢内、沢ノ入ダムの恒久的保全対策	水源涵養林保全の取組みとして、大籠生産森林組合を中心に“広葉樹林化”を進め、安定した水源を確保する。
⑪高齢者福祉	・高齢者や一人暮らしの人を孤独にしない工夫が必要である。 ・高齢化が進んでいるので、その対策が必要	・サロン活動、ふれあい一皿運動の継続実施 ・健康教室などの開催により、元気な高齢者が暮らせる環境づくりを行っていく。 ・デマンドタクシー、移動スーパー、買い物ツアーなどの活用を検討する。
⑫健康づくり	・栄養教室、健康教室の開催	・住民ニーズを把握し、関係機関との連携により健康づくりを推進する。

テーマ	現状と課題	取組み・方向性
⑬防災(地 山・治水 を含む)	気候変動に伴う想定を超える自然災害への備え	各自主防災組織を中心に、常に近隣住民とのコミュニケーションを図り、相互に声を掛け合いながら防災に対する機運を高める。
⑭防犯・ 交通安全	・国道が通っておりスピードを出す車が多い。 ・街灯(防犯灯)が少ない。 ・交通安全対策としてのガードレールの設置	・それぞれについて実態把握を行い、関係機関に要望・協議しながら推進していく。
⑮都市間 交流	キリシタン殉教の里として、歴史的背景を共有する登米市東和町、気仙沼市本吉町との連携交流	大籠たたら製鉄とキリシタン殉教史跡保存会を核とした交流推進体制の構築
⑯移住定 住・結婚	・結婚問題は、深刻なテーマであり、共通の課題である。	・婚活の取り組みは、各方面で推進しており、その情報提供を当面の活動に据える。

自治会ミニ計画

第1区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・小さな町の藤沢病院は、子供からお年寄りの健康の鍵を握る大事な施設 ・少子高齢化の小さな町で過ごしやすさを追求 ・安心・安全で生活出来る地域づくり
今回計画スローガン	コミュニケーションのあるコミュニティづくり ～安心・安全で生活できる地域／支え合い・つながりのある地域～

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	①自治会館がなく、会議や行事などで集まる場所がない。 ②行事への参加者が減少。行事のマンネリ化。	①空き家や公共施設の活用 ②世代ごと、全世代が参加出来る行事の開催と複数自治会との合同行事の開催
高齢者コミュニティ	①高齢者世帯や一人暮らしが増えて いる。 ・高齢者が外出する機会が減っている ・高齢男性の行事への参加が少ない	①日々の声がけによるコミュニケーションと行事の参加を促す。 ・栄養・健康教室の開催 ・交通・防犯座談会の開催
子育て	①地域に若い世代が少なくなり、地域活動の維持が心配	①地域行事を通して、若者・子供が集まる場・遊び場を提供し、地域の魅力を伝える。
災害時の対応	①高齢者世帯や一人暮らし世帯への日常・災害時の安否確認が必要。	①日常から玄関などに目印を掲げ安否確認などを行う。 ②地域防災マップの確認と避難訓練の実施。
交通	①高齢者が免許返納や公共交通機関の減少により、病院通院や行事参加の移動手段が無くなり不安。	①市に対して高齢者の移動手段の確保を要望。
環境整備	①空き家や空き地が増え、周囲の草刈りがされていない場所も多く、野生動物の住処や外来植物による景観・自然環境に悪い影響を及ぼしている。	①市へ状況を報告。 地域による環境整備活動を実施。
自治会組織体制	①人口や世帯数が減少している。 ・役員のなり手不足 ・班世帯が減少	①組織の見直しを図る。 ・組織・役員のコンパクト化 ・班編成の見直し
情報	①屋外防災無線は、屋内にいと市からの情報が聞こえない事から、告知放送と連動して情報を流してほしい。	①市に対して、全ての屋外防災放送の内容を告知放送に連動させるよう要望。

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第1区自治会計画書

自治会憲章							
地域力アップ	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		363	325	243	180
		世帯数(世帯)		135	134	101	60
		小学生(人)		26	6	9	5
		中学生(人)		8	10	5	5
		高齢化率(%)		32	31	36.63	40
		一人暮らし世帯		25	17		20
		班		10	15	13	10
		面積(㎡)					
		就業の状況		第1次産業	10	15	10
	第2次産業			60	40	30	30
	第3次産業			85	85	80	80
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通10回		市営バス数回	
		その他交通機関					
		防火用水の現状		10		0	
		防犯灯(基数)		30		31	
		避難所の現状		2		2	
	地域資源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
	住環境等	水道の状況		市水道(戸)			
				井戸(戸)			
				その他(戸)			
	下水道の状況		21戸		21		
	地域課題	空き家の状況(戸)		15	20	33	40
廃校等の有無				無			
除排雪の状況		地域独自の取り組みなし		地域独自の取り組みなし			
困っていること							
困ってくると予想されること(10年後)				①多くの空き家が廃墟と化し、害獣の住処で日常生活困難。 ②農地の殆どが放棄地となり害獣出現で生活脅かされる。 ③店が閉店、銀行退去、病院縮小等で生活が困難。			
その他			お茶会の開催		お茶会の開催		

第2区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	①みんながしゅやく！みんなでやっぺし！第2区自治会 ②あんしん！あったか！あかるく元気でつながる！第2区自治会
今回計画スローガン	出来ることを確実に取り組もう

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
①コミュニティ 自治会組織 自治会再編	1. 就業構造の変化により会議及び行事等日程調整が困難 2. 専門部の活動に疑問 3. 高齢化が進み、行事内容も進展が見られない 1. 大胆な組織再編が必要である。	・いかんともしがたい状況なので、最大公約数を以て設定せざるを得ない。 ・部数を減らす方向で検討する。 ・高齢化率は右肩上がりのため、止むを得ないとあきらめるしかない。 ・行政区単位を廃止、活動エリアの拡大も止むを得ないのではないか。
②安心、安全： 災害	1. 本会の想定される災害は、火事、雷、土砂崩壊危険箇所3ヶ所	・日頃の注意喚起の徹底、日常の点検
公共交通等 ③福祉：高齢者	1. ごみステーションに足を運ぶのさえ困難な家庭が多いし、年々増加すると思われる。 2. 相乗りの話題もあるが、日中は高齢者が多く危険度が高い。	・一刻も早く、各家庭の足対策を期待します。

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

地域づくり計画書作成

第2区自治会計画書

自治会憲章	無					
地域力アップ	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）	197	179	124	
		世帯数（世帯）	64	62	55	
		小学生（人）	5	4	2	
		中学生（人）	7	6	2	
		高齢化率（％）	40	40	54.42	
		一人暮らし世帯	8	9	8	
		班	7	6	8	
		面積（㎡）				
		就業の状況	第1次産業	25	16	5
			第2次産業	33	18	
			第3次産業	42	34	1
	交通防犯	バスの運行状況	岩手県交通（1～4班）			
		その他交通機関	無し			
		防火用水の現状	2			
		防犯灯（基数）	15基・商店街街路灯5基			15
		避難所の現状	第2区自治会館さわやか近助館 絆			同左
	地域資源	地域にある団体・グループ	無			無
		地域の人材	無			無
		地域資源	無			無
		特産品	無			無
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）	62	46	
			井戸（戸）	1	1	
			その他（戸）			
		下水道の状況	6			9
地域課題		空き家の状況（戸）	4	8	12	
		廃校等の有無	無 旧藤沢小学校			
		除排雪の状況	地域独自の取り組みなし			無
		困っていること	1. 館山を境に表（1～4班）、裏組（5～6班）があり、就業の状況も相違し日常のテンポがあわない。			同左
			2. 少子化 平成26年度小学生2名			同左
			3. 貴重な壮年の自治会活動参加意識の希薄			同左
			4. 住宅周辺（特に裏）にえぐねがあり、倒木、傾斜地の法面崩壊の危険箇所が散在している。			法面4箇所
		困ってくと予想されること（10年後）	1. 極端な限界集落に陥る可能性が大きい。現在高齢化を下げているのは、狩野住宅の入居者5世帯が比較的年齢の若い世帯であるということが要因になっている。			同左
		その他	平成26年9月1日、第2区自治会館を設置。これを拠点にコミュニティの再構築にチャレンジしなければならない。			同左

第3区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	「住民が『安心・安全・健康』に生活できる地域」
今回計画スローガン	「くらし心地の良い3区」～コミュニケーションとアイデアで～

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
「新しいアイデアで楽しい時間を共有できる」自治会 (交流・ふれあい)	◇核になる事業 ◇集まる機会、場の提供 ◇参加への糸口、人口 ◇楽しむこと	・ex：花壇づくり、研修旅行、新年会 →既成の事業、内容にとらわれず、その年その年の状況に合わせた活動、イベントの提案 ・若い世代、子どもたちを交えた交流の場→子ども会活動とのリンク・連携 ・事務局からの提案に限らず、ユニークな発想の活動も推奨、導入、共催 ・誰でも参加できるよう、平日以外の事業計画も
「自慢な地域に住む」ことを誇りに思える自治会 (環境を守る・活かす)	◇親睦と連携 ◇今できることを少しずつ ◇メッセージ性	・花壇づくり（自分たちの花壇・3区の自慢） →規模の縮小、作業の軽減、デザイン重視など ・ごみステーションの管理(空き缶リサイクル) →出し方ルールの再確認、燃えないゴミに出される空き缶をリサイクルに結びつけるアイデア ・昔のこと、残したいこと。「今」への結びつけ →地域、各家庭に埋もれているモノ・コトの再発見 ・会員が集う一斉清掃、花壇づくり、リサイクル回収時などを通じて、自治会としての共同意識の醸成
「助けを必要とする力へ支援できる」自治会 (助け合い・育み合い)	◇健康で長生きのできる地域 ◇子どもの成長 ◇働き盛り ◇安寧な老後	・高齢者支援（3区自治会高齢化率：28%） →聞き取り、声かけ、イベントへのお誘い、自治会としてできる手助けの検討 ・地域包括支援システムとの連携 ・高齢や支援の必要な方の孤立感や不安の軽減、解消 →持続可能な「活動メニュー」のまとめ ・子育て支援 →地域の「宝」として見守り育成。交通安全、学習支援、親子で参加できるイベント（既成事業とのコラボ）
「いざという時に備える安全で安心な」自治会 (安全・安心)	◇当たり前の日常 ◇実情、実態の把握	・大規模災害発生時の住民の動線（地震、火災、風水害） →避難場所、避難行動、連絡体系の再確認・共有化 ・「地域の力」の備蓄、整備、自治体との連携 →能登半島地震のような大災害を藤沢地区でも想定 ・空き家の実態把握と自治会ができる対応と対策の検討 →現状把握と情報交換、危険・防犯上の問題 ・交通安全への取り組み（児童生徒、高齢者、運転者） →3区内の危険箇所の見直し、再確認 ・道路の不整備箇所、防犯灯機能の確認
「誰でも無理なく気軽に参加、貢献できる」自治会 (担い手・合理性)	◇組織の見直し ◇ボランティアの意味 ◇SNSの活用 ◇効率的、効果的 ◇年間スケジュールの共有 ◇30～40才世代への期待	・町内自治会再編の可能性も視野に →当面は3区としての活動を維持・継続しながら、周辺事情に対応、再編のメリット、デメリットを慎重に見極める必要性。藤沢地区自治会協議会との連絡、連携 ・潜んでいるマンパワーの活用（若手・ベテラン・地域人材） ・役員、班長の負担軽減、班編成の見直し →SNSを効果的に利用しつつ、対面による交流も重視 ・自治会費等の効率的な集金方法の検討 ・自治会だより、回覧板の効果的な配布、まわし方

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第3区自治会計画書

自治会憲章	この自治会は会員相互の理解と協調を図り、会員の相互工夫により明るく豊かな地域づくりに寄与することを目的とする。 *第3区自治会規約第1条（目的）						
地域力	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		516	356	357	
		世帯数（世帯）		151	116	95	
		小学生（人）		48	22	15	
		中学生（人）		23	14	10	
		高齢化率（％）		18	25	28	
		一人暮らし世帯		10	14	13	
		班		10	11	11	
		面積（㎡）					
		就業の状況		第1次産業	15	12	不明
			第2次産業	102	60	不明	
			第3次産業	150	119	不明	
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通3路線 10往復		一関市営バス3路線 6往復	
		その他交通機関					
		防火用水の現状		防火水槽4基 消火栓3箇所		防火水槽4基 消火栓3箇所	
		防犯灯（基数）		53基		53基	
		避難所の現状		藤沢文化センター		藤沢文化センター	
				第3区自治会		第3区自治会	
	地域資源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材				郷土史研究家 書家	
		地域資源		竹駒神社（赤坂神社）		竹駒神社（赤坂神社）	
						公共施設、コンビニ	
		特産品					
		自慢できるもの				自治会花壇	
						町地区と周辺住宅地域との融合	
住環境等		水道の状況	市水道（戸）	116戸		95戸	
			井戸（戸）			不明	
	その他（戸）						
	下水道の状況		17戸		不明		
地域課題	空き家の状況（戸）		11		28		
	廃校等の有無		無		無		
	除排雪の状況		無		無		
	困っていること	自治会役員の選出に苦慮している		増加してきている空き家への対策			
		自治会の行事に人が集まらない		災害時の具体的な動線の共有			
		高齢化による活動の制限		世代交代と高齢化対策			
				役員負担の軽減化			
	困ってくると予想されること（10年後）	地域の高齢化		自治会活動そのものの問い直しと転換			
	その他						

4 区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	現状に見合う活動の展開を推進する

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
イベントへの参加	高齢者、日中不在者により参加できない者が多い。参加者を探すのが難しい。多人数編成の競技種目は対応できない状況。	可能な範囲で対応する。（内容により取捨選択）
避難必要時の移動	独居高齢者の歩行機能の低下で自力移動困難者がいる。大災害の想像が無く安穩を構えてる。	状況に応じ班内で協力する。避難マニュアルの徹底。となり近所防災会議の開催。避難訓練。
スノーバスター	沿道（特に県道花泉藤沢線）の空家（7軒程度）前の積雪が自然融解まで放置。車両の往来に支障で危険がある。	市の除雪作業エリア外は班内隣近所で除雪協力をする。不足の場合は、シルバー人材活用、業者等委託する。
ミニ計画策定の限界	・単独区内の計画策定に希望が見いだせない。人口減、高齢化、生活形態・思考が多様で自治会活動に対する意欲が低下し推進する熱量がない。 ・「計画書」を「要望書（区内公共設備の整備要望）」に変えて、市の整備計画に網羅してもらう。 ・総務（窓口）・会計担当の異動が難しくなっている。	自治協への複数自治会ブロックでの策定検討を要望する。 自治協に検討を要望する。 当面、やれる人が複数期で担ってもらう。
道路・河川整備要望	道路側溝・歩道の補修・河川補修の必要箇所がある。	自治協の「道河川整備要望書」に搭載し実施優先順位上位を要望

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第4区自治会計画書

自治会憲章						
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	269	243	252	
		世帯数(世帯)	93	91	74	
		小学生(人)	12	12	4	
		中学生(人)	8	12	4	
		高齢化率(%)	53	55	62.3	
		一人暮らし世帯	9	14		
		班	9	8	8	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	15	12	
			第2次産業	102	60	
			第3次産業	150	119	
	交通 防 犯	バスの運行状況				
		その他交通機関				
		防火用水の現状	防火水槽6基 消火栓7箇所			
		防犯灯(基数)	62(街路灯49, その他13)			
		避難所の現状	藤沢体育館、旧藤沢町役場跡地			
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ				
		地域の人材	剣道スポ少指導者			
		地域資源				
		特産品				
		自慢できるもの				
	住 環 等	水道の状況	市水道(戸)	全戸		
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況				
	地 域 課 題	空き家の状況(戸)		11		
		廃校等の有無				
		除排雪の状況				
		困っていること	クリーンアップ参加者が高齢化し、水路			
			掃除が負担。			
			レクリエーション祭参加者少ない。			
			自治会役員(特に会長)のなり手がいない。			
			貸家、アパート入居者が自治会に入らない			
			消防団に入らない。			
			災害時の避難対応、動くのが難しい人			
		困ってくると予想されること (10年後)	高齢化が加速、独身者増える。人口が減る。			
			行事への参加が益々減る。			
			火災、水害、地震時の火難対応、動くのが難 消防団員減少			
	そ の 他		町地区で、農地林地等は僅かである。商工業者世帯、会社、事業所へ務めている世帯、年金儒教者世帯が多い。農業従事者はほとんど無く、数世帯が作付している。自治会内で徒歩40分位で一周できるコンパクトな広さである。			

5区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	少子高齢化が進む中、住民の繋がりを大切に助け合える地域作りを目指していきたい。
今回計画スローガン	少子高齢化が一層進む中、住民の絆とつながりを大切に、元気と笑顔、安全・安心の地域づくりを目指していきたい。 ～元気と笑顔のGO!GO!五っ区！～

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
① コミュニティ	○人とのつながりを大事にし、気軽に話ができる関係を大事にしている。 ○各部、各班等で協力し工夫しながら活動している。 ●高齢化や会員減少による活動の負担増 ●後継者不足の懸念	○協力体制の中で継続可能な取組を検討し改善していく。 ○高齢化や会員減少の中で継続可能な自治会活動を検討し改善する。 ○組織や班編成等を見直し活動の改善に取り組む。
② 安心・安全	○隣・近所のつながりを大事にし安心して生活している。 ●道路の安全上、改善箇所がある。 ●高齢者宅の安全防犯や災害発生時の避難等への不安がある。 ●公共交通手段の利便性に不安がある。 ●空き家、耕作	○絆やつながりを大事にする。笑顔の挨拶運動。 ●安全防犯対策、避難対策を関係機関と連携し検討改善する。安全点検、避難方法の確認 危険箇所の確認と関係機関との連携 ●公共交通手段の利便性の向上を関係機関と連携し改善していく。 ●空き家対策、耕作地の活用等を関係機関と連携し改善する。
③ 福祉	○子どもや障がい者、高齢者への理解を大切にしている。 ○関わりや助け合いを大事にしている。 ●少子高齢化により、福祉や助け合い、関わり合いの見直しが必要となっている。	○絆やかかわりを大切に、挨拶や交流する場を工夫しながら互いに理解し助け合う。 ●少子高齢化による課題の改善を図っていく。
④ 産業	○農業を中心とする地域の良さを生かしている。 ●農業従事者の減少が見られている。	●今後の地域産業の改善や方向性を関係機関と連携して検討・改善していく。特産品、特色ある活動を大事にする。
⑤ 教育文化	○自然の豊かさや地域の良さ、人のつながりの大切さを次世代へ継承している。 ●少子化の中で子ども会を他地区と連携して取り組んでいる。	○地域の良さ伝統や歴史、自然の豊かさ、人のつながりの大切さを工夫改善しながら伝えていく。地域学習、人材活用 ●少子化が一層進む中で活動可能な在り方を検討改善する。
⑥ その他 自慢・誇れるもの	○豊かな自然・人のつながり・人の優しさ・新地川・観音様・どぶろく・魚屋・川祭・茶話会がある。	○自然と共存し人との絆を大事にしながら、良さを守り、生かしていく。 ○無理のない活動や継続可能な自治会を検討改善する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

5区 自治会計画書

自治会憲章							
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		266	231	173	137
		世帯数(世帯)		82	81	68	54
		小学生(人)		8	13	10	8
		中学生(人)		4	3	4	3
		高齢化率(%)		30	42	49.13	57
		一人暮らし世帯		10	16		
		班		8	8	8	6
		面積(㎡)					
		就業の状況		第1次産業	35	36	
	第2次産業			48	31		
	第3次産業			43	40		
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通2路線 3往復		市民バス2路線 3往復	
		その他交通機関					
		防火用水の現状		1箇所 防火水栓1箇所		1箇所 防火水栓1箇所	
		防犯灯(基数)		4箇所		4箇所	
		避難所の現状		5区自治会館		藤沢体育館	
	地域資源	地域にある団体・グループ		川祭でお盆帰省者を喜ばせている有志の会あり。		川祭を開催運営する有志の会がある。	
						茶話会を毎月開催運営する会がある。	
		地域の人材					
		地域資源		農家民宿「歓楽楼」		農家民宿「歓楽楼」、魚屋、酒屋、ガソリン	
		特産品		あんちゃんのどぶろく		あんちゃんのどぶろく	
	住環境等	水道の状況		市水道(戸)			
				井戸(戸)			
				その他(戸)			
		下水道の状況		4軒		12軒	
地域課題	空き家の状況(戸)		4戸		増加		
	廃校等の有無						
	除排雪の状況						
	困っていること		・砂利道が雨に流され、交通に支障を来す場所あり、せめて高齢者が安心して歩行できる道路整備を ・少子高齢化による農業の担い手がいらない現状で耕作放棄地が目立つ。		・県道脇の樹木が道路に張り出し交差点への見通しが悪く、枯損枝の落下等での人身事故が心配され早期の整備が必要。 ・県道の川側ののり面が一部崩落し片側交互通行箇所がある。カーブ付近のため自動車の事故が心配され、早期の整備が必要。 ・耕作放棄地の増加により野生動物が出てくることが増加、整備が必要。 ・空き家が増加し家屋や樹木や竹藪、草が荒れた状態で放置されている。対策が必要。 ・少子高齢化が進み自治会の組織や活動の		
	困ってくると予想されること(10年後)		・少子高齢化により、道路の草刈等維持管理ができない。環境に影響。 ・高齢者世帯が多く、活動に制限が現れる。		・少子高齢化により、道路の草刈等の活動や環境管理が難しくなる。 ・自治会の活動、組織の見直し等をして持続可能な活動を検討していく必要がある。 ・若手世代が減少し負担が大きくなることが予想される。負担軽減の工夫、照会等の簡略化や省略廃止等の検討も必要となる。		
	その他						

第6区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	地域の誰もが安心して暮らせる地域づくり 地区民相互の親睦と融和を図る
今回計画スローガン	助け合える自治会

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	自治会役員のなり手不足 会社勤めの会員が多く行事の参加が少ない (日中夜間共)	役員のスリム化 選出方法の改善 若い世代に積極的に声をかける
安心・安全	道路整備が進み車の速度が速く危険 路面状況が悪く早急な補修が必要 (六十里・東立石地区) 空家の増加	速度制限が欲しい スクールバス停の安全確保 オーバーレイの要望出す 排水設備の改修 防火・防犯のための見回り
福祉	高齢者による買い物・外出等不便 タクシーだけに頼っている	地域内で援助できるか コープ・Aコープの利用や移動販売等 高齢者の意見・要望等聞く機会を
生活道路	スクールバス停に雨水が集まって流れる東立石	要望して改善してもらう
その他	班ごとの世帯数の減少が進んでいる	班同士で援助し合う

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第6区自治会計画書

自治会 意 章	わたくしたちは明るく美しい豊かな部落をつくるため、この憲章をまもりまします。 1. 郷土を愛し、仕事に励みましょう 1. 秩序を守り、時間を大切にしましょう 1. 教養を高め、文化の創造につとめましょう						
地 域 力 ル テ	人 口 等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		247	212	167	
		世帯数（世帯）		68	69	59	
		小学生（人）		17	7	9	
		中学生（人）		4	8	6	
		高齢化率（％）		39	42	41.92	
		一人暮らし世帯		5	6	13	
		班		8	8	8	
		面積（㎡）					
		就業の状況		第1次産業	44	63	
			第2次産業	70	40		
			第3次産業	19	16		
	交 通 防 犯	バスの運行状況		岩手県交通 4往復		市営バス	
		その他交通機関		一関市国民健康保険藤沢病院患者輸送バス毎		デマンドタクシー	
		防火用水の現状		有害防火水槽 6基		6基	
		防犯灯（基数）		8基		8基	
		避難所の現状		第6区自治会館		第6区自治会館	
				第6区農家組合		中山間6区集落	
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材		整体施術師 千葉幸浩			
地域資源		小平堂 小守堂（山の神・雷神様を祀る 千葉喜年様管理9		龍堂（山ノ神様 千葉喜年）			
特産品							
自慢できるもの							
住 環 境 等	水道の状況	市水道（戸）	73		73		
		井戸（戸）					
		その他（戸）					
	下水道の状況		18戸		18戸		
地 域 課 題	空き家の状況（戸）		3	7	15（廃屋含む）		
	廃校等の有無						
	除排雪の状況		無し				
	困っていること		町道六十里線の舗装が痛んでいるところが多く、車の走行や人の歩行にも支障があるため、改良舗装を希望します。		高齢化人口減少により草刈作業や側溝の泥上げ作業に参加する人数が減り、作業に長時間従事している。		
			町道小戸沢線佐藤昌宏様宅入り口付近に設置してある防犯灯を、新しい型式の防犯灯に交換して欲しい。				
			高齢化により道路の草刈作業に参加する人数が減り長時間作業に従事している。				
	困ってくると予想されること（10年後）		消防団員・婦人消防協力隊員のなり手が無い。		消防団員・婦人消防協力隊員のなり手が無い。		
			高齢化と人口減少により、草刈作業や側溝の泥上げ作業ができなくなる。		草刈作業や側溝の泥上げ作業が班単独ではできなくなる班がある。自治総出で対応しても草刈作業等出来なくなる。		
	その他						

第7区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	・助け合いの心を大切にした安心安全に暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	後継者難による世帯の激減、超高齢化により環境整備事業の地域住民の負担増加	地区全域の区割りの見直し、諸事業の見直しの実施（継続） 世代を超えた夫婦・親子全員参加の集う機会を増やす
高齢者福祉	高齢者の生きがいと地域住民の交流を図るため定期的に自治会のお茶会を実施している	（継続）
道路	切付線の改修 大雨のたび砂利等が流れ通行が危険な為、側溝等の工事を要望する	行政への要望（地域協力）
道路	唐虫線の改修 大雨のたび砂利等が流される。加えて割山付近が崩落の危険あり早期着工を要望する。	行政への要望（地域協力） 年1回道路補修・側溝上げ等をする
防犯交通	道路全般支障木の腐蝕がが目立ち倒木の恐れがある箇所が多くみられる	高齢者が多く地区対応が難しいため行政へ要望

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第7区自治会計画書

自治会憲章								
地域 カル テ	人口 等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後	
		人口（人）		238	201	141		
		世帯数（世帯）		55	54	50		
		小学生（人）		20	6	2		
		中学生（人）		8	5	2		
		高齢化率（％）		30	35	47.52		
		一人暮らし世帯		2	9	9		
		班		8	8	7		
		面積（㎡）						
		就業の状況		第1次産業	48	47	45	
			第2次産業	63	35			
			第3次産業	28	30			
	交通 防 犯	バスの運行状況		岩手県交通 平日6往復			市営バス	
		その他交通機関		藤沢病院患者輸送バス			デマンドタクシー	
		防火用水の現状						
		防犯灯（基数）		5基			5	
		避難所の現状		第7区自治会館、西口コミュニティセンター・体育館			第8区自治会館、西口コミュニティセンター	
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ		西口鶴亀クラブ、お茶会グループたかうどななちゃん 第7区農家組合、女性部 十文字中山間			西口鶴亀クラブ、お茶会グループたかうどななちゃん 第8区農家組合、女性部 十文字中山間	
		地域の人材						
		地域資源						
		特産品						
		自慢できるもの						
	住 環 等	水道の状況	市水道（戸）	50戸			50	
			井戸（戸）				2	
			その他（戸）	4戸			0	
	下水道の状況		14戸					
	地 域 課 題	空き家の状況（戸）		0	1	3		
		廃校等の有無						
		除排雪の状況		無し				
		困っていること	少子高齢化のため、あらゆる活動に支障がでている。			少子高齢化のため、あらゆる活動に支障がでている。		
			嫁不足			嫁不足		
			未舗装の道路が、大雨のたびに流され通行できなくなる。			未舗装の道路が、大雨のたびに流され通行できなくなる。		
困ってくると予想されること（10年後）		自治会合併でもしないと、今までのような行事や活動が困難になると思われる。			自治会合併でもしないと、今までのような行事や活動が困難になると思われる。			
その他								

第8区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	子供、孫、みんなが来たがる こころ癒やされる自然豊かな限界集落

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	・空き家の増加 ・戸数の減少 ・役員のなり手不足 ・若者の集まる機会が少ない ・女性の集まる機会が少ない	・自治会活動の活性化 役員会の定例化 ・班、組織の再編成
社会、安全	・消防団員の欠員 ・一人暮らし、高齢者世帯の増加 ・交通安全母の会、婦人消防協力隊の高齢化、人員不足 ・町外への足の確保	・みんなで見守り ・親組織へ活動の軽量化を図るよう見直しを依頼 ・デマンドタクシーエリアの拡大
福祉	・男性高齢者、外へ出たがらない	・お茶会等参加声かけ
産業	・荒廃地の増加・耕作者の高齢化 ・国営開発農地の有効活用	・無理をしない農業（やれるだけやる） ・外部者の参入
教育・文化	・廃れゆく伝統文化	・白沢神社おためし保存会の支援
その他	・ライフラインの維持管理 道路草刈り等	・できる範囲を選定し実施 市の支援（区域内幹線道路：木ノ中線、白沢線、増沢割山線） ・無理をしない周辺環境整備

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第8区自治会計画書

自治会憲章						
地域カルテ	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	289	217	169	120
		世帯数(世帯)	72	68	58	50
		小学生(人)	14	4	3	3
		中学生(人)	15	2	3	3
		高齢化率(%)	32	41	52.66	60
		一人暮らし世帯	5	10	7	7
		班	14	14	13	8
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	55	35	
	第2次産業	80	82			
	第3次産業	25	27			
	交通防犯	バスの運行状況	岩手県交通 平日6往復 土日祝日 3便往復		市営バス千厩花泉線3便(土日2便) 藤崎線2便(土日1便) デマンドタクシー 明秀木曜日	
		その他交通機関				
		防火用水の現状	有害防火水槽5基 消火栓4基			
		防犯灯(基数)	7箇所			
		避難所の現状	第8区自治会館・西口コミュニティセンター			
	地域資源	地域にある団体・グループ	ざっこの会		ダルマサロン	
					白沢神社おためし保存会	
		地域の人材	曳家技術・大工			
		地域資源	水道水源			
		特産品	ふじさわ納豆・りんご・ピーマン・米		りんご、米、門崎丑	
		自慢できるもの			白沢屏風岩 十文字遺跡、富岡屋敷	
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	67	50	
			井戸(戸)	1	1	
			その他(戸)			
	下水道の状況	11		11		
	地域課題	空き家の状況(戸)	1	3	13	20
		廃校等の有無	西口地区体育館			
		除排雪の状況	無し			
困っていること		白沢橋の幅員が狭いため、トラクター、コンバインが通行できなく、遠距離を迂回しなければならない状況		白沢橋の幅員が狭いため、トラクター、コンバインが通行できなく、遠距離を迂回しなければならない状況		
				白沢停留所付近洪水に伴う通行止め		
困ってくると予想されること(10年後)		・農地の荒廃により地域環境悪化		・農地の荒廃により地域環境悪化		
		・少子高齢化、人口減など著しく進行する		・少子高齢化、人口減など著しく進行する		
その他						

第9区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	結でつながる9区の暮らし

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	自治会再編についてアンケート結果、賛成、反対が同数であった。	検討を続ける。
安心、安全	災害時の避難、移動手段に不安がある。	要支援者に対し、区長、民生委員と連携していく。
福祉	支援が必要な方の情報を強要出来ていないため支援が難しい。	要支援者に対し、区長、民生委員と連携していく。
産業	耕作放棄地の管理ができず、環境の悪化が見られる。	行政と自治会の連携を目指す。
教育、文化	本郷神楽への参加、取り組みを行っている。	神楽伝承への協力
その他	地域の人口減少による、コミュニティの変化	現状に合わせて、できる範囲で行う。

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第9区自治会計画書

自治会憲章	1 私たちは和を図り互いに助け合い、住み良い地域を築きます。 1 老人を大切に、あしたの地域を担う青少年に希望の持てる地域をつくれます。 1 私たちは緑を育て、精算に励み、地域の繁栄をはかります。						
	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		277	227	182	
世帯数(世帯)		72	70	64			
小学生(人)		11	9	3			
中学生(人)		12	4	3			
高齢化率(%)		36	37	52.75			
一人暮らし世帯		2	2				
班		9	9	12			
面積(㎡)							
就業の状況		第1次産業	45	44			
		第2次産業	67	40			
		第3次産業	42	45			
交通防犯	バスの運行状況		無し				
	その他交通機関		無し				
	防火用水の現状						
	防犯灯(基数)		3基位				
	避難所の現状		白藤交流館	白藤交流館			
地域資源	地域にある団体・グループ		本郷仲楽				
	地域の人材						
	地域資源		高木山				
	特産品		いちご 野菜				
	自慢できるもの						
住環境等	水道の状況	市水道(戸)					
		井戸(戸)					
		その他(戸)					
下水道の状況		平成25年4月 10戸					
地域課題	空き家の状況(戸)		4				
	廃校等の有無		無		無		
	除排雪の状況		無		無		
	困っていること		プロイラー鶏舎からのにおいがひどい		プロイラー鶏舎からのにおいがひどい		
			救急車が入らない地域がある		救急車が入らない地域がある		
			生活道路舗装になっていない所がある		生活道路舗装になっていない所がある		
			1人2人ぐらしの家が多い(30代~50代)		1人2人ぐらしの家が多い(70代~90代)		
			自治会長をする人		自治会長等役員をする人がいない		
			耕作農地が荒れている		耕作放棄地の増加		
			皮の両側の基が伸びすぎている		少子高齢化		
困ってくると予想されること(10年後)		限界集落になる					
その他							

第10区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	1. 少子高齢化、人口減少への対応 2. 自治会活動の無関心層に対するアプローチ 3. 一人暮らし世帯及び高齢者世帯の増加への対応 4. 世代間（子供、大人、高齢者）の交流及びふれあいが不足している。 5. 自主防災などの組織活動が円滑に行われていない。 6. 郷土文化の保存と継続への対応 7. 情報化社会（ネット社会）への対応 8. 健康教室などの開催～長寿社会への対応 9. 交通、防犯対策 10. 区、独自の事業を企画～顔の見える地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域づくり活動	人口の減少、高齢化にともない世帯数、自治回数減少がある。 活動自体が先細りの現状	本郷地区（9区・10区・11区）の単独事業を一本化 沿道草刈り等の環境維持活動を主に継続 他の事業参加を縮小
道路	未整備の区域内道路が多く道路事情も大きく変わってきているので、車社会に適した道路を整備して欲しい。 カーブミラーの設置、道路幅の拡張	各路線の未整備等、行政に既に要望済みであるが優先順位をつけ早急に改善されるよう今後とも行政に対応していきたい
文化財の継承	伝承して100周年を迎えた「本郷神楽」を後世に伝える現状が危機に陥っている。 子ども数が減少して伝えることが困難になっている。	いままでの本郷神楽保存会独自の活動を見直し自治会、子供会父兄組織と一体となり活動を考えなければならない時期に来ている。
高齢者福祉	一人暮らしや、高齢者のみの世帯が増加して孤立化している。 自治会会員の減少となっている。	自治会館でお茶飲み会や健康教室を多くしていきたい。 高齢者独自の行事に自治会も率先して企画、活動補助金等進めていきたい。
公共交通 防犯	本郷地区は、昔から公共交通が通っていない地域なので不便はあまり感じないのが実体である。	スクールバス等 高齢者を優先的に乗ることができる交通機関にして欲しい。
子育て 地区PTA	子供の数自体の大幅減少もあり、子供会と自治会の疎遠が広がっている。	子供の数が減少してきているので自治会＝じじい一会となり若い父兄は参加を敬遠している傾向がある。 対策を考える時期である。
防災	自主防災組織が機能していない。 消防団、区長、自治会、行政の在り方に疑問を持っている会員が多い。	一から防災組織についてもう一度行政からの説明を聞くべきである。 それにより防災計画、防災体制を明確にすべきである。

道路	国道、県道、市道、農免道等の沿道整備が自治会の環境美化事業等だけでは整備しきれない。 行政の市道が必要	道路環境も大分変わったので自治会ができる範囲を行政から確認して整備する。
情報	H16年から自治会だよりを発行して来たことによって自治会活動が身近になって来た。編集後継者がいない。	新しい編集アプリを購入して若者でも興味を持って編集できるよう勉強会等開催していく
役員	自治会役員を始め各種役員になり手がない。特に、食改推進委員の継承が難しい。現在の食改委員は現職が多く行事になかなか出にくいのが実態。	従来の推薦制から輪番制への役員選出方法の見直しを行い、班、会員全般で負担を分担する方法を検討、実行していきたい。
会館	白藤交流館は緊急避難場所にも市定位されており、また近年の高温化で室内の活動自体が行いにくい環境になりつつある。	エアコン・冷蔵庫の設置等、環境設備の申請をし、藤沢町指定避難所らしい環境にしていきたい。特に通信環境整備が急務
環境	休耕地が多くなり、山・野山・人里のへだたりが急変してきている。 昔は、現れることのなかった獣たちが頻繁に出てきて危険な状態	環境整備にもっと予算を配分してもらいたい。 業者による環境整備事業も総合補助金の対象になったので活用していきたい。 特に河川整備が急務、水害対策等
スポーツ	自治会員減少、若手参加者の減少があり、スポーツ活動が行えない状況にある。	体協事業は基本的に本郷地区自治会協議会単位に参加をしていく。

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第10区自治会計画書

自治会憲章							
地域カルテ	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		362	328	241	
		世帯数(世帯)		97	97	75	
		小学生(人)		17	31	5	
		中学生(人)		14	15	2	
		高齢化率(%)		27	29	40.25	
		一人暮らし世帯		3	4		
		班		10	10	10	
		面積(㎡)					
		就業の状況	第1次産業	36	57		
	第2次産業		89	52			
	第3次産業		60	73			
	交通防犯	バスの運行状況		藤沢病院患者輸送バス: 1回/週			
		その他交通機関		なし			
		防火用水の現状					
		防犯灯(基数)					
		避難所の現状		本郷白藤交流館			
	地域資源	地域にある団体・グループ		本郷神楽保存会(9~11区)			
				本郷養老クラブ(老人クラブ)			
		地域の人材					
		地域資源		藤勢寺(県指定文化財阿彌陀如来立像)			
				町名、町花(白藤)名称発祥の地			
		特産品		りんご、小菊			
	自慢できるもの			町名、町花名称発祥の地			
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	ほぼ全戸に敷設済み			
井戸(戸)			不明				
その他(戸)							
下水道の状況		7戸(h15.4)→18戸(25.4)水洗化戸数					
地域課題	空き家の状況(戸)						
	廃校等の有無						
	除排雪の状況		無				
	困っていること	自治会活動への無関心層の増加					
		自主防災のあり方					
		国道・市道へのごみの投棄					
	困ってくると予想されること(10年後)	自治会活動への無関心層の増加					
		高齢者による投げ 高齢者による草刈作業					
その他							

第11区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	安全で安心できる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	高齢化が進み、世帯数減少	自治会事業の見直し
自治会組織	・各種役員になりたがらない ・興味がない	・活動の縮小
防犯	・空き家、老人世帯が多くなり、 日中見守りができない	・警察へのパトロールの回数の強化依頼
子育て	・子供の減少により子ども会活動も縮小	・他地域との連携
高齢者福祉	・個人情報問題から近隣付き合いが少なくなっている	・老人クラブ活動の活性化と会員勧誘の声かけ強化
農業	・農業での収益も少なく後継者不足、遊休農地増加	・農業でももうかる作物の考案に期待する。
住環境①	・ケモノやノラネコが多い	・都度、行政に依頼
住環境②	・他県ナンバーのトラック等の出入りがある	・都度、行政に依頼

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第11区自治会計画書

自治会憲章						
地域課題カテゴリー	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	312	267	210	
		世帯数(世帯)	83	81	77	
		小学生(人)	20	8	4	
		中学生(人)	8	2	6	
		高齢化率(%)	33	36	50.95	
		一人暮らし世帯	4	5		
		班	13	13	12	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	59	42	
	第2次産業		95	54		
	第3次産業		60	73		
	交通防犯	バスの運行状況				
		その他交通機関				
		防火用水の現状				
		防犯灯(基数)				
		避難所の現状		本郷白藤交流館		
	地域資源	地域にある団体・グループ				
		地域の人材				
		地域資源		町名、町花名称発祥の地 藤勢寺(県指定文化財阿弥陀如来立像)		
		特産品		りんご、小菊		
		自慢できるもの				
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)			
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況		15		
	地域課題	空き家の状況(戸)				
廃校等の有無						
除排雪の状況		無				
困っていること		緊急車両通行困難地域あり				
		生活道路未舗装				
		一人暮らし世帯が多く後継者がいない				
		耕作放棄地が多く農地が荒れてきた				
		自治会役員のなり手がいない				
		独身男性が多い(30代~60代)				
		消防水利不足				
困ってくると予想されること(10年後)		高齢化による自治会活動				
その他						

第12区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	【将来像】 安心、安全、魅力の第12区自治会 【基本方針】 1. ここに住むみんなが安心して暮らせる地域をつくろう。 2. ここに住むみんなが安全に暮らせる地域をつくろう。 3. ここに住むみんなが積極的に参加して活力ある地域を作ろう。 4. よそに住むみんなから愛される魅力ある地域を作ろう。
今回計画スローガン	【将来像】 活力があり、魅力的なふるさと第12区自治会 【基本方針】 1. 何事にも自発的に参加して活力あるふるさとを創ろう。 2. よそから見て羨ましがれる魅力あるふるさとを創ろう。 3. いったん離れた人も安心して帰って来られるふるさとを残そう。

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
①コミュニティ	- 自治会役員の選出に苦慮している。 - 役員はイベント・会議・提出文書等多く大変である。 - 高齢化が進み役員のなり手がいない。また、下の世代は人数が少ないうえに勤めた人が多く難しい。	- イベント・会議・提出文書等なるべく少なくする。 - 町住自協など1箇所に提出したデータは支所とか必要な全部署で共有出来るシステムにする。 - イベント・会議等は高齢者や勤め人でも出席しやすい日程にする。
②コミュニティ	- 現在自治会の班は、10班で編成しており、3世帯から8世帯と世帯数にバラツキがある。 - 持ち回りの班長も3年に1回から8年に1回とバラツキがある。 - 高齢者のみの世帯や独居老人世帯で班長を担うには困難な場合が想定される。	班編成の見直しをする。
③コミュニティ	- 黄北ふれあいセンターは、市の地域避難所に指定されている。 - 黄北ふれあいセンター集会ホールには、災害時にしか使用しない発電機などの避難所物品があり、通常のホール使用に支障をきたしている。	黄北ふれあいセンターの敷地内に防災倉庫を新設して避難所物品を保管する。
④コミュニティ	- 市道の草刈りは、班やブロック単位で行っている。 - 班やブロック単位で草刈りをする範囲の見直しをしてからだいふ年数が経っている。 - 世帯数が減少しても、草刈りをする道路延長は変わらない。 - 草刈りに出役する人が年々高齢になって作業が大変である。	- 市道草刈りの体制と範囲を見直しする。 - 市営バス路線やスクールバス路線の草刈りは市の直轄とし、外部委託などで対応してもらい、地域住民の負担を軽減する。
⑤コミュニティ	黄北ふれあいセンターの前庭は、ゲートボールの練習確保の理由から未舗装のため、管理が大変である。	黄北ふれあいセンターの前庭300平方メートルをアスファルト舗装にする工事を行う。
⑥コミュニティ	黄北ふれあいセンターは、市指定の地域避難所になっており、災害発生時の停電に備える必要がある。	黄北ふれあいセンターにソーラーシステムを導入し、災害時に備える。
⑦コミュニティ	- 黄北ふれあいセンターは、市の地域避難所に指定されている。 - 避難する道路沿いに「地域避難所・黄北ふれあいセンター」の案内標識がない。	「地域避難所・黄北ふれあいセンター」の案内標識を黄海地区に10箇所設置する。

⑧防犯・交通安全	市道樋ノ口山中線と市道沼崎山中線の交差点（旧消防屯所付近）は、深田和方面から見通しが悪く危険である。	市道樋ノ口山中線（0102号線）と市道沼崎山中線（0215号線）の交差点にカーブミラー1基を新設し、交通事故防止に備える。
⑨防犯・交通安全	市道沼崎山中線と市道京堂1号線の交差点は上り坂になっているため、対向車の確認が遅くなり、危険である。	市道沼崎山中線（0215号線）と市道京堂1号線（3158号線）の交差点に「徐行」の道路標識2基を新設し、交通事故防止に備える。
⑩防犯・交通安全	市道黄海中3号線の昆藤肇様宅付近から遠藤時安様宅付近までは、未改良であり、道路幅が狭いため、車のすれ違いができない。	市道黄海中3号線（3165号線）の道路400メートルを拡幅改良舗装し、緊急車両もすれ違いできるようにする。
⑪防犯・交通安全	市道薄衣山中線は、カーブが多く、危険である。	市道黄海中3号線（3165号線）をカーブが少なくなるよう改良工事を行い、交通事故防止に備える。
⑫防犯・交通安全	- 相ノ沢集落には、4世帯が居住している。 - 以前は素掘防火水槽があったが、現在は所有者に返還して防火水槽がない状態である。	相ノ沢地内の市道深田和1号線（3205号線）沿いに有害防火水槽（40トン）を設置し、火災時に備える。
⑬福祉	- 高齢者のみの世帯が微増している。 - 生活介助を受け入れる高齢者が予想されるが、大雪が降った時に公道から居宅まで介助者の車が入れないことが予想される。 - 大雪が降ったときに緊急車両が居宅庭まで入れないことが予想される。	班ごとに小型除雪機を購入して、行動から居宅庭までの除雪を行う。
⑭その他	LDL（悪玉）コレステロールの値や血糖値が高い人が増えている。	- 健康づくりのため、黄北ふれあいセンターに女性部が定期的に集まり、フライパンや電子レンジを使った簡単でヘルシーな料理を作る。 - 作った料理を希望者にとどける。

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第12区自治会計画書

自治会憲章	1. 友愛と団結で明るい部落を作りましょう 2. 未来を開く青少年の夢と希望を伸ばしましょう 3. 老人をいたわり古き事にも理解をもちましょう 4. お互いに時間ときまりを守りましょう 5. 美しい環境をつくり健康で明るい家庭をつくりましょう						
地域カルテ	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		262	207	167	117
		世帯数（世帯）		68	65	55	50
		小学生（人）		15	10	4	4
		中学生（人）		6	3	3	2
		高齢化率（％）		33	38	47.59	50
		一人暮らし世帯		6	5	12	20
		班		10	10	10	8
		面積（㎡）		258			
		就業の状況		第1次産業	51	38	21
	第2次産業			68	45	51	37
	第3次産業			26	35	40	30
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通「藤崎線」平日4往復、土日2往復		一関市営バス（藤崎線）平日2往復、土日1往復	
		その他交通機関		藤沢病院患者輸送バス、スクールバス		デマンドタクシー、スクールバス	
		防火用水の現状		有害水槽6基、素掘水槽5箇所、消火栓3箇所		有害防火水槽6基、消火栓3箇所	
		防犯灯（基数）		4		7	
		避難所の現状		黄北ふれあいセンター		黄北ふれあいセンター	
	地域資源	地域にある団体・グループ		第12区自治会		第12区自治会	
				第12区農家組合		第12区農家組合	
黄北はつらつクラブ				黄北はつらつクラブ			
地域の人材							
地域資源		岩倉明神社、大森愛宕神社、山ノ神社		岩倉明神社、大森愛宕神社、山ノ神社			
相ノ沢ダム、相ノ沢遺跡		相ノ沢ダム、相ノ沢遺跡		相ノ沢ダム、相ノ沢遺跡			
特産品		いわい牛、葉たばこ、米、ピーマン		岩手南牛、米、ピーマン			
自慢できるもの		黄北喫茶、第12区金婚を祝う会 田畑灌漑設備（藤崎かんばい）		黄北喫茶、第12区金婚を祝う会 田畑灌漑設備（藤崎かんばい）			
住環境等	水道の状況	市水道（戸）	62		55		
		井戸（戸）					
		その他（戸）					
	下水道の状況						
地域課題	空き家の状況（戸）		6	6	12		
	廃校等の有無		無		無		
	除排雪の状況		無		無		
	困っていること		市や各種団体からの出席依頼通知が多い		市や各種団体からの出席依頼通知が多い		
			自治会役員の選出に苦慮している		自治会役員の選出に苦慮している		
			自治会の行事に人が集まらない		自治会の行事に人が集まらない		
			黄北ふれあいセンターセンターの修繕が多くなった		黄北ふれあいセンターセンターの修繕が多くなる		
			市の除雪対応が遅い路線がある		市の除雪対応が遅い路線がある		
			市道黄海山中3号線が改良舗装されていない		市道黄海山中3号線が改良舗装されていない		
			防犯灯が少なく、夕方や夜間の歩行が不安である		防犯灯が少なく、夕方や夜間の歩行が不安である		
			道路に空き缶やゴミが捨てられる		道路に空き缶やゴミが捨てられる		
	困ってくると予想されること（10年後）		市や各種団体からの出席依頼通知が多い		市や各種団体からの出席依頼通知が多い		
			自治会役員の選出に苦慮している		自治会役員の選出に苦慮している		
			自治会の行事に人が集まらない		自治会の行事に人が集まらない		
黄北ふれあいセンターセンターの修繕が高額になる			黄北ふれあいセンターセンターの修繕が高額になる				
			沿道の草刈作業の人手が足りなくなる				
その他							

第13区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり
今回計画スローガン	みんなで支え合い、安心して明るく暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
環境保全対策	空き家や農地の耕作放棄地が増加し、景観等への悪影響が懸念される。また、高齢化により道路の草刈り等労力奉仕活動に支障が出ている。	有償ボランティアによる草刈りや雪かき等の環境整備活動の促進と、移住を念頭に垣屋の所有者に対し、空き家の流動性を高める取り組みを行う。また、側溝上げや道路周辺等の支障木を除去するなど、住みよい地域環境の精美に努める。
少子高齢化対策	高齢化率が49.5%と藤沢町の平均を大きく上回り、高齢化に伴い地域活力が低下している。また、未婚者の増加により少子化が加速し、後継ぎ問題などが喫緊の課題となっている。	高齢世帯の増加に伴い、班長の負担が重くなっていることから班の再編を検討する。また、高齢世帯には必要に応じてゴミ出しやリサイクル活動の支援を行うとともに、日常の足としてデマンドタクシーの利用を促進する。未婚者の出会いの場の創出のため、市が主催するイベント等の情報を自治会報で週とするなど支援に努める。
コミュニティ活性化対策	自治会未加入世帯が顕在化しており、地域づくりに影響している。また、若者の自治会活動への参加が少なくなっており、自治会役員のなり手も高齢化により選出が困難になっている。	地域づくりの異議を再確認するとともに、自治会活動の魅力を高め、未加入世帯の増加を防ぐ。地元で立地している企業等にも地域づくりのパートナーとして協力を働きかける。また、少子高齢化に対応した自治会専門部のあり方や活動内容を検討する。
安心安全対策	消防団のなり手がなく、地域の消防力の低下に不安を抱えている。	消防団OBの協力をもらうなど、若者の加入促進を行い、地域の防災力の向上を図る。また、防災教室等の継続的な開催を通して、防災意識の醸成に取り組む。

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第13区自治会計画書

第13区自治会計画書

自治会憲章							
地域課題カテゴリー	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		278	252	199	
		世帯数（世帯）		73	74	64	
		小学生（人）		13	7	8	
		中学生（人）		4	5	7	
		高齢化率（％）		31	33	49.75	
		一人暮らし世帯		4	6	6	
		班		8	8	8	
		面積（㎡）					
	就業の状況	第1次産業					
		第2次産業					
		第3次産業					
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通 上下各6回（休日各3回）		市営バス、デマンド交通 利用可能	
		その他交通機関		なし		なし	
		防火用水の現状		消火栓 5基、有害防火用水 8箇所		有害防火水槽8、消火栓5、利用可能	
		防犯灯（基数）		19基		19基	
		避難所の現状		黄海小学校、黄海こども園、藤沢公民館黄海分館		黄北ふれあいセンター（市）、自治会館（自主）	
	地域資源	地域にある団体・グループ		なし		お助け隊	
		地域の人材					
		地域資源		白幡神社・黄海小学校 誘致企業1社		白幡神社（前九年の戦い由来） 曹洞宗金海山長昌寺（黄海小学校発祥の地）	
		特産品					
		自慢できるもの		郷土芸能の伝承・花壇・自治会報			
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）	72+1事業所		全戸利用可能	
			井戸（戸）	使用可10、使用不可17			
			その他（戸）				
	下水道の状況				集落排水、合併処理浄化槽		
地域課題	空き家の状況（戸）				7		
	廃校等の有無				なし		
	除排雪の状況		無		個人対応		
	困っていること		カーブミラーのないところ		・防犯灯の未設置		
			防犯灯の未設置		・高齢世帯が増加し自治会役員を選出できない		
			坂道が多く除雪が行き届かず路面凍結で危険区域多		ない		
			高齢世帯が増加し自治会役員を選出できない		・通学路の道路が狭く交互通行の支障になっている		
			小学校があるも通学路が凹凸で除雪なく転倒の危険				
			通学路の道路が狭く、交互通行に支障あり				
			道路側面の立木の枝が通行の支障になっている				
			学童保育の必要性				
	水道水がくさい						
	困ってくると予想されること（10年後）		高齢世帯の増加で自治会活動が不活発		・高齢世帯の増加で自治会活動が不活発		
高齢化により地域環境整備ができなくなる 若者がいなくなる			・高齢化により地域環境整備ができなくなる				
高齢化による耕作地の荒廃			・若者がいなくなる ・高齢化による耕作地の荒廃				
その他			13区の区歌を設ける 結婚、少子化問題を真剣に考える				

第14区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり ・地域の資源を活かした地域づくり
今回計画スローガン	・少子高齢化の今、高齢者へのやさしい地域づくり ・地区内の繋がりを大切に出来る地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	地域行事に積極的に参加しているが、役員の負担が多い。	行事を見直し、必要性の高いものに絞って、負担の少ない活動を行っていく。
	自治会行事への参加人数の減少	自治会員への参加の呼びかけ
高齢者福祉	一人暮らしや高齢者世帯が増加し孤立化して来ている。	・見守り活動の組織化を図る。（班単位での美馬折り体制づくり）
		・ふれあい一皿運動の活動充実
防災	豪雨による辻山線入り口の道路がプール状態になり運行の障害になっている。	内水による冠水のため、排水設備設置を行政へ要請する。
	台風や豪雨の際、指導や水田が冠水し被害を受ける。	道路、深田和川堤防の嵩上げの要請を行政にする。
	地区内に急傾斜地崩壊危険箇所があり、安全確保対策が求められる。	災害時の避難体制、一人暮らしの高齢者の安全確保のため、班での役割設定
	水害有事の避難所の駐車スペースがなく困難が予想される。	避難所周辺に駐車所の確保を行政に要請する。
道路	地区内の市道法面の木が支障に。又大木が道路上に垂れ下がり危険性を感じる。	以前は自治会役員等で、支障木を伐採してきたが、会員の高齢化により自治会活動では難しいので、行政に要請し、民間業者等に伐採してほしい。
公共交通	高齢化が進み免許返納者増え交通手段が無くなる不安	バスを小型化にし、予約制運行等、きめ細やかな対応が必要

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

第14区自治会計画書

その他

七日町 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・地域みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり ・地域資源の再発見と活用による地域づくり
今回計画スローガン	・地域みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり ・地域資源の再発見と活用による地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
防災（治水）	○豪雨による増水に対する治水対策が脆弱 ○黄海川堤防の嵩上げと水門設置が緊急の課題	○黄海地区住民自治協議会を中心に関係機関へ工事の早期着工への請願陳情を実施します。
防災（火災）	○消防水利の整備ができていないため、緊急時に対応が遅れる危険がある。	○防火水槽の設置（下河原地区）
災害対策（避難）	○緊急避難所になっている松柏山齊苑までの道路は車1台しか通れず、駐車スペースもなく、有事の際には徒歩での避難が余儀なくされるたね老人等の避難には大変な困難が予想される。 ○避難所運営の在り方と避難誘導体制を自治会役員等で把握が十分に把握できていないことと、独自の備蓄米制度の継承。	○県道沿いの電柱への新設を含め、関係機関への改良工事の要望を行います。
防犯	○葉山道路には防犯灯の設置がなく、又、既存の防犯灯も破損が見られ、夜間の歩行に支障があるため早期に改善。	○県道沿いの電柱への新設を含め、関係機関へ改良工事の要望を行います。
地域づくり	○コミュニティ広場は地盤が悪く、広い面積があるものの、有効な活動ができず、自治会で年推移会の除草を行っている。隣接する公園と連携した活用ができるように整備が必要。 ○同年代、各世代間の交流が希薄になってきており、々自治会内でも顔を合わせる機会が少なくなっている。	○A=2, 500m 盛土=2, 500㎡による整地を関係機関に要望しながら、保全を図っていく活動を継続していきます。 ○自治会行事の設定と参加症例の呼び掛けを行います。

	○少子高齢化が進む中で、自治会をはじめとする各種団体の担い手不足が生じてきている。	○団体の洗い直しと役職、役員の全体への周知と役割を明確にしながら、選出方法継承方法についても明文化し共通理解を進めます。
産業振興	○圃場整備を行い、大型機械導入による水田耕作が実現したが、未舗装の農道が多く、効率的作業を進めていくうえでも、舗装改良が必要。 ○耕作者の高齢化に伴い、遊休農地が増えてきます。	○毎年、砕石を補充しながら整備をしていますが、関係機関に働きかけ、グレーダーによる整地を含め、改良工事実現を含めます。 ○遊休農地の保全を含めた活用方法等を協議する場を設けていきます。
安全 景観 文化財	○葉山神社参道石段が崩壊状態にあり、参拝者の歩行に危険な状態のまま放置されているため、早期の改修が必要。 ○三好監物に由来する史跡等地域内の文化財に対する保全継承が難しくなっている。	○石段設置の経緯を理解しながら関係機関との協議を進め、回収の方法を模索していきます。 ○史跡等の由来を学ぶ機会、語り継ぐ機会を作ります。
高齢者福祉 健康づくり	○老人クラブを中心としたお茶会が定例開催されているが、今後とも豊かな老後を送れるよう活動しやすい環境の整備が必要。 ○一人暮らしの高齢世帯が増えた。 ○市で行っている高齢者支援制度ができていない。	○自治会との共催行事の開催や、意見交換の実施、交流会場の整備を図っていきます。 ○自治会活動との関連を明確にしていくために、民生委員。 保健指導員等の役割を理解し、地区における支援方法の検討に努めていきます。
文化	○七日町餅つき唄と踊りが古くから伝わっているが、歌う機会が減少して生きていることから、若い世代への軽傷がなかなかできないでいる。	○自治会行事での実演（総踊り）機会を増やしながら、記録（映像保存）に取り組みます。
スポーツレク	○若者が気軽に参加できるスポーツやレクリエーションがない。	○スポーツ大会の開催情報や、黄海地区を単位とした軽スポーツの開催を要請し機会を増やしていくとともに、若者への情報提供に努めていきます。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

七日町自治会計画書

自治会 憲章						
地域 課題 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	231	195	173	
		世帯数(世帯)	66	61	60	
		小学生(人)	12	8	11	
		中学生(人)	8	4	3	
		高齢化率(%)	36	36	43.35	
		一人暮らし世帯	7	6	9	
		班	9	8	9(8)	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	32	28	
	第2次産業		46	27		
	第3次産業		43	47		
	交通 防 犯	バスの運行状況	岩手県交通 上り9 下り6			市営バス
		その他交通機関	無し			無
		防火用水の現状	7箇所			7
		防犯灯(基数)	15箇所(街路灯含み)			28
		避難所の現状	交流センターと庵寺			交流センター・庵寺、貴北ふれあいセンター
			本沢営農組合			15区農家組合
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ				七日町地区環境保全推進協議会
		地域の人材				
		地域資源				葉山神社
						三好監物
		特産品	特別栽培米 いわい南牛			特別栽培米
		自慢できるもの	良質米栽培いわい南牛(数々の表彰受賞)			良質米栽培いわい南牛(数々の表彰受賞)
	住 環 境 等	水道の状況	市水道(戸)	61		60
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
下水道の状況		既に下水道処理施設あり 58			54	
空き家の状況(戸)		0	4	10		
廃校等の有無		無し			無し	
除排雪の状況		無			無	
困っていること		行事(たとえば草刈奉仕作業)に若者が参加少なく 作業能率が悪い。参加人数の減少			少子高齢化に伴う、人口減少と自治会等 行事事業等への参加の減少	
				作業や行事等の継承がむずかしくなっている		
困ってくると予想されること (10年後)	地域内環境美化活動(草刈等)行政等に 依頼しなければならない。					
その他						

二日町 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・ みんなで支え合い、子供からお年寄りまで 楽しく安心して暮らせる二日町 ・ みんなで参加し、みんなで創る二日町
今回計画スローガン	・ みんなで支え合い、子供からお年寄りまで 楽しく安心して暮らせる二日町 ・ みんなで参加し、みんなで創る二日町

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ （自治会組織）	・ 少子高齢化、特にも若者を中心とした人口減少に伴う地域活力の低下と自治会行事等への参加者数の減少	・ 自治会行事では、慣習に囚われることなく参加しやすい形態（現状の会員数、年齢構成 に即した形態）での開催に努める ・ 現状の班厚生の見直し検討
安心・安全（防災）	・ 黄海川、急傾斜地指定箇所を抱えているが、水害、土砂災害等発生時には被害の拡大が懸念される。 自然災害に対する危機意識を醸成する必要がある。	・ 災害に対する危機意識の向上を図るため、防災訓練等を開催。講習会等への積極的参加と講習内容の普及、啓蒙活動の実施。 ・ 旧黄海駐在所跡地の一次避難場所としての有効活用策を検討。
安心・安全（防犯）	・ 空き家の増加に伴い、今後益々防犯上の問題が生じてくることが懸念される。	・ 地域内での定期的な確認点検の実施。隣近所での日常的な目視等簡易点検の励行。
安心・安全 （交通安全）	・ 通学路ともなっている地域内主要道の交通安全施設が不十分で交通事故発生への懸念がある。	・ 主要地方道花泉藤沢線の歩道拡幅及び延長改修等旧小浜商店からマーナーコスメティックス方面の歩道延長。 旧小浜商店から一本杉橋を経由して八景下、京ノ沢方面の歩道新設。 皆幸商店から黄海小学校までの歩道拡幅改良。 黄海駐在所交差点への信号機の設置。
安心・安全 （公共交通）	・ 利用しやすい市営バスの運行確保	・ 行政における継続への取り組みと地域住民による利用推進の取り組み。
福祉（高齢者）	・ 一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の増加が進んでおり、見守り活動が必要。	・ 日常生活の中で異常の有無をお互いに確認し合う意識の高揚と班単位での見守り体制づくり。 ・ 高齢者の参加しやすい行事のあり方の検討。 ・ 関係機関、団体の高齢者見守り施策等との積極的連携。
産業（商工業）	・ 地場産業の減少、衰退。	・ 地域生活密着型の商店、ガソリンスタンド等事業継続支援のための地域住民として積極的利用推進。

その他 (健康づくり)	・高齢化の進行に伴い健康づくりの必要性が増しているため、自治会独自の事業として取り組みを強化する必要がある。	・女性部主催の健康教室開催への支援と参加促進。 ・関係機関、団体との連携強化。
その他（衛生）	・自治会内でゴミ収集所の未整備箇所がある。	・市総合補助金の活用と併せ、整備対象収集所利用エリアの班員一部負担を併用し、自治会事業としての計画的な整備促進。
その他（道路）	・地域生活環境向上のため、未舗装道路の舗装促進及び主要地方道花泉藤沢線の整備。	・市道町裏16、17号線の市道16号線接続部分までの舗装。 ・上場線と県道花泉藤沢線交差部分の排水路改修。 ・県道花泉藤沢線の路盤強化改修及び道路側溝の漏水補修。

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

地域づくり計画書作成

二日町自治会計画書

自治会 憲章	私たちは竹駒を中心に敬神崇祖の理念を高め、互いに責務を自覚し二日町自治会の発展に努めます。					
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	319	292	277	
		世帯数(世帯)	88	95	84	
		小学生(人)	18	21	20	
		中学生(人)	13	7	11	
		高齢化率(%)	31	31	32.13	
		一人暮らし世帯	4	11		
		班	7	8	10	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業			
	第2次産業					
	第3次産業					
	交通 防 犯	バスの運行状況	岩手県交通花泉～千厩 6往復			市営バス
		その他交通機関	藤沢タクシー			民間タクシー事業者
		防火用水の現状	防火水槽4箇所・消火栓8箇所			
		防犯灯(基数)				
		避難所の現状				地域内に水害避難所なし
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ	農家組合・女性部・子供会			二日町祭神太鼓
			竹駒神社奉賛会			
		地域の人材				
		地域資源	街路灯40基			
		特産品				
		自慢できるもの	二日町祭神太鼓			
	住 環 境 等	水道の状況	市水道(戸)	95	普及率100%	
			井戸(戸)			
	その他(戸)					
	下水道の状況	農業集落排水65			集落排水整備	
地 域 課 題	空き家の状況(戸)		8戸	20		
	廃校等の有無				有	
	除排雪の状況	有			公道設置以外で除排雪弱者の発生	
	困っていること	街路灯維持管理費			地場商店の廃業・買い物難民発生	
困ってくると予想されること (10年後)	大雨・地震による防災施設の崩壊等			若者の更なる不足と加速的に進展する高齢化による自治会活動の継続困難		
そ の 他						

第17区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	1. 自然との共生による地域づくりをしよう 2. 健康で安全、安心な地域づくりをしよう 3. 会員相互が共に支え合う仕組みの中で地域づくりをしよう 4. 災害のない安心して暮らせる地域にしよう 5. 生活基盤の整備による快適な地域環境づくりをしよう

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	・高齢者増加に伴い、行事の参加者不足	・子供から高齢者までが気軽に参加しやすい行事を企画し、参加率を上げる。 ・地域行事を見直し、簡素化へ
公共交通	・地区内の店も少なく、最寄りのスーパーなどまで遠いため買い物が大変な方もいる。	・買い物お助け隊の企画
高齢者福祉	・独居や高齢者世帯の増加 ・草刈りや雪かきなどが困難 ・地域とのつながりが不足していく	・助けを必要とする方の名簿を作成 ・作業お助け隊の企画（雪かき隊、草刈隊、料理届け隊など） ・行政機関への利用を声かけしていく
防災・防犯	・防災放送の難聴箇所のカバー ・防災訓練の参加者が少ない ・特殊詐欺の増加 ・災害時の運転手段の整備不足	・小型スピーカー等の設置 ・既存の行事に合わせて防災訓練を実施 ・特殊詐欺について、皆で声を掛け合う詐欺防止の標語を設置 ・防災時の連絡網を各班毎に作成
環境・景観	・大型トラックの交通量増加に伴い補修が必要な路面の増加 ・支障木伐採等の修繕事業	・路面補修や伐採困難箇所については関係各位へ相談していく ・年間計画を立てて伐採していく

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第17区自治会計画書

自治会憲章							
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		204	164	141	
		世帯数(世帯)		53	49	48	
		小学生(人)		7	4	8	
		中学生(人)		10	2	3	
		高齢化率(%)		31	37	42.55	
		一人暮らし世帯		3	3		
		班		9	9	9	
		面積(%)					
		就業の状況	第1次産業		11		
	第2次産業			34			
	第3次産業			4			
	交通防災	バスの運行状況					
		その他交通機関					
		防火用水の現状		防火用水4 消火栓9			
		防犯灯(基数)		4基 6基			
		避難所の現状					
	地域資源	地域にある団体・グループ		オヤマプロイラー 株式会社 藤沢工場 農秀商会		北日本JA畜産(株) 藤沢事業所 オヤマプロイラー株式会社藤沢工場	
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
		自慢できるもの					
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	49			
			井戸(戸)				
			その他(戸)				
	下水道の状況		17				
地域課題	空き家の状況(戸)			2	2		
	廃校等の有無		0				
	除排雪の状況						
	困っていること		少子高齢化による会員の減少		少子高齢化による会員の減少		
					畜産業からの臭いの悩み		
					ゲリラ豪雨による天ヶ沢の河川の倒木、水害		
					大型車両通行による道路の損傷、騒音		
	困ってくると予想されること(10年後)		限界集落の可能性		限界集落の可能性		
					部落の班編成		
その他							

第18区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	・ 地区内に住む子供から高齢者まで明るく安心して住める ・ 子供達やお年寄りに優しい地域、快適な生活ができる地域、みんなが参加できる地域

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	・ 自治会が参加する行事、大会等へは参加体制がとれているが高齢化が進んでいる。 ・ 年2回の道路の草刈作業は高齢世帯の増加により作業が困難になってきている。	・ 自治会活動を通じてみんなが参加できる行事を模索する ・ 行事への参加啓蒙 ・ 草刈作業等、高齢者への支援が必要
防犯	・ 自治会が参加する行事、大会等へは参加体制がとれているが高齢化が進んでいる。 ・ 大きな事故等は発生していないが、引き続き安全意識の高揚が必要 ・ 未施錠家庭があり、防犯意識を各自持つ必要がある。	・ 交通安全意識、防犯意識の高揚についての意識を更に高めていきたい。
災害	・ 大雨の都度川に砂、砂利が積もり、水被害が予想される。 ・ 大雨の都度立木が水害で動いていて電線、車道への被害が予想される。	関係機関と密に連絡を取り、地域で出来るものは地域改善を図り、行政への要望活動を進める。
交通	・ 舗装路面の劣化による道路にくぼみが発生している ・ 交通速度ない市道で、朝夕通勤者がスピードを出して走っているので速度制限ができないか。	・ 交通安全意識の高揚について更に高めていきたい。 ・ 路面の安全について関係機関と連絡とる。
福祉 (子育て支援)	子育て世代の人達が集まる場、集まる機会が少ない。	地域でできる事を模索する。

福祉 (高齢者)	・一人暮らしの世帯、高齢者だけの世帯が増えている。見守り活動について意識的な展開が必要。	・一人暮らしの世帯援助について地域としての方策を考える必要がある。 ・一人暮らしの世帯、保健推進委員、食生活推進委員、自治会女性部等が中心になり健康づくり教室の実施
産業 (農業)	・動物による農作物被害が多く出ている。畑作、草地、水田に被害が発生している。	動物駆除の必要
教育文化 (家庭教育)	・地域に集まる機会を作って勉強会を開く ・ゲームに取り組むことが多い。	親、子、地域で子育て支援
教育文化8 (郷土文化)	・地域で郷土の文化を学ぶ ・正月飾り物で地域の人達と交流	学ぶ機会を多く模索する。
教育文化 (郷土食)	・地域で集まって、郷土食のおやつを作る。	地域としての方策を考える必要がある。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第18区自治会計画書

自治会憲章						
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	226	194	163	133
		世帯数(世帯)	62	57	52	40
		小学生(人)	12	6	10	3
		中学生(人)	7	6	3	1
		高齢化率(%)	31	37	47.24	65
		一人暮らし世帯	7	6	12	10
		班	9	9	8	8
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	16	28	40
		第2次産業	60	37	46	35
		第3次産業	32	30	24	20
	交通 防 犯	バスの運行状況	岩手県交通 6回/日		岩手県交通 6回/日	
		その他交通機関	なし		なし	
		防火用水の現状	既設7箇所のうち素掘り2箇所		既設6箇所 素掘り2箇所	
		防犯灯(基数)	6		6	
		避難所の現状	藤沢公民館黄海分館			
		地 域 資 源	地域にある団体・グループ			
	地域の人材					
	地域資源					
	特産品					
	自慢できるもの					
	住 環 境 等		水道の状況	市水道(戸)	56	52
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況	下水道4戸、合併処理浄化槽18戸		下水道4戸、合併処理浄化槽18戸	
	地 域 課 題	空き家の状況(戸)				
		廃校等の有無				
		除排雪の状況	無し		無し	
		困っていること	素掘り防火水槽の水源確保が難しい		高齢化による道路草刈事業の負担増	
高齢化による道路草刈事業の負担増			ゴミのポイ捨て			
井戸水の放射能濃度検査			自治会役員の負担増			
除雪の対応が遅い			法面の木々の伐採、草刈作業			
ゴミのポイ捨て						
自治会役員の負担増						
困ってくると予想されること (10年後)						
その他						

第19区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	安心安全な地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
防災	大雨による川口地内の内水による住宅への浸水	排水ポンプの設置 市に要望する。
野生生物	シカ、イノシシによる農作物の食害の被害	市に要望する。
道路	堀切橋の幅が狭いため車のすれ違いが大変で改良が必要	
地域コミュニティ	少子高齢化のため20年前より19区内で100人人口が減っている	

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第19区自治会計画書

自治会憲章							
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		258	214	156	
		世帯数(世帯)		63	57	48	
		小学生(人)		19	17	4	
		中学生(人)		11	7	2	
		高齢化率(%)		30	34	37.82	
		一人暮らし世帯		3	2		
		班		7	7	8	
		面積(㎡)					
		就業の状況		第1次産業	22	24	
			第2次産業	61	53		
			第3次産業	36	29		
	交通防犯	バスの運行状況					
		その他交通機関		病院送迎			
		防火用水の現状					
		防犯灯(基数)		6			
		避難所の現状					
	地域資源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品		米 大豆			
		自慢できるもの					
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	57			
			井戸(戸)				
			その他(戸)	10			
	下水道の状況		17				
	地域課題	空き家の状況(戸)		3	5		
		廃校等の有無					
		除排雪の状況		無し			
困っていること		嫁不足					
		後継者不足					
困ってくると予想されること(10年後)		世帯数の減少					
		若者の流出					
その他							

小日形自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	ア：高齢者同士のふれあいの持てる地域づくり イ：お隣同士の声かけを心がける地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
公共交通	ア：バスの運行の願い イ：高齢者が多い	店や（スーパー）等の施設に送迎する交通手段がほしい
防災	ア：国有林からの土砂流入 イ：北上川に直接する防災用通路がほしい	
道路	ア：鍛冶屋敷から広域農道までの道路が狭い	
高齢者福祉	ア：一人暮らしの高齢者世帯が多くなっておる年々増加している。そのような方々の見守りが大切となっていく。	
○全て住民の不安からあげました。日常生活の中で異常と思われる事が出たら、すぐ駆けつけるようにしておく。 ○高齢者の参加しやすい自治会活動等の計画を立てておく。		

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

小日形自治会計画書

自治会 憲章							
地域 カ ル テ	人 口 等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		78	51	38	
		世帯数(世帯)		22	18	15	
		小学生(人)		7	1	0	
		中学生(人)		2	4	0	
		高齢化率(%)		29	43	52.63	
		一人暮らし世帯		0	2		
		班		3	3	3	
		面積(㎡)					
		就業の状況		第1次産業		3	
	第2次産業				11		
	第3次産業				2		
	交通 防 犯	バスの運行状況					
		その他交通機関		患者送迎バス(通称 町民バス) 週1回			
		防火用水の現状		消火栓2基 防火水槽2槽			
		防犯灯(基数)		2基			
		避難所の現状		曲田ふれあいセンター			
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ		小日形自治会 消防団 納税組合 農家組合 森林組合			
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
		自慢できるもの					
	住 環 境 等	水道の状況	市水道(戸)	16戸			
			井戸(戸)	4戸			
			その他(戸)				
	下水道の状況		1戸				
	地 域 課 題	空き家の状況(戸)		2戸	2戸		
廃校等の有無							
除排雪の状況							
困っていること		少子、高齢化が進み、自治会活動、様々な活動に少なからず影響が出ています。					
困ってくると予想されること (10年後)		若い少子、高齢化が予想されます。その為、自治会活動、様々な活動に多大な影響がでくると予想されます。					
その他							

曲田 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	ひとりひとりが思いやりを持ってみんな楽しく暮らせる地域づくり
今回計画スローガン	ひとりひとりが思いやりを持ってみんな楽しく暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
自治会組織	・行政区が広く会員数が少ない。今後さらに減少していくことが予想され役員の担い手が減っていく。	・自治会の役員構成を見直していく。
災害	・北上川堤防の完成により、洪水はなくなったが、異常気象による線状降水帯の豪雨災害が心配される。	・避難所訓練などを開催し防災意識づくりを行う。
公共交通	・公共のバス路線はなく、ダイヤモンド型乗合タクシーだけとなっている。商業施設までの距離が遠く不便である。高齢化により交通弱者の増加が予想され通院や買い物に不便である。	・花腰橋を渡って花泉方面へ行く路線の運行を要望していく。（北上川向かいの永井字川ノ口まで市営バスが運行されており路線の延伸を要望する。）
少子高齢化	・子供が少なく高齢者が多い。世帯数も移転により減少した。 ・独り居暮らしの世帯も増えている。	・移住者（Iターン、Uターン等）の募集を行う。 ・一人暮らし世帯への見守り活動を継続していく。
生活環境	・館ヶ森エリアへの観光客が通る道路にゴミが増加している。 ・有機堆肥センターへの搬入車両や製品製造時の悪臭、また地区内にある養豚場からの悪臭に困っている。	・観光客への意識づくりのため、看板やのぼり旗を設置する。 ・行政へ定期的に状況の確認や指導の徹底を要請していく。
有害鳥獣	・有害鳥獣（ニホンジカ、カモシカ、イノシシ、カラス等）が増えており農産物への被害が発生している。作付けしない農地も増えてきており獣の住処になっている。	・被害が発生している農地へ電気柵やフェンスを設置するとともに猟友会へ捕獲を依頼する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

曲田自治会計画書

曲田自治会計画書												
自治会憲章												
地域 カ ル テ	人 口 等			平成15年4月		平成25年4月		令和5年4月		10年後		
		人口(人)		223		197		107				
		世帯数(世帯)		54		67		47				
		小学生(人)		21		6		3				
		中学生(人)		10		4		0				
		高齢化率(%)		32		34		42.1				
		一人暮らし世帯		5		2		21				
		班		9		9		7				
		面積(㎡)										
	就業の状況		第1次産業		65		45		19			
			第2次産業		36		26		12			
			第3次産業		21		44		31			
	交通 防 犯		バスの運行状況						なし			
			その他交通機関						デマンド型乗合タクシー			
			防火用水の現状						防火水槽:2 消火栓5			
			防犯灯(基数)						7			
			避難所の現状						曲田地区ふれあいセンター			
	地 域 資 源		地域にある団体・グループ						第21区農家組合			
									曲田営農組合			
									沼埜神社保存会			
									曲田老人クラブ延寿会			
			地域の人材									
			地域資源						上・下曲田の基盤整備された水田			
									国営開発農地市ノ沢団地			
	特産品								野菜、りんご			
自慢できるもの								岩手サファリパーク、花藤橋				
住 環 境 等		水道の状況		市水道(戸)		67				47		
				井戸(戸)								
				その他(戸)						曲田簡易水道(加入者による管理)		
		下水道の状況		6				9				
地 域 課 題		空き家の状況(戸)		3		5				9		
		廃校等の有無								無		
		除排雪の状況								道路は県や市が実施、進入路はそれぞれの管理者が行っているが、高齢者の世帯では出来なくなってきている。		
		困っていること								人口減(少子高齢化)、公共交通が少ない、有害鳥獣の増加、商店がない最寄りのところまでも遠い、道路草刈り作業人数の減少、自治会役員や班構成の再構築		
		困ってくると予想されること (10年後)								少子高齢化によって人口の減少や空き家が増える。地区内の環境整備活動や行事への参加が減っていく。住居周辺や農地が管理できなくなり荒廃する。ますます有害鳥獣が増加していく。		
そ の 他												

中山 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	安心安全な地域づくり
今回計画スローガン	暮らしやすい地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
道水路の維持	道路の草刈・道路の維持 （地域の高齢化）	業者への委託
生活	高齢による交通弱者への対応	デマンドタクシーの利便性を良くするよう市に要請
生活	高齢者の買物	共同購入や移動販売利用の推進
福祉	地域のコミュニケーション （孤独・孤立の防止）	小単位のお茶のみの復活 移動ふれあいサロンの開催
その他	まさぼうダム環境整備の継続（高齢化の進行、負担増）	アドプト協定の見直し

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

中山自治会計画書

自治会 憲章						
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	159	142	106	
		世帯数(世帯)	38	42	33	
		小学生(人)	9	7	9	
		中学生(人)	4	1	7	
		高齢化率(%)	27	30	43.4	
		一人暮らし世帯	1	4		
		班	7	7	7	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	46	51	51
	第2次産業		25	20	20	
	第3次産業		15	18	18	
	交通 防 犯	バスの運行状況	無			無
		その他交通機関	無			無
		防火用水の現状				
		防犯灯(基数)	11			11
		避難所の現状	中山自治会館			中山自治会館
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ				老人クラブ
		地域の人材				
		地域資源				まさばう湖
		特産品				
		自慢できるもの				
	住 環 境 等	水道の状況	市水道(戸)	42		31
			井戸(戸)			
その他(戸)						
下水道の状況		22		22		
地 域 課 題	空き家の状況(戸)			2		
	廃校等の有無					
	除排雪の状況	無				
	困っていること	1 地域住民の高齢化、若者の減少、少子化等の影響により地域の維持が困難		高齢化により地域維持が困難		
		2 地域内市道の維持管理				
	困ってくると予想されること (10年後)			空き家が増える可能性がある		
その他						

深萱 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	声掛けて、歩み寄り、助け合う地域に

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
住環境	・空き家が増えている	・空き家バンク ・借家に活用できないか
	・支障木が大きくなっている。	・市に要望する。
	・山林が荒れてきている。	・地区内に林業従事者がいるので相談してみる。
	・道草刈が高齢化で大変	・シルバー人材に依頼
	・家の周辺の除雪作業の高齢化	・機械化するが、近所で機械がある人をお願いする。
自治会活動	・女性部のなり手が減少	・令和6年から女性部と福祉保健部を統合する。
	・声掛けしても行事に来ない	・総会の時、今の状況を説明して願う。
	・自治会活動に同じ人しか来ない	・総会の時、今の状況を説明して願う。
	・自治会役員のなり手がいない	・総会の時、今の状況を説明して願う。
	・高齢者が多くなりスポーツ等の行事に参加が難しい	・スポーツの種目を変更して年代別で参加できる様に工夫する
防犯・防災	・空き家の火事が心配	・近隣の人は異常が無いか気に懸ける様にする。
	・街灯が少なくて怖い	・市の補助金を利用して対処
	・婦人消防協力隊、助成が少なく高齢化でなり手いない	・将来胃的に婦人消防協力隊必要なかの協議が必要
道路	・道路幅が狭く舗装が劣化	・市に要望する。
産業	・農業では生計維持できない	・兼業農家で農地の景観維持するしかない
	・農業従事者が高齢化している。	・法人化して取り組んでいるが難しい。
	・農業の後継者が不足	・法人化して取り組んでいるが難しい。
	・水田の草刈り高齢化で大変	・仲良しグループで結っこ作業シルバー人材等も検討
	・荒廃地が多くなっている。	・そば、大豆の生産したらどうか。
交通	・高齢者買い物の交通手段がない。	・自治会内で買い物ついでに注文として買い物代行する。
	・高齢者の運転が危険	・防犯座談会等でテーマとして話し合い高齢者に意識づける。
観光	・野焼き祭がマンネリ化	・毎年有名人を招いたらどうか
	・椿園が活用されていない。	・椿園のお花見を企画して宣伝してみる。 ・カラオケ大会、陶芸教室、オートキャンプ
	・これといった名物がない。	・イルミネーションを呼んだらどうか。 ・プロジェクターで映画
生活	・子供が少ない。	
	・子供の遊び場がない。	
	・一人暮らしが多くなっている。	・近所の人は声掛けしたり夜の明かりなどで確認見守る。
	・嫁が来ない。	・市が主体となって集団見合いを企画してはどうか。
	・若い人は土日に自分の時間がほしい。	・土日の行事は早い時間に始めて短時間で終わるよう努める。
	・親の介護（老老介護）	・市に相談して良い方法を指導してもらう。
	・若い人が地元に残らない。	・誘致企業が増えて働く場があれば地元に残るのでは。
	・高齢者がパソコン使えない。	・高齢者向けのパソコン教室地区で開いたらどうか。
	・子供が行事に参加しなくなった。	・積極的に飲酒の場にも子供はジュースで交えたらどうか。

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

深萱自治會計圖書

深萱自治会計画書

自治会憲章										
地域 カ ル テ	人 口 等			平成15年4月		平成25年4月		令和5年4月		10年後
		人口(人)						144		105
		世帯数(世帯)						45		44
		小学生(人)						4		0
		中学生(人)						4		1
		高齢化率(%)						38.89		
		一人暮らし世帯						6		11
		班						6		6
		面積(㎡)								
		就業の状況	第1次産業	46	51					
			第2次産業	25	20					
			第3次産業	15	18					
	交 通 防 犯	バスの運行状況		無		無		無		
		その他交通機関		無		無		無		
		防火用水の現状		3箇所		3箇所		3箇所		
		防犯灯(基数)		9基		9基		9基		
		避難所の現状		陶芸センター		陶芸センター		陶芸センター		
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ		特定農業団体アグリランド深萱		特定農業団体アグリランド深萱		特定農業団体アグリランド深萱		
				藤沢焼きを支援する会		無		無		
				陶芸センター運営委員会		陶芸センター運営委員会		陶芸センター運営委員会		
		地域の人材		なし						
		地域資源		なし		なし				
		特産品		藤沢焼き		藤沢焼き		藤沢焼き		
		自慢できるもの		深萱昔とうふ		無		無		
	住 環 境 等			なし		椿園				
	水道の状況	市水道(戸)	47		44					
		井戸(戸)	3							
		その他(戸)								
	下水道の状況		10個		13					
	地 域 課 題	空き家の状況(戸)				5				
		廃校等の有無								
		除排雪の状況		無						
		困っていること		スクールバス路線拡幅舗装、蓋付側溝設置してほしい		蓋付側溝設置を設置してほしい		蓋付側溝設置を設置してほしい		
				公民館が老朽化してきている		高金線の舗装道路が劣化		高金線の舗装道路が劣化		
				地区内の道路で土側溝があるので蓋付の側溝を設置してほしい		高		高		
						高		高		
						高		高		
						高		高		
						高		高		
						高		高		
		困ってくると予想されること(10年後)		高齢化世帯のさらなる増加		高齢化世帯の増加		高齢化世帯の増加		
						道草刈の人材減少		道草刈の人材減少		
						空き家の増加		空き家の増加		
						嫁不足		嫁不足		
	そ の 他			特になし						

24区自治会ミニ計画

令和6年2月

1. スローガン（目指すべき将来像、基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	地域のコミュニティを守り将来に存続させるために

〈補足〉 自治会の存続が少子高齢化により全国で苦慮している中、当24区も曲り角にきている

活動や負担は金銭(外注)で解決できても、災害時、一人暮らしは地域の人の存在が重要となる

何処も共通の問題ですが行政頼りではなく今10年後を考えていく時期にきている

24区は世帯数は増加しているが人口は減少していき次世代に繋ぐため何が必要か考える

〈ポイント〉 問題を共有し参画して知恵を合わせ、後の子達のため出来る事を考え、よい環境を残していく

2. 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域を活性化するためにどうするか 1) 時代変化に伴い新たな形を探る	1) 自治会発足当時より時代環境、働き方、年齢構成も変化して以前の活動が困難な状況になってくる 2) 次世代の若者達に託すためにも持続可能な運営方法を見直す	1) 現状の問題、要望、改善等意見を聞くアンケート形式 2) 若者中心のコミュニティの場を設けるベースはPTA、青年部、イベントを通じて相互理解からまずは対話 3) 各地方の取組も参考にして幅を広げる(インターネットで情報検索)
2) 地域は人の繋がりが集まれる場を作る	3) 参加してみたいイベントの企画(手作り達成感が大きな経験になる) ※子供から大人までの参加で社会体験がよい経験になる 人を知る事は防犯にも役立つ	4) 親睦をはかるには手作り祭りが有効 5) 子供達のアイデアも募集 6) 大勢に参加してもらおうと楽しい地域の枠を超えての参画も検討 7) 役割を分担して負担にならないように企画は別でも準備は高齢者も参加 8) PTAとの協賛も検討(学校協議要) 〈例〉・コース別手作りグルメ大会 ・大迷路突破大会 ・アイデア流しそうめん食べ歩き
3) 人口減少を防ぐ ・小中学校は残す ・移住者の受入れ ・出会いの場	4) 人口減少、流出で年齢構成に隔たりが出ている(高齢者の割合) 5) 県内外、他の入居者も受け入れられる体制を作る(若者に限らず定年後の経験能力も新しい発見に繋がる)	★行政、地域を超えた連携・協力体制 就業先と住居が別だったり情報交換により条件が整うこともある 9) 移住者の求めるニーズを分析(把握) 〈データ〉 1. 仕事2. 自然3. 子育て4. 近所付き合い 10) 要望にあった徳田の魅力を発進する災害に強く、生活環境も整っている 11) 土地、空き家の有効活用所有者の意向も把握してアンケート調査も有効(バンク登録等) 12) 転入しやすいコミュニティの充実 ・積極的なアプローチ 田舎暮らし体験座談会など 13) 出会いの場を企画 ・車通勤なので出会いの場が限定される(イベントへの参画)

4) 人材を育てる ・ 幼少期の経験 が大切	6) 時代の流れで地域の特徴を知る事が少ない子が増えている ・ 故郷に興味を持つ事が将来に繋がる 7) 今の社会では人材教育は期待できない 8) 世界が絶賛する日本人の精神が大切 ・ コミュニケーション能力 ・ 思いやりの心	★教育に関わる事なので協議 14) 各地取組みも参考に良い事は出来るための工夫を模索する
5) 情報発信	9) 自治会を身近に感じ関心を持ってもらう	15) 自治会通信の充実 ・ 活動報告に留らずホットニュースなども含め身近な話題も提供する 〈例〉 ・ 犬飼いました紹介 ・ 特技あります紹介etc 16) 配布物ピックアップ情報 ・ 高齢者など見ない人に必要な情報を再度お知らせする
災害にそなえる	1) 知識も経験も風化していくなか環境も変化し改めて緊急時対策を講じる 2) 高齢者等にも配慮した計画	★町全体の事なので他団体と連携 1) リーダーの育成（事例の把握・研修を地域特性に生かす） 2) 各環境毎の緊急時行動マニュアル配布（高齢者・一人暮らし・時間帯別） 3) 介護者の避難先の確認と手順（行政との意思疎通を図る） 4) 自自会の行動指針作成（あらゆる状況を想定する）
環境整備及び安全	1) 名生城団地下道路（早道線接続）の側溝が土手の落ち葉にて詰まりやすく道路水没がたびたび起こる 気がついた時有志にて側溝上げしてる 2) 放置竹林が至る処にあり手入れも行き届かず弊害が懸念される 竹は根が浅く増殖力が強く枯れない 主な害は土砂災害、日照被害、樹木の成長被害、獣の住処 住宅が近い場合土台への影響など放ってはおけないが枯れさせるには専門知識と時間を要する	★管轄外なので行政と調整 1) 土手の広葉樹の枝伐採 2) 側溝蓋設置約15m（効果は微妙） 1) 竹の再利用を考える 2) 竹藪の整理 整備されたタケノコ林 竹も材料として利用 ※共通の問題なので他団体と協力（全国の成功例を調査） 知恵を出せば起業のチャンス
一人暮らし 困っている人対策	1) 現在高齢者を対象に集まりの場を催しているが何れ主催側も高齢化していく 2) 関係団体で色々なサービスもあるが経済的理由、人見知り、面倒など億劫になる人もいる 3) 合わない時は合わず状況がわからない	★基本対話と繋がりをを感じる事が大事 出来る人が出来る事で協力していく（昔取った杵柄作戦） 1) 将来的には小規模でも気さくな集まりを続ける（自宅会場でも有り） 2) 対話の中で困った事があれば協力隊で解決策を相談する 〈例〉買い物助っ人、便利情報助っ人 3) 安否確認対策 〈例〉黄色いリボン表示作戦 ※何れもその時の状況によって自治会と連携し支えていく

地域づくり計画書作成

第24区自治会計画書

第24区自治会計画書									
自治会憲章		地域のコミュニティを守り将来に存続させるために							
地域 力 テ	人口			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後		
		人口（人）		349	413	387			
		世帯数（世帯）		106	145	114			
		小学生（人）		34	24	34			
		中学生（人）		5	13	14			
		高齢化率（％）		21	21	28.68			
		一人暮らし世帯		3	9				
		班		10	10	14			
		面積（㎡）							
	就業の状況	第1次産業	主要産業である農業従事者の高齢化が進行している		主要産業である農業従事者の高齢化が進行している				
		第2次産業	新規世帯の多くが製造業への従事者となる		新規世帯の多くが製造業への従事者となる				
		第3次産業	サービス、公務等はほとんど変動がない		なし				
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通（千厩～花泉線）4往復		なし			
		その他交通機関		特になし		特になし			
		防火用水の現状		1箇所		不明			
		防犯灯（基数）		不明		不明			
		避難所の現状		藤沢公民館、藤沢小学校、徳田交流館等		徳田交流館、市民センター			
	地域資源	地域にある団体・グループ		八幡神社しめ縄会		継続していく			
		地域の人材		特になし		特になし			
		地域資源		特になし		特になし			
		特産品		特になし		特になし			
		自慢できるもの		特になし		特になし			
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）	ほぼ全世帯に市水道を敷設		ほぼ全世帯に市水道を敷設			
			井戸（戸）	数戸程度と思われます		数戸程度と思われます			
			その他（戸）	井戸と市水道の併用世帯もある		井戸と市水道の併用世帯もある			
下水道の状況		おおよそ50％程度追い設置戸数と思われる							
地域課題	空き家の状況（戸）		4	4	4軒あります				
	廃校等の有無		無し		無し				
	除排雪の状況		無						
	困っていること		高齢化による地域活動への不対応（奉仕作業等）		奉仕作業に対応していく				
			自治会館（集会所）の老朽化		いずれ50年すぎているのでたてたい				
	困ってくると予想されること（10年後）		独居老人問題		15世帯はあると思います				
			空き家問題		現在4軒空き家になっています。				
			耕作地の荒廃		これからどんどん増えていきます。				
			高齢化による地域活動への不対応の拡大						
その他			＊世代間のニーズ多様化による課題の相違（団地造成により世帯の増加で勤労者世代が増え、地域全体の課題の把握が徐々に難しくなっている。）						

地域づくり計画書作成

第25区自治会計画書

自治会 憲章						
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	155	140	115	
		世帯数(世帯)	38	37	36	
		小学生(人)	7	6	6	
		中学生(人)	7	5	5	
		高齢化率(%)	30	31	46.09	
		一人暮らし世帯	1	7		
		班	5	7	7	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	33	23	
	第2次産業		36	24		
	第3次産業		24	25		
	交通 防 犯	バスの運行状況				
		その他交通機関				
		防火用水の現状				
		防犯灯(基数)				
		避難所の現状				
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ				
		地域の人材				
		地域資源				
		特産品				
		自慢できるもの				
	住 環 境 等	水道の状況	市水道(戸)	37		
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況		7		
	地 域 課 題	空き家の状況(戸)		0	1	
廃校等の有無						
除排雪の状況		無				
困っていること		防火設備消火栓の不足(掘地内・袖ノ沢地内他)				
		道路問題(掘線・萱刈場地内)				
		横断歩道の不足(自治会花壇付近十字路交差点)				
		交通安全カーブミラーの不足				
困ってくると予想されること (10年後)		少子化・後期高齢化				
		自治会活動の弱体				
		農業専従者離増				
その他						

第26区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・ みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり
今回計画スローガン	みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	人口、世帯の減少により、単一自治会の運営が難しくなっている。	行政区、自治会の再編
安心、安全	市道、徳田交流館前路肩からの転落事故が多発している。	ガードレールの早期設置
安心、安全	側溝の老朽化と相次ぐ大雨により、道路の破損が多発している。	側溝の点検と整備
福祉	不便なところに住んでいる世帯の草刈、雪かき	自治会員による環境整備
福祉	敬老会を開催する場合の担い手不足で運営が大変になっている。	記念品等の贈呈のみとする方向転換

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第26区自治会計画書

自治会憲章	私たち26区民は互いに支え合って豊かな明るく住みよい部落をつくるため、この憲章を定めます。 一、私たちは、きまりを守り、時間の励行をいたします。 二、私たちは、学習を重ね、部落の発展につとめます。 三、私たちは、健康を大事にし、体力づくりにつとめます。 四、私たちは、勤労を重んじ、生産に励みます。 五、私たちは、和を大事にし、何事も話し合いによってすすめます。						
地域カテゴリー	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		162	143	110	
		世帯数（世帯）		37	38	36	
		小学生（人）		7	11	6	
		中学生（人）		9	3	6	
		高齢化率（％）		31	29	40.91	
		一人暮らし世帯		0	2	2	
		班		8	6	5	
		面積（㎡）					
		就業の状況		第1次産業	21	15	
			第2次産業	20	18		
			第3次産業	16	20		
	交通防犯	バスの運行状況		無し		なし	
		その他交通機関		公共交通機関無し		デマンドタクシー	
		防火用水の現状		2		2	
		防犯灯（基数）		4		4	
		避難所の現状		2		1	
	地域資源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
		自慢できるもの		ふれあい絆水田「がんばっ田」の取り組み		交流の丘（桜）	
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）	25	36		
			井戸（戸）	30	27		
			その他（戸）				
		下水道の状況		3	13		
地域課題	空き家の状況（戸）		0	4	7		
	廃校等の有無		あり		あり		
	除排雪の状況		無		なし		
	困っていること		現状では皆の協力で、共同作業等も実施できている。		人口、世帯の減少により単一自治会の運営が難しくなっている。事業への参加者の減、役員のなり手不足、子供会の運営の見直しの必要性等の課題がある。また、共同作業への協力が難しくなっている世帯が少しずつ増えている。		
			しかし、自分が動けない分を雇用により解消している。				
			例も見られてきているので、当面共同作業に支障をきたすようになっていくと思われる。				
	困ってくると予想されること（10年後）		共同作業の出役が出来なくなる。		現在の行政区、自治会では運営が困難なことが予想されることから、見直し再編が必要。		
			環境の維持、整備方法の見直しが必要。		また、共同作業への協力世帯が減少し、会員の負担が増すことが予想されることから、環境の整備方法の見直しが必要。		
その他							

第27区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・地域住民がお互いに助け合い、快適な環境の中で、安心・安全に暮らせる地域づくり ・農村景観の保全、そして調和した環境の整備
今回計画スローガン	・地域住民が相互に助け合い、地区内の融和と親睦を図り、安心・安全な地域づくり ・地域の景観、財産を保持した環境の整備

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
高齢者福祉	高齢化率が年々高くなり、老老世帯、一人暮らし世帯も多くなり、生活が不安になっている。	・地域（各班）で見守り、声かけをする。 ・支援を必要とする世帯の意向を聞き、自治会（行政含む。）で検討する。 ・生きがいづくり、健康づくり教室の開催（毎週月曜日百歳体操の実施）
産業	高齢化、後継者がいない中、遊休農地も増え、草刈りが大変になっている。動物による農作物への被害も増加傾向に有る。	農村景観保全、労働の軽減、効率的な農業経営を図るため集団経営を検討する必要がある。鳥獣対策も必要になってくる。
交通	公共交通が無い地域のため、高齢者や免許返納者が増え病院や買い物等に行くことも不便になっている。	デマンドタクシー利用推進、市営バス等の定期運行の推進をする。
防災	各地で大規模な自然災害や火災が多発し、地域内には土砂災害警戒区域に指定されている場所もあり、災害が起こる危険性はある。 高齢者世帯も多く、不安である。	危険と思われる箇所の点検と行政への情報提供及び改善 防災マップでの確認 防火水槽（有蓋水槽）設置の働きかけをする。
地域コミュニティ	自治会活動も高齢化に伴い難しくなっている。役員も同じ人がやっている状況で、今後の自治会活動が心配である。 行事への参加も難しくなっている。	一つの自治会のみでの活動は難しくなっており今後自治会の再編も検討する必要がある。 再編については、徳田地区住民自治協議会が中心となって検討する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第27区自治会計画書

自治会憲章	黄金山より湧き出る清水に育まれて 清く正しく美しく、そして健やかに暮らしましょう						
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		161	126	95	
		世帯数(世帯)		38	40	34	
		小学生(人)		10	7	2	
		中学生(人)		4	3	0	
		高齢化率(%)		34	37	52.63	
		一人暮らし世帯		0	3	10	
		班		5	4	4	
		面積(㎡)					
	就業の状況	第1次産業	29	26	23		
		第2次産業	38	23	21		
		第3次産業	24	25	24		
	交通防犯	バスの運行状況		無し		無し	
		その他交通機関		病院バス		スクールバス	
		防火用水の現状		1 消火栓5		1 消火栓5	
		防犯灯(基数)		7		7	
		避難所の現状		徳田交流館		徳田交流館	
	地域資源	地域にある団体・グループ		大正琴愛好会		大正琴愛好会	
						若返り隊	
		地域の人材					
		地域資源		黄金山		黄金山	
				ほたるの里		ほたるの里	
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	26		26	
			井戸(戸)				
			その他(戸)				
		下水道の状況		8		8	
	地域課題	空き家の状況(戸)		2		3	
廃校等の有無		小学校(22, 3)					
除排雪の状況		無		無			
困っていること		自治会役員・会員の高齢化		自治会役員の高齢化		自治会員の高齢化	
		高齢化による活動の制限		高齢化による活動の制限		高齢化による活動の制限	
						交通手段の確保	
困ってくると予想されること(10年後)		自治会活動の弱体化		自治会活動の弱体化		自治会活動の弱体化	
		地域の高齢化		地域の高齢化		少子高齢化による担い手不足	
その他							

第28区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	子どもからお年寄りまで、みんなが楽しく明るく豊かに暮らせる地域
今回計画スローガン	同上

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	人口減、少子・高齢化の進行で、「自治会活動、各種行事への参加が難しくなっている。	1自治会のみでの活動は難しい状況となっていることから、徳田地区全体の取り組みを、徳田地区住民自治協議会が中心となり推進していく。 また、自治会の再編も今後検討をする必要がある。
高齢者福祉	一人暮らし、老老世帯、要介護者の増が見込まれる中で、可能な限り地域で暮らせる環境を作る必要がある。	老人クラブや各種団体との連携により、お茶飲み会・健康教室等の定期開催を促進する。
産業・景観	畑地・山林の荒廃が多く見られ、空き家の増も懸念され、除草・山林の手入れもままならない状況である。農村景観保持が大きな課題である。	遊休地に菜の花、ひまわりの植栽を進めているが、個々での対応は難しいことから、団体での取り組みを検討する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第28区自治会計画書

昭和51年1月1日制定

自治会憲章

私達28区自治会員は自覚と責任をもって融和団結し豊かで明るい部落を築くため顕彰を定めこれを守ります。

1 お互い時間を守り集会には必ず出席しましょう

1 老人をいたわり子供の夢を伸ばし話し合いを深め明るい家庭を築きましょう

1 生活に誇りをもって生産に励み生活の向上に努めましょう

1 豊かな心健やかな体で明るい未来を作りましょう

1 虚礼をやめて生活の簡素化に努めましょう

			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後	
人口	人口（人）		242	204	162	130	
	世帯数（世帯）		64	61	56	50	
	小学生（人）		19	11	5	5	
	中学生（人）		4	6	2	4	
	高齢化率（％）		26	36	41.36	51	
	一人暮らし世帯		3	4	8	12	
	班		9	9	9	9	
等	面積（㎡）						
	就業の状況	第1次産業	24	33	26	20	
		第2次産業	58	32	34	25	
		第3次産業	43	44	32	30	
交通防犯	バスの運行状況		無し		無		
	その他交通機関		無し		無		
	防火用水の現状				10	10	
	防犯灯（基数）				11	11	
	避難所の現状		第28区自治会館、徳田交流館		同左		
地域資源	地域にある団体・グループ						
	地域の人材						
	地域資源						
	特産品						
	自慢できるもの						
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）			56	50
			井戸（戸）				
その他（戸）							
下水道の状況		10		15	20		
地域課題	空き家の状況（戸）				2	6	
	廃校等の有無		旧徳田小学校		旧徳田小学校		
	除排雪の状況		無				
	困っていること		高齢世帯と一人暮らし世帯の増		○人口減、少子・高齢化の進行で、各種行事への参加が難しい。		
	困ってくると予想されること（10年後）		集落行事等の開催困難		○一人暮らし、老老世帯、要介護者の増		
農地の荒廃			○空き家の増				
			○農地の荒廃、三里の荒廃				
			○各種行事への参加、開催が難しくなる				
その他							

第29区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	健康で明るく豊かな地域づくり
今回計画スローガン	健康で明るく豊かな地域づくり 皆の智恵と力でこの地域を守る

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	少子高齢化及び人口減少による自治会活動パフォーマンスの低下。自治会活動への参加者の減少	・子供から高齢者が楽しんで参加できるような活動を工夫する ・各層別（子供会・青年部・・・）活動の活性化推進及び支援 ・全員の力でこの地域を守り支え合っていく
産業（農業） 自然環境 景観	高齢化によるマンパワー低下により草刈り作業が困難となって来る。 耕作放棄地・未耕作地の増加による景観の悪化。 高齢者世帯への草刈作業等の支援も必要になって来る。	・所轄する農事組合法人と連携した取り組みを行う。 ・ハンマーナイフモア等、機会保有者への委託や計画的な共同草刈り作業の実施 ・草刈り安全作業講習会の実施（経験の浅い人や女性への普及）
安全・安心 道路	国道456号線関連の改修工事 ・野々田橋の歩道を含む拡幅 ・野々田橋～ハネト間歩道の設置 （歩行者の危険防止が必要）	国道456号線改修工事の要望活動継続実施
安全・安心 防災	火の田橋は仮橋となっており経時劣化や大雨による流出の恐れ等災害発生の可能性が考えられる。	永久橋となるよう、市等への要望活動を継続実施

安全・安心 防災	近年の温暖化等による異常気象（集中豪雨）や大地震による災害等がいつでもどこでも起こりえる状況である。	・危険箇所の再点検 ・防災マップの周知 ・災害対処法の講習会活用や対策マニュアルの準備
環境維持	道路沿いの草刈り、支障木倒木、側溝泥上げ未処理	行政への支援要望したい ボランティア組織作り検討している
高齢者福祉	外出する機会が減り、孤立化等も懸念される。 高齢者の移動手段が少なく買い物難民が増加してくる。]大雪による私道（門口）の除雪対応が必要になって来る。	・お茶会活動への参加を呼びかけその活動を通じ健康長寿を目指す。 ・JAや民間の移動販売、通販等の活用 ・グループでのタクシー移動やデマンドタクシー等の活用 ・除雪車保有者への委託や共同作業による支援

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

地域づくり計画書作成

第29区自治会計画書

第29区自治会計画書

自治会憲章							
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）		156	139	101	
		世帯数（世帯）		42	42	34	
		小学生（人）		7	7	3	
		中学生（人）		5	3	1	
		高齢化率（％）		31	35	46.53	50%超
		一人暮らし世帯		3	4	2	4
		班		5	4	4	4
		面積（㎡）					
		就業の状況		第1次産業	14	16	20
	第2次産業			36	27	14	
	第3次産業			25	31	10	
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通 1日6往復		市営バス	
		その他交通機関		送迎バス・自家用車 他		送迎バス・自家用車 他	
		防火用水の現状		3箇所（素掘り含む）		3箇所	
		防犯灯（基数）		8基		8基	
		避難所の現状		新沼コミュセン（他に区内に1次避難所4箇所指定）		新沼コミセン	
	地域資源	地域にある団体・グループ	集落営農 グリンプラン「あぜ道」		農事組合法人 ふる砂徳ファーム		
					八沢長生会		
		地域の人材		元町会議員 2名			
		地域資源		米等農産物		米・野菜等の農産物	
	特産品	米等農産物		農産物（米・ピーマン・トウモロコシ・椎茸・・・等）			
		自慢できるもの		地域民の団結力 世代間交流会・盆踊り大会（区単独）継続実施		地域民の団結力 世代間交流会・盆踊り大会（区単独）継続実施	
	住環境等	水道の状況	市水道（戸）	33	33		
			井戸（戸）				
			その他（戸）				
		下水道の状況		12	浄化槽15		
	地域課題	空き家の状況（戸）			2	5	
		廃校等の有無				新沼小学校（R5.3廃校）	
		除排雪の状況		無		無し	
困っていること		少子高齢化		少子高齢化			
		結婚問題		結婚問題			
		人口の流出・過疎化		人口の流出・過疎化			
		後継者問題		後継者問題			
困ってくると予想されること（10年後）		上記内容が進み、地域の活性化や自治会活動のパフォーマンスが低下する		住民が減り高齢化が更に進み界集落となり、周辺環境や農地等が益々荒廃する。反面、鹿・猪・猿等が増え、獣害による人や農作物への被害が懸念される。			
その他			町の人口も相当数減少する。そのことから町のスーパーやGS等の生活に密着した店舗の減少も懸念される。又公共料金8水道等）等の値上げも懸念される。				

第30区 自治会ミニ計画

スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	安心して暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	青年人口の減少により ・自治会活動の停滞 ・耕作放棄地の増加 ・道路、水路等公共施設管理不足	・各世代ごと世代間行事にて交流促進 ・地域農事法人や個人により借上げ促進 ・中山間地・農地水など有効活用する ・各班ごとによる御人足体制推進する ・有料ボランティアの検討 ・将来的に自治会の統合を進める
安心・安全	高齢者や一人家庭の増加により ・空き家の増加 ・野生動物の増加 ・不審人物・業者見受ける	・周辺住民からの声掛けを意識する ・周辺住民同士の情報交換を積極的にする ・行政による空き家取り壊しを要請する
福祉	高齢者の一人暮らし増加により ・病院や買い物支援を必要とする ・農地などの維持管理ができない ・特に夜間救急支援を要する	・高齢者交流の会（やまびこ等）を継続する ・近隣住民による声掛けをする ・体力維持やりフレッシュ活動を計画する ・日頃からの見守りが大事
道路	より安全安心の道路が必要 ・槻ノ木沢線が未舗装で危険 ・山側からの木が被さり狭小に	・市への拡張舗装要請 ・狭小箇所は市役所（産業建設課）へ依頼 ・その他新しいテーマについて見直しをする

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

地域づくり計画書作成

第30区自治会計画書

自治会憲章						
地域力アップ	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	339	(183) 295	258	
		世帯数(世帯)	185	(47) 164	46	
		小学生(人)	15	13	6	
		中学生(人)	6	26	1	
		高齢化率(%)	17	4	34.11	
		一人暮らし世帯	3	7	6	
		班			5	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	28	12	
	第2次産業		68	44		
	第3次産業		38	52		
	交通防犯	バスの運行状況	岩手県交通花泉線8便復路7便 千厩大籠線3往復			
		その他交通機関	藤沢病院送迎バス			
		防火用水の現状				
		防犯灯(基数)				
		避難所の現状	第1次-第30区自治会館		第1次-第31区自治会館	
	地域資源	地域にある団体・グループ	八沢長生会第一クラブ 農家組合 農地水環境保全向上 子供会		八沢長生会第一クラブ 農家組合 農地水環境保全向上 子供会	
		地域の人材				
		地域資源	農地 山川			
		特産品				
		自慢できるもの				
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)			
			井戸(戸)			
	その他(戸)					
		下水道の状況	15			
地域課題	空き家の状況(戸)			2		
	廃校等の有無					
	除排雪の状況	国道456号線歩道除雪を一部地域有志が行っている。				
	困っていること	少子高齢化 空き家の増加 結婚難 遊休農地の増加		少子高齢化 空き家の増加 結婚難 遊休農地の増加		
困ってくると予想されること(10年後)	今困っていることの進行		今困っていることの進行			
その他						

第31区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	1 健康で安心して住める地域 2 元気であって希望の持てる地域 3 この地域に住んで良かったと実感できる地域となることを目指す

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
① コミュニティ 自治会組織、再編 コミュセン等	自治会役員の担い手不足 青年部活動人員不足、弱体化	役員の仕事を分担軽減必要あり 隣接する自治会との連携検討
② 安心、安全 交通安全、防災災 害、公共交通等	急傾斜地崩壊危険箇所問題 国道456線関田～上山間の急 カーブ解消	定期的な巡回と行政機関への改良工事要望再提 出
③ 福 祉 子育て支援、障が い者、高齢者等	独居高齢者家庭の増加 閉じこもり気味心配 草刈り、雪かき作業支障有	班や近隣の見守りで支え合う サロン、居酒屋公民館で外出機会促す ボランティア組織作りを検討している
④ 産 業 農業、商工業	耕作放棄地の増大	やる気のある個人、法人が参入し易い行政の環 境整備、規制の緩和を求める
⑤ 教育、文化 家庭教育支援、郷 土文化、郷土食	新沼小学校跡地の利活用 地域芸能うちばやし	行政から全国に利活用PR希望する 人員不足の為近隣子供会との連携強化
⑥ 環境維持	道路沿いの草刈り、支障木倒木、 側溝泥上げ未処理	行政への支援要望したい ボランティア組織作り検討している
⑦ 若者定住促進	若者が減少している	魅力的なまちづくり施策を要望する 税制優遇や空き家活用を希望する
⑧ 害獣対策	害獣の出没増大	駆除対策指導会を要望する

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第31区自治会計画書

自治会憲章						
人口	人			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月
						令和6年2月
		人口(人)		217	178	148
		世帯数(世帯)		51	51	43
		小学生(人)		9	5	10
		中学生(人)		11	3	4
		高齢化率(%)		34	29	45.27
		一人暮らし世帯		3	3	5
		班		7	7	7
		面積(%)				
		就業の状況	第1次産業	26	29	20
			第2次産業	54	29	29
			第3次産業	35	39	27
交通防犯	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通花巻線8便復路7便		
		その他交通機関		藤沢病院		
		防火用水の現状		3(溜め池に頼る)		3(溜め池に頼る)
		防犯灯(基数)		4(境田新城沢芦管田自治会館)		4(境田新城沢芦管田自治会館)
		避難所の現状		新沼保育園新沼小学校自治会館は水害時不適		新沼小学校跡地
地域資源	地域資源	地域にある団体・グループ		農家組合・八沢長生会・農地水環境保全向上		農家組合・八沢長生会・農地水環境保全向上
		地域の人材		農業、建設業、福祉、防災、教育、料理等多彩		農業、建設業、林業、福祉、教育、防災、石材業
		地域資源		農産物、山林		農産物、山林
		特産品		りんご、ピーマン		りんご、ピーマン
		自慢できるもの		藤沢ばやし		藤沢ばやし、スコップ三味線
環境等	環境等	水道の状況	市水道(戸)	44	38	
			井戸(戸)	3	5	
			その他(戸)			
		下水道の状況		007/017		25/43
地域課題	地域課題	空き家の状況(戸)		6		6
		廃校等の有無		無し		
		除排雪の状況		無し		
		困っていること	崩壊の恐れのある危険箇所が放置されている		崩壊の恐れのある危険箇所が放置されている	
			家族構成(高齢化、老老世帯、一人世帯、独身者)		家族構成(高齢化、老老世帯、一人世帯、独身者)	
			農業経営の崩壊		耕作放棄地増大	
			生活の安全確保(放射能汚染、道路の整備)		道路整備	
			文化活動及び伝承活動の衰退		文化活動及び伝承活動の衰退	
			働く場の確保			
			少子化、人口減、空き家の増ですか		少子化、人口減、空き家の増ですか	
		困ってくると予想されること(10年後)	現在困っていることが進むこと		現在困っていることが進むこと	
			地域崩壊		高齢世帯の増加	
その他	その他					

第32区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	自らを見つめ、覚悟をもって先ず一歩

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
交流施設	施設老朽化により多大な補修費が見込まれる。 施設頻度に対して負担が大きい (会費・清掃・周辺管理)	新沼コミュセン利用移行に向けて、施設解体・市への返還を具体的に計画実施する。
組織	役員のなり手不足と各種負担金の在り方 自治会の枠組みの検討の必要性 (広域化)	自己組織の再編と併せて、市・各種団体に役目や必要性について再検討を要請する。 人口・世帯数減に伴い自治会の枠組みについて早急な議論を行う。
防災	年々自然災害が多くなっている	クリーンアップ行事と日頃の自己管理啓発により、大きな災害を未然に防ぐ。 自主防災部及び関係機関との連携強化。
文化	小学校統合などにより地元の神楽に接する機会が少ない。	自治会行事などで披露できないか保存会の皆さんと協議する。
農業	休耕・耕作放棄地の拡大 害獣の生息地拡大	中山間地域特有の栽培不適地の発生は致し方ない。適地については担い手に集約 関係機関との連携強化
高齢化	すべての問題が集約される	関係機関との連携をとり、無理のない見守りを行う。 特効薬は無い事を再確認し、覚悟をもって日々生活する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第32区自治会計画書

自治会憲章										
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後			
		人口(人)		226	186	148				
		世帯数(世帯)		59	58	54				
		小学生(人)		14	5	4				
		中学生(人)		11	3	3				
		高齢化率(%)		28	30	47.97				
		一人暮らし世帯		5	6					
		班		9	9	9				
		面積(㎡)								
		就業の状況	第1次産業	55	45					
	第2次産業	47	34							
	第3次産業	25	31							
	交通防犯	バスの運行状況	3往復		市営バス、スクールバス					
		その他交通機関	無し							
		防火用水の現状	8		8					
		防犯灯(基数)	6		6					
		避難所の現状	増沢交流館		増沢交流館					
			増沢かぐら		増沢かぐら					
	地域資源	地域にある団体・グループ								
		地域の人材								
		地域資源								
		特産品								
		自慢できるもの								
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	不明						
			井戸(戸)	不明						
			その他(戸)	不明						
		下水道の状況	15年	12戸	25年	21戸				
	地域課題	空き家の状況(戸)								
		廃校等の有無								
除排雪の状況		有り ボランティア		歩道の除雪						
困っていること		側溝(あらゆる道路の)に蓋がほしい		施設の運営						
		グレーチングの盗難		役員のなり手不足						
		震災による被害箇所の修復を早期にして欲しい (市道上山・宿田線の修復)								
困ってくると予想されること (10年後)		少子高齢化		施設の運営						
その他										

第33区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり 地域の資源を活かした地域づくり
今回計画スローガン	みんなで支え合い、安心安全に暮らせる地域づくり 地域の資源を活かした地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
自治会	少子高齢化に伴う活動の継続性	当面は会員相互協力で現状維持 役員ばかりでなく若い人の行事参加 要請
	増沢交流館・自治会館の老朽化 高齢者に登坂が大変である。	維持に高額要のため、新沼コミュ セン乃至旧新沼小使用の検討
	人口減少・定年延長等で各種役 員なり手不足で活動維持困難	行政等で出来るだけ対処し、過度 な地域活動の削減を市に要請
交通安全	市道日当～下田間に歩道がない 市道増沢新沼線の交通量増加	引き続き歩道の設置を市に要請 市担当者と定期的な協議・要請
	スクールバス停に横断歩道なし	横断歩道新設を引き続き市に要請
	スクールバス停（要害、下田） 西小田橋付近が暗い	市に防犯灯の設置を要請
災害	自然災害の発生増加	防災組織活動の活性化、啓蒙 関係機関との連携強化
	動物（鹿、熊等）による人的・ 農作物被害の増加	危険性と遭遇時対処法の共有や救 助体制で関係機関との連携
高齢者	一人暮らし、老老世帯の増加	緊急時連絡体制の維持強化 関係機関との連携強化
	超高齢化社会の線新地として、 どう生活していくのか	今すべきことを洗い出す 今生きていることを楽しむ
産業	少子高齢化に伴う休耕地の増加	基盤整備事業採択（令和5年度予 定）と営農組織の実現 関係機関との連携強化
	農業従事者の高齢化	地域活性化に向けた「楽しむ農業」 の試行・実践（産直等）
教育文化	市無形文化財の増沢神楽の継続	伝承活動継続と後継者の育成 関係機関・団体との連携強化
教育文化	市道下蘭沢線の砂利道路、風雨 災害でやられやすい	舗装化を市に要請
	幹線道路の支障木による危険箇 所の増加	状況把握と関係機関との連携強 化・伐採要請
	住民の人口減少による空き家の 増加	空き家バンクの活用

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第33区自治会計画書

自治会憲章						
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月
				10年後		
		人口(人)		246	224	194
		世帯数(世帯)		62	71	68
		小学生(人)		9	10	10
		中学生(人)		9	7	3
		高齢化率(%)		27	26	36.6
		一人暮らし世帯		3	2	
		班		6	6	8
		面積(㎡)				
	就業の状況	第1次産業		50	30	
		第2次産業		62	49	
		第3次産業		40	53	
	交通防災	バスの運行状況		岩手県交通6		なし
		その他交通機関				
		防火用水の現状		5		5
		防犯灯(基数)		5		11
		避難所の現状		新沼コミュニティセンター		新沼コミュニティセンター
	地域資源	地域にある団体・グループ		増沢神楽保存会		増沢神楽保存会
				畑沢やさい村		畑沢やさい村
				産直 さんさん道のわき		産直 さんさん道のわき
		地域の人材				
		地域資源		立石神社(巨岩)		立石神社(巨岩)
				増沢カタクリ群生地		増沢カタクリ群生地
		特産品				畑沢やさい村の大根・白菜
	住環境等	自慢できるもの				畑沢やさい村の賑わい
		水道の状況	市水道(戸)	67		67
			井戸(戸)	4		1
			その他(戸)			
		下水道の状況		007/017		20
	地域課題	空き家の状況(戸)		1	3	5
		廃校等の有無				有(旧新沼小学校)
		除排雪の状況		有り 有志による道路・歩道の除雪		有り 有志による道路・歩道の除雪
		困っていること	少子高齢化		少子高齢化	
			自治会員の減少と活動の停滞		自治会員の減少と活動の停滞	
			遊休農地の増加		遊休農地の増加	
			河川の防災対策		自然災害・鳥獣被害の発生増加	
					幹線道路の整備・維持の困難性増加	
					市道増沢新沼線の安全性	
					増沢交流館・自治会館の老朽化	
		困ってくると予想されること(10年後)	就労人口の減少		就労人口の減少	
			空き家の増加		空き家の増加	
					自然災害・鳥獣被害の発生増加	
					遊休農地の増加	
	その他					

第34区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	安全安心に暮らせる地域づくり
今回計画スローガン	安全安心に暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
自治会	・ 少子高齢化に伴う活動継続性	・ 当面は、会員相互協力で現状維持
地域コミュニティ	・ 少子高齢化により、行事等に全世帯が参加してもらうことは難しくなっている。	・ 世帯数、人口も少なくなることから多くの人に参加してもらう行事等は、選んでいく。
道路 交通安全	・ 交通事故防止に努め安全を図る ・ 市道増沢新沼線の交通量増加 ・ 歩道・横断歩道の設置	・ 交通安全学習会を開催 ・ 他自治会と共に市に要請
防災 災害	・ 自然災害の発生、どこでも起こり得る状態である ・ 動物による人定・農作物被害の増加	・ 防災学習の開催 ・ 危険性と遭遇時対処法の共有 ・ 救助体制について関係機関との連携
公共交通等	・ 岩手県交通の路線バスの廃止により、買い物等が不便	・ 利用者を把握し、デマンドタクシーの利用 ・ 行政、交通機関関係者との、協議要請検討
福祉 高齢者等	・ 一人暮らしの家庭、高齢者世帯が増加していて不安 ・ 生活環境の整備や見守り活動の支援が必要 ・ 移動手段が少なく住民の多くが買い物や通院等への外出が不便になっている	・ ニーズを把握し声がけによる見守り支援 ・ 無理のない生活環境の整備支援 ・ デマンドタクシー等の利用 ・ 移動販売・宅配等を期待

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

地域づくり計画書作成

第34区自治会計画書

自治会 憲章								
地域 カル テ	人口 等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後	
		人口(人)				96		
		世帯数(世帯)				31		
		小学生(人)				4		
		中学生(人)				2		
		高齢化率(%)				44.79		
		一人暮らし世帯				6		
		班				5		
		面積(㎡)						
		就業の状況		第1次産業				
	第2次産業							
	第3次産業							
	交通 防犯	バスの運行状況		なし		市営バス1路線		
		その他交通機関						
		防火用水の現状		防火水槽2基、消火栓		防火水槽3基、消火栓6基		
		防犯灯(基数)		15基				
		避難所の現状		新沼小学校、新沼コミュニティセンター		新沼コミュニティセンター		
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ						
		地域の人材		三浦克男				
		地域資源						
		特産品						
	住 環 等	水道の状況		市水道(戸)	33戸		28戸	
				井戸(戸)				
				その他(戸)				
		下水道の状況		浄化槽 11基				
		空き家の状況(戸)						
		廃校等の有無		有				
		除排雪の状況		無し				
困っていること		公共交通の利便						
		不耕作放棄地の増加						
		近隣付き合い						
		見守りや支援が難しくなっている						
		自治会活動の停滞						
困ってくると予想されること (10年後)		限界集落						
そ の 他								

第35区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	人口減少、少子高齢化の進行に伴う集落の維持
今回計画スローガン	人口減少、少子高齢化の進行に伴う集落の維持中においても明るく住みやすい魅力あるまちづくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	少子高齢化と若者の地域行事の参加減少による、自治会活動の維持が困難	・自治会役職の簡素化 ・自治会活動の縮小 ・行政等からの過度な地域活動行事の働きかけを止めてもらう。 ・慣例にとらわれず、時勢を見て柔軟な発想で活動し、若者も参加しやすい地域づくりを目指す。
道路交通安全等	国道456の石合～野々田橋間と市道増沢新沼線の石合～神田橋間に歩道がなく、歩行者の安全が危ぶまれる。	・歩道の設置を市に呼びかける。安全な移動空間が魅力ある地域づくりに必要である。
生活環境	未耕作地造花による雑草対策	・草刈活動の推進
	害獣と外来植物による脅威	・地区内外での情報共有して駆除活動を行う。 ・専門家の指導を受ける
高齢者福祉等	高齢者世帯の増加に伴い一人暮らし世帯も増加する傾向にある	・地域民による高齢者の見守りと健康状態に気遣う。
	高齢者の免許証の自主返納が進む中、バス路線が無くて買い物や通院等の外出が困難になっている。	・安全な歩行移動が出来るように歩道の設置を市に呼びかける。 ・店舗・各施設への送迎バスの実現を模索する。
防災・消防	近年は温暖化等による異常気象で大雨洪水、土砂崩れ、大雪被害がどこでも起きるようになった。また、予測出来ない地震災害も各地で起き、予断を許さない状況である。	・危険箇所の周知と再点検。 ・避難場所と経路の周知。 ・災害地における救急救命措置などの講習を受ける。 ・災害時に備えて防災意識を高めるよう呼び掛ける。 ・他地区との情報交換、および共同による防災訓練を検討してみる。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第35区自治会計画書

第35区自治会計画書									
自治会憲章									
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後		
		人口(人)		199	177	152			
		世帯数(世帯)		49	46	46			
		小学生(人)		6	6	6			
		中学生(人)		5	9	4			
		高齢化率(%)		32	36	37.5			
		一人暮らし世帯		1	5	3			
		班		5	5	5			
		面積(㎡)							
	就業の状況	第1次産業	39	51					
		第2次産業	45	31					
		第3次産業	31	36					
	交通防犯	バスの運行状況		7		0			
		その他交通機関		0		0			
		防火用水の現状		10		10			
		防犯灯(基数)		7		7			
		避難所の現状		1		2			
	地域資源	地域にある団体・グループ							
		地域の人材							
		地域資源		井戸水が豊富(19か所)		11			
		特産品							
		自慢できるもの		JA農産物品評会で20年以上「最優秀賞」を受賞					
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	40					
			井戸(戸)	5					
			その他(戸)	0					
		下水道の状況		14					
地域課題	空き家の状況(戸)		0	7	7				
	廃校等の有無				旧新沼小学校				
	除排雪の状況		無し						
	困っていること	①市道「増沢新沼線」のうち石倉(御ホール付近)は南側に杉山があり日陰で冬季間は道路が凍結し歩道もなく危険である		交通量が多い割には歩道が少ない。		市道「増沢新沼線」の石倉～神田橋間は歩道がなく、冬季は日陰により凍結が発生する所もあり、歩行者にとって危険である。			
		②道路側溝が砂等で埋まり、排水が道路にあふれ抜本的な作業が必要になっているが、自治会で対応しきれない。				害獣が多くなってきている。			
	困ってくると予想されること(10年後)	①一人暮らし高齢者の増加				①一人暮らし高齢者の増加			
		②空き家(虎屋)の増加				②空き家(虎屋)の増加			
その他					今後、高齢者が免許返納後に歩行補助器やシニアカー等で出かける事が増えてくるかもしれない。そのため歩道の整備が望まれる。安全快適な移動空間があれば高齢社会においても活動的な地域を保持できると思う。				

第36区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	安心・安全・健康な日常生活がおくれる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
産業・農業	農業従事者の高齢化と若い担い手不足により、耕作放棄地が増える傾向にある。また、現在の耕作放棄地も草刈りなどなされず荒地と化す事が心配される。	現在の中山間事業の草刈り作業を活用し耕作地の保全活動の継続を図る。また、それに代わる耕地保全組織立ても視野に荒廃につながらないよう検討を今後進める。
	農作物の害獣による被害が最近多くなり、その被害対策が個人のみでは防ぎ切れない所まで及んでいる。家や畑の周りのヤブ化が進み害獣が近付き易い環境も一端と考えられる。	有害駆除など市に働きかけるなどのほか、地域内でも対策について今後検討を行う。また、有害鳥獣の防護講習会などに参加するなど新しい技術など取り入れ被害対策を進める。
道路・河川	地区内の道路は狭く砂利道が多い事もあり、車両同士のすれ違いによる事故不安感など交通安全の面からも心配される。	道路拡幅など改良を今後も市へ継続依頼を行う。その際には、地域の対象路線を明確に示し要求を図る。
	道路が狭い点では、緊急車両の進入に際し問題なく対応して頂けるか地区住民にとっても心配である。	
	最近多く見られる異常気象による集中豪雨による山野からの洪水による家屋への流入や道路の土側溝から水が溢れ道路破損が頻発している。 排水設備の整備が必要である。	排水集積溝や土側溝からU字溝への転換などの整備を市に要望する。併せて地域でも洪水による問題箇所を取りまとめ水害防止策の検討を行う。また、土側溝の復旧も地域として実施し災害防止を図る。
	主要道路と家の間の道が長い為、豪雨や積雪が多い時など、高齢世帯ではその復旧対応の付加が大きくなってきている。	自治会として、できる援助体制を今後検討し復旧協力体制をつくる。
	豪雪時の除雪や日陰地の凍結も問題となる。また一人暮らし高齢者の門口等の除雪も検討を要す。	
公共交通	河川も度重なる豪雨により、川堤深くえぐられたり法面が損傷受けたりと発生している。	これまで同様、災害時の市への復旧要請と併せて土砂流出防止策働きかける。
	主要交通としての市営バスはあるが、一人暮らしの高齢者が乗るにはバス停まで歩かねばならない。また、バスの本数も少ないなど利便性も考慮が求められる。	高齢者タクシー使用の際の現行補助制度の継続と新たな助成制度を自治会として検討し、市へ働きかけを行う。また、免許を持たない高齢者世帯に宅配食や移動スーパーの訪問など買い物ができる環境があることなど周知させ、利用普及を図る。また、今後も継続図れるよう必要とされる世帯への周知を図る。
防犯	高齢者を狙った詐欺電話や独居高齢者を狙った押し売りや	詐欺に遭わない為の防犯講習会の開催活動の継続による啓

	財産物品のだまりと対応。	募活動実施
	留守宅への強盗などの侵入や射撃などの被害防止。	鍵締めの慣行の啓蒙活動実施。防犯講習会など活用。
防災・消防	豪雨や巨大地震への地域内対応として、自主防災部を中心に検討を進めているが、高齢化が進むとともに、住民間の連携を今後どうすべきか不安が残る。	防災トレーニングや地域住民情報を吸い上げ、自治会で検討し対策の市への要望や自治会でできる対策を進める。
	火災を出さない事が一番であるが、発生した場合にいち早く発見し通報ができる環境の精進が必要である。	家庭用家載報知器の全戸設置と機能点検を消防団の活動と連携し、自治会としても啓蒙活動に努め講習会などの開催を含め行う。 各家庭の消火器の設置も今後継続し進める。
	高齢化と共に消防団への入団者の減少	消防団員の出動手当の見直しを市に要望するなど団員の環境改善を図る。 地域と若者の交流機会、新年会や地域行事への参加後の反省会、青年部の交流会、農業祭等の行事参加や反省会などを実施し消防団活動の重要性の啓蒙を図る。
上下水道	家庭の生活排水・汚水排水による環境汚染防止策の検討を要す。	合併処理浄化槽の普及や、下水道施設の普及が望まれる所ではあるが、費用面の負担が大きいことや各戸の事情もあり今後情報交換など話し合いながら検討する。
地域コミュニティ	若者が地域にいても自治会活動に参加しない現状がある。	町主催の行事や体育協会主催の行事、地域主催行事への参加を呼びかけ、地域との交流の場を使い住民自治の理解を深める活動を進め、自治会員の多くの参加が必要で役員会など多くの機械を使い理解を深め参加を促す。
	会館の老朽化が進み、破損箇所の定期メンテナンスが求められるが、費用負担面で問題がある。	予算を検討し、計画的に修繕を今後進める。
健康づくり	地域住民の体力増進を図る機会が少ない。地域住民の交流の機会がコロナ感染症蔓延もあり互いの健康確認をする機会が少なくなっている。	体育協会主催行事への参加を継続しながら健康増進を今後も図る。 テスト等を実施し健康チェックを行い、自分の体力を知り健康な身体維持に努める。 市民教育講座の受講などを使い心の健康を育む。
自然環境	主要道から離れた道の雑草処理やごみや空き缶など清掃が進まず地域の環境美化が進まなくなることが心配される。 また、交通安全面から立木や雑草の繁茂による危険が心配される。	これまで実施された市のクリーンアップ一斉清掃事業やビューティフル整備事業、生活物資リサイクル事業の継続と清掃箇所や草刈作業の区割り、頻度の見直し等を行い高齢化の上昇に適応した作業改善を図りながら、美化活動の継続を図る。また、高越安全活動も継続して取り組み事故のない地域環境づくりを進める。 今後も山里景観の良さを維持し、自然豊かなふるさとづくりを進める。

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

地域づくり計画書作成

第36区自治会計画書

自治会憲章							
地域カルテ	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		230	209	159	
		世帯数(世帯)		58	59	54	
		小学生(人)		13	8	2	
		中学生(人)		11	3	5	
		高齢化率(%)		33	38	50.94	
		一人暮らし世帯		6	5		
		班				9	
		面積(㎡)					
		就業の状況		第1次産業	55	44	
	第2次産業			47	32		
	第3次産業			34	40		
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通 大籠線 6往復			
		その他交通機関					
		防火用水の現状		防火水槽4箇所、消火栓6			
		防犯灯(基数)		5基			
		避難所の現状		36区公民館、保呂羽コミュニティセンター			
	地域資源	地域にある団体・グループ					
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
		自慢できるもの					
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	54戸			
			井戸(戸)	5戸			
			その他(戸)				
	下水道の状況		18戸				
	地域課題	空き家の状況(戸)		2戸			
廃校等の有無							
除排雪の状況		無し					
困っていること		・ 地区内集落の生活道路で救急車できない					
		市道の拡幅工事					
		・ 農業従事者の高齢化、後継者減少により					
		休耕地耕作放棄地の増加による農耕地の荒廃					
		・ 中山間地、里山の景観の維持					
困ってくると予想されること(10年後)			・ 少子高齢化により人口減少の中での自治				
			会活動				
			・ 高齢者の日常生活、医療の支援対策				
その他							

第37区自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	◎ みんないきいき 活力ある保呂羽37区 1 快適で安全な生活を過ごせる地域にしよう 2 地域の自然景観や環境を整備し後世に引き継ごう 3 子どもたちや一人暮らしまたお年寄りに優しい地域にしよう 4 みんなで参加し地域づくりに取り組もう
今回計画スローガン	◎ みんないきいき 活力ある保呂羽37区 1 快適で安全な生活を過ごせる地域にしよう 2 地域の自然景観や環境を整備し後世に引き継ごう 3 子どもたちや一人暮らしまたお年寄りに優しい地域にしよう 4 みんなで参加し地域づくりに取り組もう

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
【コミュニティ】 ①自治会組織 ②自治会再編 ③コミュニティセンター等	①自治会組織については、10年後までは現状維持が可能と見込まれる。 ③一関市より保呂羽コミュニティセンター及び体育館の譲渡、撤去の方針が出されている。地域での施設管理負担増は困難。	①自治会組織については、当面現状維持を図る。 ③保呂羽コミュニティセンター及び体育館については、保呂羽地区4行政区内外の住民の大切なコミュニティの拠点であることから一関市へ現状維持での管理の働きかけを行う。
【安心、安全】 ①交通安全 ②防犯 ③災害 ④公共交通等	①県道藤沢大籠線は小中高生の通学路でもあり歩行の際の安全を図る。 カーブミラーの障害物となっている木の枝もみられる。 ②夜間県道等薄暗い箇所が有ることから防犯灯を新設し明るい地域をつくる。 E V等のエコカーが増えてきており自動車音が弱く散歩の折怖い思いをした。高齢化等に伴う交通事故防止及び防犯の啓発機会を設定する。 ③災害発生時等停電等により電	①県道藤沢大籠線の歩道は塀ヶ森まで整備されているが、当地区内には急なカーブも有ることから事故防止の安全を図ることから歩道延長の働きかけを行う。 カーブミラーの障害物となっている木の枝は所有者の了解のもと住民で伐採する。 ②交通事故防止防犯のため夜間薄暗い箇所に積極的に防犯灯を設置し明るい地域をつくる。これまでと同様、自治会内で交通防犯防災教室を開催し、交通防犯災害等万が一へ備えての啓発を行う。

	源を使用できなくなった場合の対処方法の検討も必要。 ③-2集中豪雨災害が全国的に発生しているなか、災害発生時の地域における情報伝達手段の確保が望まれている。 ③-3地域の岩手県文化財を保有する長徳寺本堂付近には、消火栓等の防火設備がなく、災害発生時に備え防火設備等の設置が望まれている。 ③-4地域における避難施設の設備の充実が望まれる。保呂羽コミュニティ体育館は、水道及びトイレが故障しているなど災害発生時の避難所としての機能に課題がみられる。災害発生時に備えた施設整備が急務である。	③自然災害の発生が頻発する今日、体育館は地域の避難場所として地域住民の安全安心の場となっていることから、災害に強い拠点として一関市へ施設の現状維持とともに支援継続を働きかける。災害発生時の発電機の使用や電源供給方法としてE V自動車からの供給等防災教室の中で共通理解を図り災害時に備える。 ③-2携帯電話のLINE及び当自治会メール連絡網を利用し災害時等における情報伝達を行う。登録可能な自治会員が登録し、災害発生時の避難情報や救援情報などを発信し会員相互に情報を共有し被害を最小限にとどめる。 ③-3地域の岩手県文化財を保有する長徳寺本堂付近に消火栓等防火設備を設置し文化財の保護を推進する。当寺の災害発生時における近隣住民の日常の協力体制の確立も急務。 ③-4保呂羽コミュニティ体育館の玄関付近の雨漏り箇所の修繕と水道及びトイレが日常使用可能の状況となる設備改修を市へ関係機関を通じ早期改修を要望する。
【福 祉】 ①子育て支援 ②障がい者 ③高齢者等	①産婦人科小児科等が近隣にないため通院が負担となっている。 ③徘徊する高齢者が見られる。	①子育て支援策として、行政へ近隣地区への開院を要望していきたい。 ③徘徊高齢者がいた場合、連絡網等で情報共有を図り地域ぐるみで見守りを行う。
【産 業】 ①農業 ②商工業等	①農業従事者の高齢化が進み、農作業等受託者が減少している。地域における農作業機械のオペレーター養成が望まれている。農作物への獣害被害が多くなってきている。カモシカ被害のほか2～3年前よりイノシシが目撃されるとともに昨年は、畑作物への被害がみられた。農業の魅力を高める必要がある。 ②若者の定住のためにも旧保小	①農業生産活動を持続するため、地域における集落営農組織化の検討を進める。出没する害獣の個体数を減少し農作物への被害を防止するため地域ぐるみで害獣捕獲活動に取り組む。市有害鳥獣捕獲応援隊を結成し狩猟取得免許者の設置するくくり罠や箱罠などの点検を行うなど害獣減少の取組に協力する。家庭菜園での野菜づくり等の失敗談、工夫していることなど情報交換を行い共有できる機会をつくる。 ②旧保小へのバイオマス発電施設の設

	グラントへの企業誘致が望まれる。 《その他》地域特産物生産販売等を通し、地域住民のまとまりや生きがい作りなどが求められている。	置計画があることから実現を望むとともに必要な事項については協力する。 《その他》地域の素材を活用した「リース」などを作成し、商品化する。
【教育文化】 ①家庭教育支援 ②郷土文化 ③郷土食等	①孫との関わりがあり家の事や農作業などできないでしまうことが多い。 ②餅文化が薄れてきているのではないか。 ③郷土食が各家庭で少なくなってきた。 (食生活の乱れにつながってきている)	①孫と一緒に仕事や農作業等行い、触れ合う機会を多くつくる。 ②自治会等で餅を食べる機会をつくり餅文化を見直す。 ③忙しい生活の中でインスタントで済ませることなく簡単にできる美味しい食事 (野菜の保存、上手な冷凍の仕方等) や郷土食の料理教室を開催する。
その 他	家の中の片づけを行う際不用品の処分に困ることが多い。	情報共有により地域内でのリサイクル活用の仕組みを検討する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第37区自治会計画書

第 3 7 区自治会計画書									
自治会憲章									
地域カルテ	人口等			平成 1 5 年 4 月	平成 2 5 年 4 月	令和 5 年 4 月	1 0 年後		
		人口（人）		190	160	142			
		世帯数（世帯）		49	45	41			
		小学生（人）		13	5	8			
		中学生（人）		10	2	6			
		高齢化率（％）		34	31	39.44			
		一人暮らし世帯		7	4				
		班		6	6	7			
		面積（㎡）							
		就業の状況		第 1 次産業	26	17			
	第 2 次産業			41	29				
	第 3 次産業			36	34				
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通 大笹線 6 回					
		その他交通機関							
		防火用水の現状							
		防犯灯（基数）							
		避難所の現状		第 3 7 区自治会館、保呂羽コミュニティセンター					
	地域資源	地域にある団体・グループ		第 3 7 区自治会					
				3 7 区納税貯蓄組合					
				第 3 7 区農家組合					
		地域の人材							
		地域資源		保呂羽山からの湧水					
		特産品		水稲、野菜					
	自慢できるもの		地域コミュニティ（地域のまとまり）						
	住環境等	水道の状況		市水道（戸）					
				井戸（戸）					
				その他（戸）					
		下水道の状況		1 4 戸					
	地域課題	空き家の状況（戸）				4			
		廃校等の有無							
		除排雪の状況		無し					
		困っていること		・ 高齢化、人口減少に伴い地域の草刈作業等					
				環境整備作業への参加者減少					
				・ 空き家周辺の環境整備の取り組み					
				・ 管理者不在不耕作農地の環境整備の取り組み					
				・ 一人暮らし高齢者の見守り体制の検討					
				・ 一人暮らし高齢者宅周辺の環境整備					
				・ 独身後継者等による後継者無世帯の微増					
				・ 畑作物のカモシカ被害					
		困ってくると予想されること （1 0 年後）		・ 地域の草刈等環境整備作業従事者の減少					
				・ 高齢化に伴う農業後継者減少による農耕地荒廃					
				・ 高齢者世帯の降雪時における除雪作業等					
	・ 高齢者世帯における日用品の購入								
	その他			商業等において、保呂羽地域唯一の酒店、理髪店、豆腐販売店、水道工事店、葬祭店が営業している。					

第38区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	・子供からお年寄りまで、みんなで健康で安心して暮らせる地域づくり
今回計画スローガン	・子供からお年寄りまで、みんなで健康で安心して暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ	・地域の各種行事への参加者が少なく、活気が失われつつある。 ・一人暮らし、高齢者世帯が増加傾向にある。 ・近助付き合いが希薄になりつつある。	・保呂羽、各地域へ行事への参加を呼びかけている。 ・ふれあい一皿運動の活動充実。 ・行政区長さんや民生委員さんと連携を計る。 ・見守りを強める。
道路	・緊急時、災害時に緊急車両が通行できない道路がある。 ・老朽化している道路の改良、及び補修が必要である。	・現地を調査し、計画を策定する。 ・住民による道路の草刈り。 ・現地調査を行い行政へ連絡する。
自然環境	・機械による河川の草刈作業時、危険性を伴う箇所が多数ある。	・河川の草刈り及びゴミ拾いを継続する。 ・河川の掘削により流れを一定にする。
産業（農業）	・地主毎に草刈を行っているが、維持、管理に難しい面がある。 ・耕作放棄地が荒れている。	・遊休地の改良に努める。 ・起業の推進。 ・所有者による草刈り。
公共施設の跡地対応	・コミセンと体育館の指定管理廃止の動きがある。	・自治会活動の機能を維持する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第38区自治会計画書

自治会憲章							
地域カルテ	人口			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)		166	137	98	
		世帯数(世帯)		49	49	43	
		小学生(人)		7	5	3	
		中学生(人)		5	3	0	
		高齢化率(%)		33	39	56.12	
		一人暮らし世帯		7	9	12	
		班		6	6	6	
		面積(㎡)					
		等	就業の状況	第1次産業	39	28	
	第2次産業			34	17		
	第3次産業			25	30		
	交通防犯	バスの運行状況		無し		有り	
		その他交通機関		病院送迎バス(1回/週)			
		防火用水の現状		消火栓(6)、池(6)、タンク(3)			
		防犯灯(基数)		6			
		避難所の現状		保呂羽コミュニティセンター		保呂羽コミュニティセンター	
	地域資源	地域にある団体・グループ	農家組合(1)		農家組合(2)		
			お茶会(1)				
			自主防災会(1) 道路愛護会(2)		自主防災会(1) 道路愛護会(3)		
		地域の人材	無し		不明		
			インテグラン株式会社		有 グリーン総業(事業所)		
			無し				
			無し				
	特産品	無し		無し			
		自慢できるもの					
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	43			
			井戸(戸)	2			
その他(戸)							
下水道の状況		15					
地域課題	空き家の状況(戸)		4				
	廃校等の有無		有り(保呂羽小学校)		有り(保呂羽小学校)		
	除排雪の状況		無し		有り		
	困っていること	少子高齢化		少子高齢化			
		結婚難					
		道路状況の整備(中道線、下宇田線)		道路状況の整備(中道線、下宇田線)			
	困ってくると予想されること(10年後)	買い物、病院への交通手段					
		農業などの後継者不足		不明(議論になっていない)			
		自治会の存続					
その他							

*空欄は把握困難

第39区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	地域の豊かで穏やかな人間関係の構築が基本であり、顔が見えるコミュニティを目指して、地域の環境保全に尽力する地域社会を目指す。
今回計画スローガン	穏やかな人間関係の構築を目指し、進む高齢化社会に対応すべく、地域の支援体制づくりを目指す。

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域コミュニティ （自治会活動の継続）	農業従事者の高齢化と若い担い手不足により、耕作放棄地の増える傾向がある。また、現在の耕作放棄地も草刈りなどなされず荒れ地と化す事が心配される。	現在の中山間事業の草刈り作業を活用し耕作地の保全活動の継続を図る。また、それに代わる耕地保全組織立ても視野に荒廃につながらないよう検討を今後進める。
	人口減少と高齢化が進むなか自治会活動への参加者が減少傾向にあることから、自治会活動を継続できる体制整備が必要である。	自治会活動の継続を図るため、役員体制及び事業の見直しを行い、町外との交流を組み入れた新たな組織づくりの検討が必要である。 交流活動を通じて外部の視点も活動に取り入れ、地域の活性化に繋げていきたい。
高齢者福祉 防災 （高齢者が安心できる地域づくり）	65歳以上の高齢者世帯が20世帯と全体の42%に達しており、地域での見守り体制の構築が必要になっている。	自治愛として高齢者の現状把握に努め、見守り体制のあり方、災害時の高齢者支援体制づくりに取り組む。
自然環境・住環境	高齢化に伴い耕作放棄地の管理が課題であり、環境の保全が難しい状況にある。	地域愛で活動を展開している中山間活動組織と連携を図り、守るべき区域を選定しながら保全活動に取り組む。

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第39区自治会計画書

自治会憲章	・自分した事は自分で始末しよう ・力をあわせなすべきことを成し遂げよう ・働く歓びと揺らぎの楽しさを持とう						
地域カタルテ	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後	
		人口(人)	227	175	127		
		世帯数(世帯)	61	57	48		
		小学生(人)	8	6	5		
		中学生(人)	13	0	4		
		高齢化率(%)	32	40	55.91		
		一人暮らし世帯	1	7			
		班	7	7	7		
		面積(㎡)					
		就業の状況	第1次産業	52	33		
	第2次産業		51	45			
	第3次産業		32	28			
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通(平日5往復)		市営バス(平均2往復)	
		その他交通機関					
		防火用水の現状		防火水槽(3基) 消火栓(7基)			
		防犯灯(基数)		6基			
		避難所の現状		39区自治会館・保呂羽コミュニティセンター		保呂羽コミュニティセンター	
	地域資源	地域にある団体・グループ		金越沢ダム彩委員会			
		地域の人材					
		地域資源					
		特産品					
		自慢できるもの		協調的な地域住民		協調的な地域住民	
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	55			
			井戸(戸)	1			
			その他(戸)	1			
下水道の状況		14					
地域課題	空き家の状況(戸)			4	10		
	廃校等の有無		有り				
	除排雪の状況						
	困っていること		若年者不足		高齢化の進行と人口減少		
	困ってくると予想されること(10年後)		高齢者福祉		高齢者福祉 自治会活動の継続困難		
その他							

千松自治会 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	みんな楽しく 心豊かに 笑顔かがやくさと 千松

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
産業	・就農者の高齢化による農地の維持保全が心配される。 ・森林資源の荒廃が進んでいる。 ・産直施設・地域の人達が気軽に立ち寄れる場所がある。 ・就農の場が遠隔地であり、若者が地元で暮らせる職場が必要	・いま頑張っている専業的農業者を中心に、実態把握し維持保全を進めて行く。 ・国策として推進する方向性が出ており、大籠精算森林組合等の活動を中心に推進する。 ・地域の産業、交流拠点として定着してきており、みんなで盛り上げていく。 ・現実には厳しいが、実現可能なより方向性を見だし、関係機関と協議していく。
子育て	・若者が地元で暮らせるような学校環境が整っていない。	・少子化社会の中では難しい問題であるが、就労問題と同一基調の中で取り組んで行く。
地域コミュニティ	・人間的にとっても親しみやすく、なんでも話し合える人々で、物事を実行するのにまとまりが良い。 ・少子高齢化は当面避けられず、みんなが笑顔で暮らせる地域づくり。 ・子供・若者が少なく高齢化が進み、限界集落にならない地域づくり。 ・自治会活動が多すぎる。 ・自治会が窓口になっている集金方法の検討 ・だれもが参加できる自治会（老若男女問わず） ・若い人が参加できる行事、会議の設定 ・中心地から離れており、買い物、イベント参加などに課題がある。 ・結婚問題は、深刻なテーマであり、共通の課題である。 ・旧自治会館（公民館）の土地所有者の整理と管理方法の検討	・地域の長い歴史の中で培われたものなので、コミュニティを形成していく上で最も大切なことであり、あらゆる機会を通して後世にしっかりと継承していく。 ・少子高齢化社会の中にあっても、そこに住んでいるみんなが助け合いながら、充実して暮らしていけるような活動を行っていく。 ・自治会活動の本旨に沿って、行事等を取捨選択しながら負担のかからない活動を行っていく。 ・若い人は多忙の中にあり、融資で呼びかけ、何ができるかを検討する。 ・立地条件による不便性解消は、各地区の成功事例の中にヒントあり、地域コミュニティ学びの中で克服する活動を行っていく。 ・婚活の取り組みは、各方面で推進しており、その情報提供を当面の活動に据える。 ・土地の所有者の整理（登記手続き）等について、残り少なくなった。しかし、今後時間がかかることが予想されるが、最後まで推進する。
防犯・交通安全	・交通安全対策としてのガードレールの設置	・それぞれについて実態把握を行い、関係機関に要望・協議しながら推進していく。
高齢者福祉	・高齢者や一人暮らしの人を孤独にしない工夫が必要である。	・千松サロン、ふれあい一皿運動の継続実施 ・健康教室などの開催により、元気な高齢者が暮らせる環境づくりを行っていく。 ・デマンド型乗合タクシー、移動スーパー、買い物ツアーなどの活用を検討する。

文化・芸術	・昔からの歴史を構成に伝えていく。 ・下大龍南部神楽保存会活動を継承していく。 ・キリシタン殉教の歴史「キリシタン史跡」、たたら製鉄遺跡を、他に誇れる地域資源として大切に、保存伝承していく。	・歴史・文化は、定住条件の基本であり、千松サロン等の事業として検討する。 ・下大龍南部神楽保存会後援会活動の充実 ・大龍たたら製鉄とキリシタン殉教史跡保存会組織への活動参画で取り組んでいく。
道路	・道路路肩の損傷の復旧、除雪、側溝清掃等 ・市道の草刈りの問題：草刈りは、土地掛かりの人に頼るのではなく、地域みんなで実施する仕組みづくり（高齢化と健康問題） ・国道346号線の改修：門の沢地区歩道の整備と道路改良、	・市道の改修等は、実態を調査し、一関市に対して要望する。 ・市道の草刈りは、環境整備の一環で行っているが、協議検討する。 ・国道の改修は、一関市を通して県に要望する。
公共交通	・高齢者が増え、交通手段がなくなることへの不安の解消	・市営バス、デマンド型乗り合いタクシーの活用しながら、新たな手段を検討して行く。
自然環境	・当地区には、他に誇れる自然がある。（共有山・水・空気・土地等） ・反面、（株）パブリック・スワインジャパンの悪臭と、糞尿処理水の土地へのたれ流しによる河川の水質悪化が長年にわたり行われている。 ・日高見牧場からの悪臭とハエの発生により、環境が悪化している。 ・鳥獣被害があり困っている。（対策費用がかかる）	・地域に誇れる自然環境があることを、共に認識するための学習機会を設定する。 ・進出企業には環境保全の観点から常に監視しながら、共存できるようその都度話し合いを持って行く。 ・鳥獣駆除対策の充実を関係機関等と共有し推進していく。
住環境・景観	・安全・安心に暮らせる住み良い生活環境を現状維持で守っていき、他所から来た人が「きれいだな」と思ってもらえる環境づくり ・大規模畜産牧場、国営農地開発への参入農場からの悪臭、地下水等環境問題 ・地元住民との交流・相互理解でよりよい未来を志向の環境問題 ・千松ダムは、貴重な水資源である。 ・年配の人が多くなり、一人暮らしの人も多く、空き家も多くなってきたのが心配 ・自治会館と調和した周辺エリアの景観、モリコの里・関連行事等の充実 ・道路から見える土地にゴミ（粗大ゴミ）が散乱し、草が生い茂っている。	・平成24年に定めたスローガン「環境にやさしい 緑ゆたかな 心安らぐさと千松」の実現に向け邁進する。 ・悪臭等の環境問題は、自治会環境衛生部会の継続的活動の中で取り組んで行く。 ・対立からパートナーによる協力関係の構築へ。 ・千松ダム周辺の環境整備は、アドプト協定の継続的対応の中で推進していく。 ・空き家対策は、市政問題であり、市と連携して取り組んで行く。 ・自治会館周辺エリアの景観保持は、関係団体・所有者等と連携し取り組んで行く。 ・道路周辺の粗大ゴミは、実態把握をしながら取り組んでいく。

地域づくり計画書作成

千松自治会計画書

自治会憲章						
地域課題カ	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	195	149	118	
		世帯数(世帯)	55	53	45	
		小学生(人)	7	7	2	
		中学生(人)	7	3	2	
		高齢化率(%)	29	38	52.54	
		一人暮らし世帯	1	7	3	
		班	6	6	6	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	38	31	
	第2次産業	39	26			
	第3次産業	23	22			
	交通防犯	バスの運行状況	県交通バス 6回		市営バス(上下4便)	
		その他交通機関	病院送迎バス		デマンドタクシー 月曜日のみ	
		防火用水の現状	3箇所		3	
		防犯灯(基数)	7基		8	
		避難所の現状	郷土文化保存伝習会		郷土文化保存伝習会	
			下大龍南部神楽保存会		下大龍南部神楽保存会	
	地域資源	地域にある団体・グループ				
		地域の人材	高橋義男(神楽指導者)		須藤松雄(神楽指導者)	
		地域資源	キリシタン史跡		キリシタン史跡	
			千松ダム		千松ダム	
		特産品				
		自慢できるもの				
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)			
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況	11			
	地域課題	空き家の状況(戸)			2	
		廃校等の有無				
除排雪の状況		無し		あり		
困っていること		人口減			人口減	
		後継者不足			後継者不足	
					高齢化の上昇	
困ってくると予想されること(10年後)		上記に同じ			自治会運営	
その他						

第41区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	助け合いを大切にし住み続けられる地域にする

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
観光	・大籠キリシタン史跡 ・製鉄の歴史 ・神明神社及び神楽 ・宮城県との県境（登米市、気仙沼市との交流） ・観光資源の整備	・各種保存会との連携 ・史跡や伝統の保存と整備
道路と交通	・公共交通の存続 ・病院、教育、商店が遠い ・神社参道の整備 ・歩道の整備 ・トラック、ダンプの通行が多く危険	・乗合タクシーの活用等移動手段の確保 ・住民に安全な地域 ・行政への要望
地域コミュニティ	・地域活動の見直し（少子高齢化） ・地域活動の活発化 ・定住人口の減少	・気楽に参加できるイベントを検討する ・住民と協働の地域づくり ・各組織、各団体との連携 ・魅力ある地域づくり
住環境	・若い世代の減少 ・住みよい地域になってほしい ・高齢者が元気に活躍できる地域にしたい ・空き家の活用	・企業誘致 ・魅力ある安心、安全な地域づくり ・住民による見守り活
産業	・木材の活用 ・炭焼き ・酪農と畜産	・森林組合等の活動推進 ・地域産業への理解と参加 ・遊休地の活用方法の検討と活用
上下水道		

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第4 1 区自治会計画書

自治会憲章						
地域課題	人口等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口(人)	202	175	126	
		世帯数(世帯)	54	52	47	
		小学生(人)	11	8	2	
		中学生(人)	8	2	1	
		高齢化率(%)	34	38	47.62	
		一人暮らし世帯	5	1		
		班	8	8	7	
		面積(㎡)				
		就業の状況	第1次産業	33	23	
	第2次産業		30	20		
	第3次産業		40	37		
	交通防犯	バスの運行状況	岩手県交通 6往復 土日2往復 日祝祭日運休			
		その他交通機関				
		防火用水の現状	消火栓3 防火水槽5(うち有蓋2)			
		防犯灯(基数)	7			
		避難所の現状	一次避難所 公民館 二次避難所 伝習館			
	地域資源	地域にある団体・グループ	消防3分団5部3班			
			共老会(40区41区)			
			41区友の会			
		地域の人材				
		地域資源	キリシタン史跡 殉教公園			
		特産品	炭焼き			
	自慢できるもの	りんご 木炭				
		助け合い				
	住環境等	水道の状況	市水道(戸)	52		
			井戸(戸)			
			その他(戸)			
		下水道の状況	18			
	地域課題	空き家の状況(戸)	8			
廃校等の有無		1				
除排雪の状況						
困っていること		日祝祭日のバスがない。高い(藤沢往復1,800円)				
		そのため高齢世帯の買い物不便				
		消防団員が欠員で補充できない				
		高齢化により自治会役員のなり手が限られる				
困ってくると予想されること(10年後)		自治会活動				
		田畑が荒れる				
その他						

第42区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	- 豊かな自然環境の保全と地域資源を活かした里づくり - 地域の歴史に学び時代の地域を創る - 世代間交流を通した一体感のある地域づくり
今回計画スローガン	- 豊かな自然環境の保全と地域資源を活かした里づくり - 地域の歴史に学び次代の地域を創る

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
産業	- 農業従事者の確保 - 地域資源を往かした産業の創出 - 山林資源をエネルギーに転換	大籠ならではの特産品の開発と高齢者の労働力を活用した産業の創出
観光	東北最大のキリシタン殉教地「大籠」の情報発信	関係機関団体との連携を図り、情報発信を行うとともに受け入れ態勢の整備を図り、交流人口拡大に資する。
地域コミュニティ	- 自治会組織体制の見直し - 少子高齢社会における事業の見直し - 大籠コミュニティセンター施設保有見直し - 大籠地区全体の交流機会がない - 旧大籠小学校の活用策 - 自治会役員業務の改善（役員手当の復活等）	少子高齢社会の到来により、コミュニティ組織の再編が避けて通れない状況下、社会共通のお課題として合意形成を図る。
子育て		
防災（治水なども含む）	- 消防水利の確保 - FMあすも難聴対策	- 区内の水利状況を再点検 - 支局アンテナ増設等による離聴エリアの解消
高齢者福祉	- 地域交流機会（お茶会等）を設けてほしい - 地区交流機会（お茶会等）を設けてほしい。	- 諸事業開催に係る高齢者の移動手段について検討する。また、日常のコミュニケーション、声掛けを心掛ける。 - 諸事業開催に係る高齢者の移動手段について検討する。また、日常のコミュニケーション、声掛けを心掛ける。
健康づくり	栄養教室、健康教室の開催	住民ニーズを把握し、関係機関との連携により健康づくりを推進する。
文化・芸術	- 大籠キリシタン殉教の歴史 - 伊豆神社 - 芭蕉の句碑	地域の歴史を次代に伝えるために、住民の学習機会を設ける。地域交流事業等と結め、住民が参加しやすい環境を整える。
スポーツ・レクリエーション	大籠地区全体のスポ・レクの交流機会	単位自治体の諸行事との調製を図り、地区自治会協議会において、事業を取捨選択しながら検討する。
道路	- 大白公葬地への道路整備併せて、駐車場、水道の整備 - 歩道の整備（県道）	地権者等合意形成に向けた取組
公共交通	市民バス路線の確保	市営バスの利用促進とデマンド型乗合タクシーのPR
自然環境	大籠の自然環境の保全	森林資源の活用策と併せて、鳥獣被害対策について、抜本的な方策を検討する。
住環境・景観	- 空き家対策 - 道路・河川の草刈、立木の伐採 - 遊休農地対策	「空家バンク登録」等行政機関との連絡を図る。 - 高齢化の進行により作業委託を検討する。
上下水道		

ワークショップをもとに、みんなで話し合ひましょう。

地域づくり計画書作成

第42区 自治会計画書

自治会 憲章						
地域 カ ル テ	人 口 等		平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後
		人口（人）	178	154	107	86
		世帯数（世帯）	56	56	39	34
		小学生（人）	12	3	2	3
		中学生（人）	8	2	2	0
		高齢化率（％）	39	43	47.66	59.3
		一人暮らし世帯	7	11	7	10
		班	5	5	5	2
		面積（㎡）				
		就業の状況	第1次産業	25	22	
			第2次産業	41	20	
			第3次産業	27	26	
	交 通 防 犯	バスの運行状況	岩手県交通 6往復 土日2往復			
		その他交通機関	病院送迎バス			
		防火用水の現状	消火栓 防火水槽			
		防犯灯（基数）	9			
		避難所の現状	大籠コミュニティセンター 旧大籠小学校			
	地 域 資 源	地域にある団体・グループ	老人会（42区、43区）			
			大籠炯屋衆（大籠全域）			
		地域の人材				
		地域資源	芭蕉の句碑			
			伊豆権現社			
		特産品				
		自慢できるもの				
	住 環 境 等	水道の状況	市水道（戸）	35		
			井戸（戸）			
			その他（戸）	1		
	地 域 課 題	下水道の状況				
		空き家の状況（戸）	4			
		廃校等の有無	大籠小学校			
		除排雪の状況				
		困っていること	人口減、後継者不足			
	そ の 他	困ってくると予想されること （10年後）	自治会活動運営、田畑の荒廃、空家対策		集会施設の確保	

第43区 自治会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	みんなが集える高齢者生き生き地域づくり
今回計画スローガン	住民みんなが集えるいきいき地域づくり 支え合い安心安全に暮らせる地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
文化芸術	キリシタン関係史跡の保存	保存会と協力して行う
公共交通	自宅から公共交通への距離が遠くて交通機関を利用できない現実 高齢者が運転免許証を返納した後の交通手段がない	今後更に地域との話し合いと行政との連携をとり対策について検討していく
高齢者福祉と地域コミュニティ	高齢化が進み一人暮らしや高齢者世帯の孤立化が進んでいる 高齢化により自治会活動へ参加できなくなっている 老人比べへの参加者が少ない	・高齢者が多く集まるイベントが必要でありイベントの見直しを行う ・老人クラブ等活動への参加を促す。 ・近隣等による声掛け、支え合いのある暮らしの推進
地域コミュニティ	行事のマナー化と高齢化によりコミュニティの場が少なくなってきた	子供たちも参加できる気軽に集えるイベント等を検討する。
住環境・景観	高齢化により河川の草刈り作業等重作業が大変で危険度が高まってきた 農耕地放棄によるセイタカアワダチソウの群生及び鳥獣被害が増えている	重作業活動について今後話し合いをもって検討していく 個人の所有地であるが人口減少・高齢化で管理が行き届かず社会全体の問題であり行政との連携が必要である
道路	危険箇所・改善が必要な箇所について 空き缶などのごみが捨てられる	日頃より調査、確認を行い行政と連携し改善する クリーンアップ一斉清掃の実施や独自のごみ拾い活動を検討する。

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

地域づくり計画書作成

第43区自治会計画書

第43区自治会計画書									
自治会憲章									
地域課題	人口等			平成15年4月	平成25年4月	令和5年4月	10年後		
		人口(人)		195	159	117			
		世帯数(世帯)		49	51	41			
		小学生(人)		7	5	3			
		中学生(人)		4	4	1			
		高齢化率(%)		36	36	54.7			
		一人暮らし世帯		1	6				
		班		6	6	7			
		面積(㎡)							
		就業の状況	第1次産業	47	29				
	第2次産業		34	16					
	第3次産業		29	36					
	交通防犯	バスの運行状況		岩手県交通 6回		市営バス(往復2回)			
		その他交通機関		藤沢病院無量患者送迎バス		デマンドタクシー(月曜日)			
		防火用水の現状		消火栓4箇所、防火水槽2箇所、消防水利2箇所		消火栓4箇所、防火水槽2箇所、消防水利2箇所			
		防犯灯(基数)		7基		7基			
		避難所の現状		地震、風水害等避難場所(1次避難)43区自治会館		地震、風水害等避難場所(1次避難)43区自治会館			
	地域資源	地域にある団体・グループ		消防第3分団第5部1班		消防第3分団第5部1班			
				43区婦人部		43区婦人部			
				上大籠老寿会(42、43区)		上大籠老寿会(42、43区)			
		地域の人材							
		地域資源		榎場(ハセバ)首塚、トキゾー沢別場(宇高金地内)		同左、雷神宮、金毘羅さま、洞木滝			
				ガンボグエゴノキ					
		特産品		和牛繁殖、水稲、ピーマン、葉たばこ		和牛繁殖、水稲、ピーマン、葉たばこ			
		自慢できるもの		リサイクル事業		リサイクル事業			
相互扶助				相互扶助					
住環境等	水道の状況		市水道(戸)	48	39				
			井戸(戸)						
			その他(戸)	2					
	下水道の状況		13		個人の浄化槽				
地域課題	空き家の状況(戸)			4	8				
	廃校等の有無				有				
	除排雪の状況		無し		市対応				
	困っていること		一人暮らし世帯の増加		人口減少				
			交通機関の利便性		交通機関の利便性				
			嫁不足		嫁不足				
			農地の耕作放棄		農地の耕作放棄				
			空き缶、ゴミ等の不法投棄		空き缶、ゴミ等の不法投棄				
					河川草刈作業				
	困ってくると予想されること(10年後)		若者の自治会活動への不参加		若者の自治会活動への不参加				
			高齢化による自宅周辺の除雪作業		高齢化による自宅周辺の除雪作業				
					ゴミ出し、草刈り作業				
					動物による作物被害				
	その他			墓地の引導場、簡易トイレの設置 生活道路の整備		(同左)墓地駐車場整備			

特別会員ニ計画

一関市老人クラブ連合会藤沢支部 地域づくり計画

I 計画期間

この計画期間は、下記のとおりです。

10年間（令和6年度から令和15年度）

II スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	人生に生きがいを持ち、健康で楽しく、心豊かに生きて行こう。

III 計画策定の基本認識

大正、昭和、平成、令和の時代を生きてきた我々高齢者と呼ばれる世代は、度重なる自然災害と闘い、戦争という醜い争いに巻き込まれながらも、長い年月をかけて培われた経験を活かしながら人生を歩んできた。

今、日本を取り巻く環境は、地震、台風、線状降水帯、地球温暖化、大気汚染などの自然災害や未婚、少子化、若者の人口流出などによる人口減少と核家族化による高齢化、そして物価高や低金利などによる生活不安に加え、農業後継者不足、不正規労働者の増加、定年延長など数々の問題を抱えている。

我々高齢者も、核家族化による老々世帯や独り暮らし世帯の増加、高血圧症や糖尿病、認知症、新型コロナウイルス感染症などの健康問題、年金支給額低迷や医療・介護にかかる経費の増大、特殊詐欺などの犯罪、公共交通機関の廃止や運転免許証返納などによる移動手段の変化など生活に密着した課題を抱えている。

こうした課題を解決する方策を見いだすために、藤沢支部では役員によるワークショップを開催した。このワークショップにおいて、老人クラブの役割についての疑問が出されたこともあり、現代社会における老人クラブの役割について次のように考えてみた。

人によって大小の違いはあるが、人は常に不安を抱えて生きている。人は喜ぶこと、怒ること、哀しむこと、楽しむことで一時的に不安を解消することができるが、高齢者になると、仕事をしていた若い時と違って外部との交流が少なくなり、外部から遮断された生活を送らなければならなくなる。話し相手や相談相手が無くなると、いつしか笑うこともなくなり引きこもりになることもある。

人が生きていくうえで大事なことは、健康な身体を持続させること、生きがいを持つこと、人と人とが交流すること、コミュニケーションをとることだと考える。時にはノミケーションも必要である。その方法として、奉仕作業やスポーツ大会など様々な行事に参加すること、趣味を持つことなどでその目的を達成することができる。そして、笑うこと、楽しむこと、自信を持つこと、人を褒めること、人を讃えること、人を励ますことが健康や人格形成に繋がることだとも考える。

老人クラブは、奉仕活動や見守り活動、各種スポーツなど様々な事業を展開することによって、人と人とが交流する機会を組織的に生み出すことができる組織であり、それが老人クラブの役割であると考えている。

IV 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
組織・体制	1. 藤沢支部の役員は、支部長1名、副支部長3名、事務局長1名、理事若干名、評議員若干名、監事3名となっており、任期は2年であるが、任期満了の令和2年度総会で役員改選が行われず、現任役員の任期を1年間延長している。令和3年度総会で役員改選をしているが、役員の一部からは、単位老人クラブの任期と藤沢支部の任期が1年ずれているので解消して欲しいと要望が出されている。	藤沢支部の支部長、副支部長、事務局長の三役会議で対応策を検討し、理事会で協議する。
	2. 市老連と一関支部の事務所は、市総合福祉センターの一室にあり、市老連事務局長が支部事務局長を兼務しているし、支部独自の事務局員がいる。花泉支部と東山支部の事務所は社協支部の事務室内にあり、事務局長は一般市民が担っている。千厩支部の事務所は千厩老人福祉センターの一室にあり、事務局長は一般市民が担っている。大東、室根、川崎支部の事務局は社協各支部の職員が兼務している。藤沢支部では事務局長が自宅で事務を執っている。平成18年5月24日に7市町村の老人クラブ連合会が合併し、同24年4月1日に藤沢町老人クラブ連合会が合併してからも体制は変わらない。	藤沢支部としては、当面、現在の事務所や事務局の体制を継続することとするが、将来的には一関市老人クラブ連合会の会議の中で、各支部の事務所や事務局のあるべき姿を検討し、統一した体制にすべきであると打診するものとする。
	3. 藤沢町老人クラブ連合会は、昭和55年6月7日に設立し、平成24年4月1日に一関市老人クラブ連合会に合併して藤沢支部となっている。支部の事務所は、藤沢町藤沢字町裏187番地（市役所藤沢支所）に置くこととなっており、藤沢支所市民福祉課の職員に事務の協力をいただいているが、郵便物の一部が藤沢支所に届くので、事務局長が受け取りに行かなければならない。	藤沢支部の事務局長は自宅で事務を執っているので、市老連事務局と県老連事務局には郵便物を事務局長宅に配送して頂いており、藤沢支所に郵便物を取りに行く回数が減少している。

IV 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
組織・体制	4. 新沼長栄会は平成24年度から、黄海白寿会は令和2年度から、松柏クラブは令和3年度から休会となっている。	休会中のクラブには、根気よく復活を勧め、老人クラブがあっても会員が偏っているクラブでは、入会を勧める。 遠い将来には、複数の単位老人クラブの統合も視野に入れる必要がある。
	5. 複数の行政区を範囲としている単位老人クラブの中で、一部の行政区に会員が偏っているクラブがある。	
人材・会員	1. 藤沢支部の令和5年度の会員数は675名であり、令和5年3月31日現在の藤沢地域全体の人口7,116人のうち、60歳以上の人口3,709人の18.2%しか老人クラブに加入していない。	老人クラブの会員増加を目指す方策として次の取り組みを行う。 ①老人クラブの位置づけを理解してもらうため、行政機関から働きかけをしてもらう。 ②市の広報アイスタイルで取り上げてもらう。 ③支部や単位クラブの活動をふじさわテレビや告知放送でPRする。 ④「市老連藤沢支部だより」に単位クラブの活動を掲載して全戸配布する。
	2. 老人クラブには、ゲートボールやグランドゴルフで遊んでいるイメージを持たれているが、友愛訪問活動や奉仕活動など社会貢献している事業が多くあることから、老人クラブの活動を広く市民に周知して、活動内容を周知しイメージを払拭する必要がある。	
	3. 単位老人クラブでは、会員の加入を促しても、いろいろな行事があるとか、まだ早いからと老人クラブへの入会を拒まれる。若い会員が入ってこないで、会員が減少傾向にある。	老人クラブの会員増加を目指す方策として次の取り組みを行う。 ①クラブで会報を発行し、行事に参加してもらうために各世帯へ配布する。 ②周知、事業内容を広報する。離職者を対象に、直接訪問して加入を促進する。 ③老人クラブの活動をPRし、60歳を越えた若者の加入者を増やす。 ④極端な例として、自治会の規約を改正し、老人クラブを専門部にするとともに、60歳以上の会員は全員老人クラブに加入するものとする。
	4. 単位老人クラブでは、独り暮らしや高齢者のみの世帯の会員が増加している。	
	5. 単位老人クラブでは、役員のなり手がいない。	役員になると寿命が長くなると言われているが、適材適所という言葉もある。役割を分担して、役員の負担の軽減に務めるようにすることが重要である。

IV 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
人材・ 会員	6. 単位老人クラブでは、会員同士の意見の食い違いがあり、気まずい雰囲気の時がある。	会員同士で十分にコミュニケーションをとり、お互いを理解するように務めることが重要である。
経費・ 予算	1. 市から単位老人クラブへ交付される補助金の額を増額して欲しい。 2. 補助金の使途基準を緩和し、柔軟に対応できるようにして欲しい。	市において補助金の交付基準の見直しを行い、市独自に補助金を上乗せするなどの方策を要望する。 また、補助金の使途基準を緩和するよう併せて要望する。
事業・ 運営	1. 会社勤めをしている会員もいるので、行事の日程を日曜日にする必要がある。 2. 長寿さわやか運動会に保健師が来なくなったので不安である。 3. 単位老人クラブでは、会員減少により、事業の継続が困難である。 4. 単位老人クラブでは、会員の高齢化が進み、小旅行が実施できないでいる。 5. 単位老人クラブでは、入会していても行事に参加しない人もいる。毎月お茶会を行っても、参加者はいつも同じメンバーである。 6. 単位老人クラブでは、行事に参加したくても車が無くて行けない会員がいたり、クラブとして会員をイベント会場まで送迎することが難しいクラブがある。	長寿さわやか運動会やニュースポーツ大会などの行事は、日曜日に開催する。 保健師や看護師の資格を持つ会員に協力を求め、安心して事業に参加できるようにする。 会員の新規加入者を増加させることで事業を継続するほか、少人数でもできる事業を模索して実施することも必要である。 小旅行に変わる事業を検討し、高齢者でも楽しめる事業を実施する。 行事に参加したくない会員や参加したくてもできない会員がいることを考慮するとともに、ボランティア団体の活用などで行事のマンネリ化を防ぐことも重要である。 運転可能な会員の車を活用し、会員同士が乗り合わせるなどで対応することができるとともに、高齢者の比率や数が多く、対応が難しいクラブでは、新規会員を募り、会員増を図ることで対応することも重要である。

IV 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	取り組み・方向性
事業・運営	7. 自治会では、高齢化率が高くなり、中年層にしわ寄せが行っている。老人クラブ活動と自治会活動を区別するのが難しい。	老人クラブと自治会の交流を図るなど、一緒になって活動することも重要である。
	8. 単位老人クラブでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が実施できない。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を把握しながら、事業を実施せざるを得ない状況下にある。
その他	1. 高齢化に伴い、農業経営が困難な世帯が多くなっている。	老人クラブだけの課題ではなく、大きな社会問題であることから、自治会、地区、地域として検討していく必要がある。
	2. 農地管理を後継者が引き継ぐか不安であるし、ふる砂徳も将来が不安である。	
	3. 旧新沼小学校校庭の草刈りや野球場の管理も後継者が引き継ぐか不安である。	
	1. 地区にこども園や小学校が無くなり、若い人たちとの交流も無くなった。それを機にいろいろなことに無関心になってきた。	少子化や核家族化によって、子どもたちや若者の数が減少するとともに、高齢者のみの世帯が増加している。子どもたちや若い人たちとの世代間交流事業や伝統行事の重要性を次世代に伝える事業を老人クラブが先頭に立って自治会と一緒に開催することが地域の活性化に繋がる。
	2. 昔からの伝統行事が無いというのは、団結や絆という気持ちが湧いてこないのではないか。	
	3. 道路の穴埋めが進まないなど、歩道や道路の老朽化が進んでおり、草刈等の維持が困難である。	国道や県道、市道の改修についての要望を、各自治会から県や市に対して行うよう各自治会に依頼する。 道路の草刈りは、役所や会社を退職して余力のある会員が率先して行うような雰囲気作りをすることが得策である。
	4. 在宅高齢者や独り暮らし老人を訪問しても拒絶されることがあり、後日、死亡していたことがある。行政ではどのようにしているのか知りたいことがある。	各単位老人クラブでは、声掛けや見守り活動を継続して行うこととし、拒絶される場合は、地区の民生委員や行政に相談する。

一関市食生活改善推進員協議会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	食で地域を元気に

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
福祉（高齢化）	高齢者の低栄養（作るのが面倒等） コロナ禍後のコミュニケーション不足	・食のコミュニティがあるとよい。（作ったものを見てくれる、食べてくれる。持ち寄り、おすそわけ） ・食べ物があると、笑顔になるため、食を通した交流大切。食欲もあがる。一皿運動。 ・食材の調達の支援（移動販売等）
教育文化（郷土食）	郷土食を食べる、作る機械が少ない。	小中学校での食育事業の継続。食は人を元気にする。これが食改の目指したいところ。活動をしていくために会員を増やしていきたい。
〃		

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

藤沢町認定農業者の会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	藤沢地域の農業振興へさらに寄与する

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
1. 担い手・後継者不足について	(1) 高齢化社会が加速している	若手の新規参入が見込める事業を模索する。
	(2) 後継者不足により、個人経営体の経営が立ち行かなくなっている。	集客営農組織を設立し、組織が担い手となり経営することを検討する。
	(3) 若者が農業を魅力的に感じていない。	外国人労働者の雇用や、農業インターンの採用により、労働力を確保するとともに、農業に触れ、新規就農してもらえるよう農業の魅力を発信していく。 後継者を必要としている方の情報について、新規参入を検討している方等への情報発信のあり方を検討する。
2 遊休農地及び荒廃農地の造花について	(1) 管理者が高齢化もしくは不在となっている	若手にも荒廃農地について関心を持ってもらうため、誰が当該農地を見てもわかるよう、地域内での情報共有を行う。
	(2) 農村風景の景観が損なわれてきている。また、野生鳥獣の住処になる、日照不足などにより、周辺農地に影響が出てきている。	中山間地域等直接支払交付金等の各種補助金を積極的に活用し、保全管理に努める。
3 農作物の販売促進について	(1) 農作物の知名度が低く、販売意欲が向上しない。	広報媒体を活用し、農作物の知名度を高めるとともに、収入増加を目指すことで販売意欲向上を図っていく。
	(2) 販路が少ない。	取引ルート開拓のため、民間卸売業者、小売店、飲食店及び産直などに出荷している方のセミナー等を開催し、販路拡大について学んでいく。 また、学校給食に有機栽培米を利用しているところもあるため、藤沢町内でも有機栽培米の栽培面積の拡大を促進し、ブランド化を目指すことで新たな販路を見いだす。
	(3) 農協出荷の方の場合、規格外品は出荷できない。	農協の規格外品を「訳あり」などで出荷できるよう、直売施設の設置を検討する。

一関市観光協会藤沢ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	魅力ある地域の観光資源の情報を発信し、交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指します。

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
観光資源の活用	・館ヶ森エリアや大籠エリア、その他周辺の観光施設の活用 ・年間を通じた誘客 ・一ノ関駅などJRからの交通手段の確保	・館ヶ森エリアと大籠エリアなどの観光施設への誘客 ・花や動物に特化したイベントの企画実施 ・農家民宿の受入体制整備 ・ニーズに対応したイベントやツアー等の企画 ・二次交通網の構築検討
情報発信の強化	・観光情報の充実 ・町内の優れた景観や自然、特色あるイベント情報の積極的な発信	・観光看板や窓口など観光案内機能の充実 ・ホームページ、SNSの活用
特産品の販売促進	・りんごなど農畜産物や加工品等特産品の販売促進	・首都圏での特産と観光展の開催 ・ホームページ、SNSの活用 ・新商品開発、販売促進の企画

藤沢町婦人消防協力隊ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	火災予防は家庭から

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
藤沢町婦人消防協力隊の現状について	高齢者になってきており、会員が少なくなっている。	班の数を減らすなどの対策を取り、維持するよう取り組む。
藤沢町婦人消防協力隊の現状について	若い女性が興味を示さず、協力隊員の推薦も難しいので存続が危ぶまれる。	消防団員のいる家庭からは入隊しないという地域もあるが、そのような家庭からも入隊に協力いただき存続するよう取り組む。
藤沢町婦人消防協力隊の現状について	戸数が少なく存続が難しい。同じ人が数年間に渡って、協力隊員を続けている状況。	別の班と協力するなどの対策を取り隊員の負担軽減を図る。
今後の藤沢町婦人消防協力隊の在り方について	・無理に協力隊の存続に固執する必要はないのではないか。 ・協力隊は不必要ではないかという意見が地域からあった。 ・事あるときは、各自治会組織の指導の下に女性も対応できるので、協力隊は無くしてもよいのではないかとの意見が地域から上がった。	災害時に、消防団だけでは対応できない部分をカバー出来るのは各地域にいる協力隊員である。不必要であるとの声が上がっているとのことだが存続するべきであると考えている。
防火協力費について	・年度初めに各世帯から防火協力費として200円を徴収しているが集金が大変であることから協力費を無くしてほしい。 ・協力費は自治会費の中で徴収して自治会収めにしてほしいと地域からの意見がでている。	・防火協力費は強制的なものではなく、あくまで任意のものであることから、自治会費の中で徴収するものではない。 ・従前どおり継続して防火協力費の徴収を行いたい。

藤沢町女性組織連絡会議ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
藤沢町女性組織連絡会議のあり方	・会員（部員）の減少 ・役員になりたがらない	同じような組織（団体）をひとつにまとめる。男性も可にする。
〃	行事への参加者が少ない	・企業から人を集める。 ・子供中心のイベントを開催し親子での参加者を増やす。
〃	慶弔等の金額及びお返しのあり方	生活合理化運動を進める。 （金額を決める、お返しは無し等）

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

藤沢地域交通安全対策協議会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
交通安全教育及び交通道德の高揚	・ 保育園、小中学校等での交通安全教室、自治会等による交通防犯座談会を実施している	・ 引き続き、学校等での交通安全教室及び自治会等による交通防犯座談会の開催呼びかけなどを行い、交通安全意識の高揚を図る
道路及び交通環境整備の推進	・ 道路環境が両校でなく（維持管理が追い付いていない現状）市外、県外からの来訪者へのイメージが悪くなる	
交通事故防止運動	・ 交通法規を遵守する意識が低い	・ 引き続き、学校等での交通安全教室及び自治会等による交通防犯座談会の開催呼び掛けを行い、交通安全意識の高揚を図る

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

一関市藤沢地域公衆衛生組合連合会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	おらだのできるまちづくり～4きれいな藤沢を目指して～

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
不法投棄について	特定の場所に投棄される	・カメラの設置や更新を行う ・衛生だよりにより注意喚起を行う
〃	投棄された地区の人しか内容を知らない	
	県境を越えて捨てに来る	
	工事で使用したものが流されて二次被害があった	
ごみ収集所について	時間・指定日を守らない地区外の人捨て	・ごみ出し説明会の開催やチラシや看板の設置によりルール周知を行う
	名前を書かない 屋号を書く人がいる	
	ごみ収集所の設置が適切でない (数が足りない・場所が危ない)	・地域と市で協議・検討を行う
動物の市域について	動物の飼育が適切でない (多頭、糞尿の処理など)	・衛生だよりの発行により動物の飼育についての周知を行う
	動物の死骸の処理がわからない	
公衆衛生組合について	役割がよくわからない	・自治会と重複している役割は自治会への移行を検討する ・衛生だよりおにより活動及び会費の使い道の周知を行う
	会費の使い道がわからない	

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

藤沢地域保健推進委員協議会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	保健推進委員としてできること

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
地域の健康づくりに関すること	一人暮らしの高齢者の増加	訪問・外出時に声かけ安否確認 一皿運動の継続
〃	高齢者の集まる場所がない	健康教室・サロンの開催

ワークショップをもとに、みんなで話し合いましょう。

藤沢地域防犯協会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
安全な地域づくり推進	・地域コミュニティの希薄化に伴う特に高齢者世帯の孤立化が懸念される	・声かけ体制の整備(福祉部門との連携)
防犯運動の推進	・施錠しない世帯が多い ・中学校での取り組み充実	・鍵かけ運動の励行 ・関係機関(警察署等)と連携しSNS講座に取り組む(中学校)
広報啓発活動の推進	・広報手段として班回覧が多いが、広く周知を図るためには不十分	・告知放送や防犯車での広報等のほか、より効率的かつ実効性のある広報活動について検討する ・防犯活動の「見える化」を推進する
少年の非行防止・健全育成活動の推進	・あいさつ運動は、認知度が低く、また防犯隊単独の活動になっている	・他の構成団体等の△を呼びかける

ワークショップをもとに、みんなで話し合しましょう。

藤沢町行政区長協議会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	Compact Village コンパクト ヴィレッジ コミュニティの再編と活性化

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
コミュニティ	・人口減・高齢化、担い手不足・若者が少ない・園児、小中学生の減少	・自治会の再編 ・小学校、中学校を千厩に統合 ・学校等空き公共施設、幼稚の有効活用
環境	・荒廃する農地、山林・空き家周辺、道路の草刈が出来ない・野生動物による農作物被害の増加	・居住地域を狭め環境整備、保全区域を縮小
交通	・交通・車がないと孤立する	・学校跡地等に公共高齢者集合住宅の建設

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

藤沢町民生児童委員協議会ミニ計画

1 スローガン（目指すべき将来像・基本方針）

前回計画スローガン	
今回計画スローガン	市民の声に寄り添い共に支え合う地域づくり

2 現状と課題・課題解決に向けた方向性

テーマ	現状と課題	方向性・取り組み
環境保全対策に関わる高齢者支援	空き家や農地の耕作放棄地が増加している。 高齢化により、家屋の管理、草刈り作業、唐木の伐採作業などに支障が出ている。	耕作放棄地対策に関しては、市の制度の活用、農業委員や農家組合長との連携を図りながら、改善への協力を働きかける。 家屋や周辺敷地内の管理については、高齢者の負担も増大することから、ボランティアによる草刈り支援、支障木の除去、立木の伐採など、住み良い地域環境の整備に向け、行政区長や自治会長との情報の共有を図りながら、共に支え合う地域づくりを進めていく。 このボランティア活動の事例で、一関市社会福祉協議会藤沢支部で進めている住民参加型の支援活動『ライフヘルプサービス事業』が参考となることから、同事業による効果的な支援が受けられるよう、高齢者の願いに耳を傾け、利用の際のお世話をしながら、事業推進に協力していく。
少子高齢化対策	高齢化に伴い地域活力が低下している中で、保健師が各支所に配置されていないことは、高齢者の思いが十分に伝わらず、向き合っの語らいの大切さを取り戻す必要がある。	高齢者は、電話による受け答えが大半であり、相手の様子が見えないことから、不安感が募っている。 市の施策が地域の願いに応えられていないことから、その手助けとなるように、民生児童委員としても、地域の高齢者の声を聞きながら、市民にいつでも向き合える活動を心がけ、市に対して、保健師の支所配置を元

ワークショップをもとに、みんなで話し合います。

参考資料

ぼく(わたし)たちの提案
(藤沢地域内小中学校アンケート)



藤沢地域づくり計画策定に伴う「ぼく（わたし）たちの提案」募集実施要項（案）

1 目 的

令和6年度策定予定「藤沢地域づくり計画」において、藤沢地域内小中学校に通学する児童生徒から、まちづくりに対する意見を広く募集し、将来目指すべき方向性を導く一助とし、協働のまちづくりの気運を高めることを目的とする。

2 主 催

藤沢町住民自治協議会

3 具体的内容

1) 藤沢地域内2小学校、1中学校に在籍するこどもたちに、これから10年後のふるさと一関市藤沢町が「こうなってほしい」「こんなまちにしたい」という提案をしてもらう。

ただし、小学校低学年（1年及び2年生）については、「このまちの好きなところ」について意見を募集する。

テーマは自由ですが、例として、

- ①自然（山、川など）について
- ②生活（ゴミ、交通安全、防犯、暮らしなど）
- ③伝統文化（野焼祭、郷土芸能、郷土食、地域行事など）
- ④産業（農業、工業、商業、畜産品など）
- ⑤その他（あいさつなどの慣習・・・）

2) 上記に掲げる提案は、別添提案シートにより行い、各学校に依頼する。

3) 提出された提案は、藤沢町住民自治協議会総務部会により集約し、項目毎分類し、子ども達の提案として整理する。

4) 項目毎に整理された提言を総務部会で検討後、令和6年度に策定される藤沢地域づくり計画に反映できるものは、積極的に取り入れる。

4 提言募集期間

令和5年10月30日（月）から令和5年11月30日（木）までとする。

5 提言提出先

一関市藤沢市民センター内 藤沢町住民自治協議会総務部会

ぼく(わたし)たちの

ていあんほしゅう
提案募集



ねんご いちのせきしふじさわちやう
10年後の一関市藤沢町がこうなっていてほしい、こうしたらいいんじゃないかというみなさんのアイデアを募集します。

テーマはつぎのとおりです。

① しぜん やま かわ 自然(山、川など)について

② せいかつ こうつうあんぜん ぼうはん 生活(ゴミ、交通安全、防犯など)

③ でんとうぶんか の やきまつり きやうどげいのう きやうとしよく ちいきぎやうじ 伝統文化(野焼祭、郷土芸能、郷土食、地域行事など)

④ さんぎやう のうぎやう こうぎやう しょうぎやう ちくさんひん 産業(農業、工業、商業、畜産品など)

⑤ た その他(あいさつなどの慣習...)

ぼく（わたし）たちの提案

学校名	学年	氏名	テーマ				
			自然	生活	伝統文化	産業	その他
貴海小	1		川がきれいであってほしい	おちているゴミがなくなってほしい	のやきまつりがもっともりあがったほしい	おにくがおいしくなってほしい	あいさつがちゃんとできるようになってほしい
貴海小	1		川がきれいになってほしい	ポイすてがすくなくていつてほしい		田んぼがきれいになってほしい	
貴海小	1		川のごみがなくなると思います	町のごみをへらしたいです			
貴海小	1			ごみがおちてないといいな	のやきまつりでよるにはなびをやってほしい		
貴海小	1		かわのみずがしんばい		こうつうあんげんに気をつけたい		
貴海小	1		川はうみにつながっているからゴミをすてないでほしい	ゴミをあちこちにすてないでリサイクルなどをしてくれいになっていてほしい	のやきまつりでは、もっと人がきてたのしくしてほしい	もっとちくさんひんをふやしてほかの人とのえがおをみれるようになってほしい	あいさつはしらない人にもこえをかけてほしい。
貴海小	1		きれいな山になってほしい	ぜったいにゴミばこにゴミをすてる			
貴海小	1			ごみがないふじさわ	はなびがでっかいといいな		
貴海小	1		きれいであってほしい	みんなでゴミをばいすてしないようにする	のやきまつりで、はなびがあがってほしい	じもとではたらけるぼしょがもっとふえてほしいな	あったひとにげんきよくあいさつ
貴海小	1		川の水がきれい	ごみがおちていない	のやきまつりでははなびがあるといいな	うしのおにくがもっとおいしくなっていればいいな	
貴海小	2		山が大きいです（すきなところ）	学校（すきなところ）	10月28日～29日にあったおまつり（すきなところ）	大工さん（すきなところ）	コンビニができてほしい。スーパーがほしい。
貴海小	2		川（すきなところ）	学校（すきなところ）	まつり（すきなところ）	店（すきなところ）	
貴海小	2		木にとりがいました。（すきなところ）	あんげんにかえっている（すきなところ）	のやきまつりがたのしかったです（すきなところ）	会社、店（すきなところ）	
貴海小	2		公園がいっぱいある（すきなところ）	学校でいっぱいあそんでいる（すきなところ）			お店がほしい
貴海小	2		川のながれがきれい。（すきなところ）	みんながげんきにあいさつをする（すきなところ）	まつりがたのしかった（すきなところ）	はたけ、やさい（すきなところ）	
貴海小	2		木がきれい（すきなところ）	あんげんに帰っている。（すきなところ）	まつりが楽しいです。（すきなところ）	あーくのぶた肉がおいしい。（すきなところ）	
貴海小	2		公園（すきなところ）	校いであそぶること（すきなところ）	テニスが楽しいです。（すきなところ）	アークボクジョウ（すきなところ）	
貴海小	2		川の水がきれい。（すきなところ）	みんな元氣にとうこうすること（すきなところ）	夏まつりの金魚すくいが楽しかったです。（すきなところ）		
貴海小	2		川の水がきれい。（すきなところ）	学校のこういであそぶこと。（すきなところ）	まつりがたのしい。（すきなところ）		
貴海小	2		学校のいけ（すきなところ）	みんなとなかよくする（すきなところ）	花火があるとたのしいです。（すきなところ）	アークボクジョウがあるからいいとおもいました。（すきなところ）	
貴海小	2		学校のいけ（すきなところ）	みんな元氣に学校にとうこうすること（すきなところ）	夏まつりがヨーヨーとかき氷があつてうれいしから（すきなところ）	サファリパークのぶたなど（すきなところ）	
貴海小	2		水あそびもできる。川に、たくさん生きものがいる。（すきなところ）	みんながおたがいにくすけあっていること。ゴミをへらしたい。	千まやヨイチ（すきなところ）	アークぼくじょう、たまごがりができる。（すきなところ）	
貴海小	2		七日町の公園（すきなところ）	いじわるをなくすこと。（すきなところ）	のやきまつり（すきなところ）	とうふやとでんきや（自分の家）（すきなところ）	
貴海小	3		川がきれい（すきなところ）	みんなあいさつしてる（すきなところ）	いっぱいおまつりがある（すきなところ）	おにくをそだててくれる（すきなところ）	いっぱいお店がたつてほしい。みんながやさしい。
貴海小	3		けしきがきれい。（すきなところ）	みんなきがえがすばやくしている。（すきなところ）	野やきまつりがあつてほしい。（すきなところ）	ふじさわにアークがあつてほしい。（すきなところ）	貴海小がまだあつてほしい。
貴海小	3		川がきれい。公園のゆうぐがいっぱいあつてほしい。（すきなところ）	みんなうんどくをしっかりすること（すきなところ）	野焼きまつり。きのみのみまつり（すきなところ）	きのみにおみせができてほしい。おかしやさんがいっぱいあつてほしい。（すきなところ）	
貴海小	3		たくさん木がある。（すきなところ）	やさしい人がいっぱいいる。（すきなところ）	藤沢の文化祭（すきなところ）	ケンタッキーが藤沢にできてほしい。アークのレストランがおいしい。（すきなところ）	子どもがふえてほしい。
貴海小	3		自然ゆたかになってほしい（すきなところ）	みんな明るく、あいさつすること（すきなところ）	野やきまつり（すきなところ）	サファリパーク（すきなところ）	
貴海小	3		こうえん、虫がいっぱいいてほしい。（すきなところ）	みんなやさしいし、仲がいい（すきなところ）	のやきまつり（すきなところ）	丸壺、いおん、マクドナルド、ペットショップ、スシローがふじさわにあつてほしい（すきなところ）	
貴海小	3		・水溜水がおいしい。・自ぜんが多い。・もっと木がふえてほしい。（すきなところ）	・みんな遊んでくれる。・貴海小学校がなくなるないでほしい。	・軽トラ市・野焼きまつりがずっとつづいてほしい。（すきなところ）	・スーパーをふじさわにふやしてほしい。・のうかが多い。（すきなところ）	
貴海小	3		・動物たちがやさしくくらししている。 ・食べ物がたくさんうっている。 ・もっとおみせがいっぱいふえてほしい。（すきなところ）	・なかよく楽しくくらししている。 ・にこにこなえがおでくらせる。 ・あたたかな言葉を言っている。（すきなところ）	・祭に子どもが楽しめるイベントがあつてほしい。 ・ゆうめいじんがたくさんきてほしい。（すきなところ）	・またたまるしえがとてもやさいなどがとてもおとくで子どもも遊べるからずっとあつてほしい。	・また貴海小学校がずっとつづいてほしい。 ・びょういんがいっぱいできてほしい。大きなびょういんができてほしい。
貴海小	3		川がきれい。にぎやかになってほしい。（すきなところ）	きらきらわわっている。（すきなところ）	ぶんかさい（すきなところ）	米をつくってくれる。なにもかもそろってる店ができてほしい。（すきなところ）	
貴海小	4		いまのままでいい。	しんごうき	とりまいがつづいてほしい	商業	いまのままでいい
貴海小	4		ずっときれいでいてほしい	ごみの少ない、きれいで安全な町	野焼き祭に有名人をよんでほしい	「みなこう」みたいな商業ほしい	えがおいっぱい明るい町
貴海小	4		つりできる所を作ってほしいです。	ばいすてをしない町になってほしいです。	野焼き祭で有名人をよんでほしいです。	だがいやさんがもっと作ってほしいです。	えがおでいっぱいになってほしいです。
貴海小	4		川でつりができるようにしてほしい	信号きがほしい	野やき祭りに有名人をよんでほしい	ふじさわにアスレチックを作ってほしい	えがおいっぱい
貴海小	4		つりができるところを使ってほしい。 キャンプしたい。 川で遊べるようにしたらいいと思う。	ポイすてをしない。しんごうほしい。	のやきとききチューバーにきてほしい。	フルーツいっぱいつくってほしい。ミスタードーナツ、カフェ、温泉	
貴海小	4		川でつりをできるようにしてほしい。山の中にあすれちっくがほしい。	もっと信号機つけてほしい	野焼き祭をなくさないでほしい	やすくてうまいおかしをうってほしい。ドンキがほしい。	岩手サファリパークでもっとどうぶつをふやしてほしい
貴海小	4		川遊びができるようになってほしい	信号機がもっとあったらいい ゴミが少ない町になったらいい	おもしろい祭りがいっぱいあったらいい	べんりなのりものがいっぱいあったらいい	岩手サファリパークにもっと動物がいたらいい
貴海小	4		山や川をきれいにつかってほしい	・ポイすてをしないでほしい ・ゴミがないくらしやすいかんきょうになってほしい。	・もっとおいしいものを農産してほしい ・だがいやをふやしてほしい		
貴海小	4		川であそべるようにしてほしい アスレチックを作ってほしい	信号機を作ってほしい ゴミ箱にキャラクターなどをつけてほしい	野焼き祭を続けてほしい。	マクドナルドを作ってほしい イオンを作ってほしい ミスタードーナツを作ってほしい。ラウンド1があつてほしい。	
貴海小	4		川遊びができるようにしてほしい	信号機をふやしてほしい	伝統文化をふやしてほしい	カフェができてほしい	みんながやさしい町になってほしい
貴海小	4		川で遊べるようなところをつくってほしい	しんごうきをつけてほしい	野焼き祭をいつまでもつづけてほしい。 野焼き祭でゆうめい人をよんでほしい。	イオンがほしい マックがほしい	えがおがたくさんな町になってほしい
貴海小	4		つりスペースをつくってほしい（川）	信号きがほしい	くすべちががいっぱいほしい	イオンがほしい	あいさつが元氣になってほしい（元氣いっぱい）
貴海小	4		つりができるようになってほしい	信号をもっとつくってほしい	ずっとつづいてほしい	農産をふやしてほしい	
貴海小	4		つりができるようになってほしい。 アスレチックがほしい。	信号がほしい	野焼き祭のときに有名人がきてほしい	ラウンドワン	えがおがいっぱい
貴海小	4		川近くの草をきれいにかり、木をばっさいし、釣りできるようにしたい。山ジップラ	ゴミを拾ってくれる万能なやつがあつてほしい	とりまいがのこつてほしい	ROUND1とイオンとドンキとマックとミスド、dokomo、au、セブン、ミニスト、ローソン	
貴海小	4		木を切らないで、川はあふれないようにきれいでいてほしい	今のままで安全でいてほしい	金魚すくいなどの屋台をふやして祭りをさかんにしてほしい	いまのままでいてほしい	近くにイオンが(水きわ方めん)
貴海小	5		川などでもっとあそべる場所をふやしてほしい。	みせなどの場所にゴミ箱をふやしてほしい。	野焼き祭にやたいをもっとふやしてほしい。	モトクロスじょうをもっとふやしてほしい。	おまつりをもっとふやしてにぎやかな町にしたい。
貴海小	5		桜の木がいっぱい生えた川（貴海川）になってほしい。（川のまわりに）	自動はんぱいきの所やお店の所にペットボトル、カンのゴミすて場をつくってほしい。	野焼き祭で有名人をよんでほしいです。トークショーなどをしてほしい。	だがいやさんができてほしい。（もっと）	貴海小学校に有名人をよんでほしい。TGCをもっと開さいてほしい。
貴海小	5		川でつりができるようにしてほしい	ゴミばこをもっとふやしてほしい	きょう土食を2日間つづけてやってほしい	だがい屋をもっとたててほしい	ちいぎの人とのあいさつをもっとしたらいいと思う。
貴海小	5		川の水がすごくきれいになってほしい。	おうだん歩道をふやしてほしい	一問全体で野焼き祭をしてほしい。	・もっと大きいショッピングモールを作ってほしい（一問全体に） ・だがい屋をつくってほしい。	地域の方と会ったらあいさつをして仲良くなる。

貴海小	5	春になったらきれいだから。さくらの木をいっぱい植えてほしい。	ポイすてがすくなくなっていってほしいあるから、ゴミばこの数をふやしてほしい。	野焼祭などにゆうめい人と呼んでほしい。	だがしやさんやコンビニを作ってほしい（数が少ないから、またはないから）	TGCなどの有名人が来るイベントをかいさいしてほしい。
貴海小	5	動物のくらしやすい環境ようにする。	防犯敷しつをもっとふやして防犯のたいせつさをつたえる。	祭にしゃてき屋がほしい。	ぼんがしのお店をたててほしい。	がっこうの何時間目にゲームやゆーちゅーぶをやったりみたりしたい。
貴海小	5	川をきれいにして貴海川に魚をふやしてほしい	1年に1、2回町のごみをそうじしてほしい。	やたいをもう少しふやしてほしい。	もっと近くに大きいスーパーをふやしてほしい。	あいさつうंदうをもっとふやしてほしい。
貴海小	5	山から虫がこないでほしい	ゴミすてばをたくさんふやしてほしい	伝統文化をなくさないようにする	だがしやがほしい	あいさつのしゅうかんをふやすイベントがほしい。
貴海小	5	川にあまりゴミをすてないでほしい。ゴミをとるひとをもっとふやしてほしい	ちゃんとしたばしょにしておいてほしい。	もっとお店をふやしてほしい。	魚の量をあまりとらないようにしてほしい。むだなりょうをとらないでほしい。	もっと二日町まつりみたいなものをふやしてほしい。
貴海小	5	もっと木をふやしてほしい（さくらの木など）	信号をふやしてほしい。そうすると事故もあまりしなくなるから。	野焼祭りにやたいをふやしてほしいし、有名人もきてほしい。	イオンをいっぱい建ててほしい。	学校でおかしを毎日たべたい。
貴海小	5	紅葉をもっと植えてほしい	ゴミやボイステをなくす。	お祭りの屋たいでしゃてきをふやしてほしい。	畜産品でお肉をいっぱい作ってほしい。	えいがかんをつくってほしい。
貴海小	5	森林をあまりばっさいしないでほしい。	横だん歩道を増やしてほしい。わたるときは車もちゃんと待ってほしい。	野焼祭りのやたいを増やしてほしい。	お店を貴海にふやしてほしい。	行事をもっとふやしてほしい。
貴海小	6	森や林が多いので、その自然を大切にのこしてほしい。	小学校付近はすぐく治安が良く、油だんがちだが、万が一の事を考えて生活すれば良いと思う。	とりまいを習ってきれいに隔れたとき、たっせい感があつてすぐうれしかったので、今後もつづけてほしい。	農業が盛んなので、米作りや野菜作りを続けて美味しい作物をつくってほしい。	人とすれちがう時、よくあいさつをしてくれる人が多いです。あいさつをするときも気分が良いので、その習慣を続けてほしい。
貴海小	6	つりができるようにしてほしい。	公園にゴミがおちていることがあるからゴミがないようにしたごみなどをすてないできれいにしてほしい。またはしたい。	野焼祭を日本全地域でやれば世界に広められる。ばくは全国の人が野焼祭にすこしでも参加してもらうために全国放送で、野焼祭を放送してほしい。	田んぼをもっとふやしたらいいと思う。工業などは、はいきガスなどをださないようにしたほうがいいと思います。	あいさつを大きな声で言ってほしい。通りかかった人に大きな声であいさつをしたらよいと思いました。
貴海小	6	ゴミなどがすてられないように注意喚起をしてほしい。	お年寄りが多いので防犯を強化してほしい。	野焼き祭りを全国に広まってほしい。	藤沢りんごが有名になってほしい。	平和であってほしい。
貴海小	6	これからも守ってほしいし、きれいにしてほしい。	みんなが安心して暮らせるようにしたい。きれいな町にしたい。	これからも続けてほしい。	これからもがんばってほしい。	みんなが楽しく暮らせるように、あいさつをしっかりしてほしい。
貴海小	6	木のばっさいや川などにゴミをすてないで、自然を守ってほしい。	生活中でのリサイクルや道路の決まりを守った方がいい。	野焼き祭りでは、もう少し屋たいを出したりしてほしい。	工業で出るけむりをもう少しへらしてほしい。	子どもからあいさつをするのもあたりまえだけどたまには大人からあいさつをしてもいいと思う。
貴海小	6	植物の原生種が増えてほしい。外来種のくじょや固有種の保護、森林の保護（絶滅危惧種、在来種）	犯罪がなくなってほしい 見通しの悪そうな十字路は整備する。	・伝統文化はそのまま大丈夫。だけど守り続けてほしい。	野菜などを育てて輸入を少なくする。	通行人にあいさつをしよう小学生に呼びかける。
貴海小	6	自然がいっぱいあって、くまやしかがあまりでてこないでほしい。	交通安全でもっと安全にしてほしい。	もっとみんなが楽しめるようにしてほしい。	安全な食べ物でいてほしい。	あいさつを積極的にして仲を深めれるようにしてほしい。
貴海小	6	できるだけ自然をこわさないでくらせるようになってほしい。	交通安全でどうろなどで、事故がなくなるようになってほしい。	食べ物がおおいから、しゃてきやきんぎょすくいなどの遊ぶやつがふえてほしい。	けんこうになる物をつくってほしい。	あいさつとき声を大きくする。だれにたいしても明るくせつする。
貴海小	6	このままでいい。	ぼいすてをなくしてほしい。	終わることなく毎年してほしい	このままでいい。	もっと一人一人があいさつができればいいと思う。
貴海小	6	ありません	ゴミがたまに落ちてるので、そこらへんに捨てるのはやめてほしい。	ありません	ありません	あいさつをしたのに返ってこなくて聞こえてないのかむししているのかわからないからへんじはしてほしい。
貴海小	6	山は今のままであってほしい。川は清らかに汚れてはいけない。	・トラックや自家用車のスピードを守ってほしい。 ・ゴミを外にすてないでほしい。	藤沢野焼祭を全国に知ってほしい。野焼祭の会場の水はけをよくした方がいい。神楽などを盛んにしてほしい。	・産業は農業、たばこ、ピーマン、稲作を中心にやってほしい。	アーク牧場の豚舎をこれ以上増やさないでほしい。（におい、自然が失われるかもしれない）
貴海小	6	山、川を残してほしい。	町に信号機をつけてほしい。	野焼祭を続けてほしい。	地元の畜産品をつくってほしい。	特になし。
貴海小	6	自然ゆたかになってほしい。	交通安全で安全なくらしにしてほしい。	みんなが楽しめるような遊びにしてほしい（野焼祭）	安全な物を売ってほしい。	あいさつを大きな声でやり、明るい町にほしい。
貴海小	6	つりをしたい。	指導を多くして安全性をたもってほしい。	もっとやたいをふやしたほうがいい。	小学生にもうちょっと、産業の体験をさせたほうがいい。	地域のいろいろな人があいさつをしてくれたら嬉しい。
貴海小	6	とてもきれいでゆたかになってほしい。	とても安心してみんなが楽しく交通安全や防犯がない暮らしになってほしい。	もっとこの中にある以外にも、新しい伝統文化がきたらいい。	とてもさかんになってほしい。	もっと大きな声であいさつをしてこれを習慣づけたほうがよい。
貴海小	6	川がとてもきれいで魚がたくさんすんでいるきれいな川にしたい。	公園にゴミがたくさんすてられないように近くにカンやベットのボトルがもらえるゴミのゴミ箱をつくってほしい。	野焼祭が日本人や外国人でも知っているのとても大きい祭りになってほしい	藤沢がいろいろな工業がさかんな地域にしたい。	コンビニやスーパーが少ないので人口が多くなってそれにコンビニやスーパーが増えるといい。
藤沢中	1A		がいとうを増やしてほしい	野焼き祭りのやたいを増やしてほしい	お店を増やしてほしい 百円ショップ	
藤沢中	1A	山や川が増えてほしい	ゴミのポイ捨てをやめる放逐をしてほしい	伝統文化をうけついでほしい	産業などをにつづけてほしい	
藤沢中	1A	川がきれいになってほしい	ゴミは散らかさないようにしてほしい	野焼祭が残ってほしい。	田圃えがかわらずできるようにしてほしい	回覧板を回したときにおしゃべりをしてほしい
藤沢中	1A	自然は10年後でも残っていてほしい	ポイ捨てがなく、どこの家も暮らしがゆたかになっていてほしい。	野焼祭は、藤沢の伝統文化だから10年後でもうけついでほしい。		
藤沢中	1A	川に魚が元気よくおよいでてほしい	遠にゴミがおちていない	今みたいに続けたいと思う。	スーパーでひじょう食を売ってもいいと思う。	もっと歩きスマホなど注意したほうがいいと思う。
藤沢中	1A	その場にゴミがあるならすてるかリサイクルへ外来種がいるのなら捕かくしてけいさつにとどける	わたる時は手をあげて道路をわたる。 災害がおきたらとにかくにげるかひなんする。	野焼祭は、ここの名物でもあるので、そのまま続けてほしいです。	近年、バッタやカメムシといった害虫が米やさいを食べてダメにしているので、たくさんいたらくじょをしてほしいです。	今後も活動や支えんをがんばってください。
藤沢中	1A	自然を生かした遊べる施設がほしい	地域のゴミ拾いに参加したことないからボランティアなどをしょうして活動したらいと思う。	野焼祭を続けてほしい。	藤沢は米をつくっている人が多いから米について子どもにもっと深く教えたほうがいいと思う。	町ですれちがったときあいさつができるようになってほしい。
藤沢中	1A	美しい山をずっと続けてほしい。	ポイ捨てなどが夢いているときにみられるから、地域でゴミ拾いなどをすれば環境によいと考えてる。	野焼祭では有名な伝統文化だから引き続きやってほしい。	農業などではおいしい野菜などを引き続きやってほしい。	藤沢の人たちは元気なあいさつだからこれからもつづけてほしい。
藤沢中	1A	・川の水がきれいで、生き物が豊かに暮らししている ・木や草花が多い環境 ・山の管理をしっかりする	・ポイ捨てなどのゴミが道ばたにない ・貴重な物がある施設では、防犯のセキュリティをしっかり！ ・クマなどの危険生物が家などにこないセキュリティ ・巻きゅう化している建物のかい祭	・野焼祭を続けていく ・子どもからお年寄りまで楽しめる地域行事を作る	・米やりんごなど藤沢でさかんな農業の継統 ・みんながより豊かに暮らせる仕事や店を作る	・子どもの人口が多く、藤沢に住んでいる人が多い
藤沢中	1A	山などの自然が多すぎるから、もっと店やよう児だけでなく、学生や年ばいの方もあそべる施設を増やして欲しい。	小さい子どもが使う横だん歩道の黄色いはたを新しくしたほうがいいと思う。	野焼き祭りや商業祭などの行事はそのまま残し、もっと町が明るくなるような行事を増やしてほしい。	アーク牧場やサファリパークなどで祭りを開さいしたりして目立たせれば明るくなると思う。	こうしゅう電話やトイレ、時計など、みんながみたり使ったりするものが、古くて、不便なのできれいにしてほしい。
藤沢中	1A	いい自然のふうけいになっていれほしいと思う。	毎日すごしやすい生活になってほしい。 ぜんいんがなかのいい暮らしをしているといい	伝統文化を継けて、いろいろな祭や芸能や地域行事などをやっていたほうがいい	産業はこのまま農業や工業や商業でいいと思う	あかるいあいさつの多いまちになってほしい
藤沢中	1A	これからも守ってほしいし、きれいにしてほしい。自然を大切にしてほしい	みんな安心して暮らせるように防犯などに力を入れて取り組んでほしい。	郷土芸能の発表会とかを開いたら興味を持つ人が増えると思う。	これからも農業をがんばってほしい。	あいさつをして、地域の交流を深めれるようにしたい。
藤沢中	1A	・木は秋には紅葉できれいになるので、木は切らないほうがよいと思う。	・週2くらいに、おうだん歩道のわきに立って、小学生を見守ったほうがよいと思う。	・野焼祭では観光客がいると思うので、郷土食を売ったら良いと思う。	・農業では米を作って、農業がさかんな地域にしたほうが良いと思う。	・だれでもあいさつができる地域にしたほうがよいと思う。
藤沢中	1A	木など危ないと思うところはきったり、手入れするのを設けたほうが良いと思った。	歩行する人も運転する人も交通安全を守り、安心するような町づくりをしたい。	野焼祭は藤沢に住んでいる子、全員が楽しみにしていると思うから、これからも続けてほしい。	田んぼや畑が多くあるので10年後でも変わらず、農業をする人が増えたらいいと思います。	部活に行くときなどで、よく会った人にあいさつされるので、このままあいさつができる町になってほしい。
藤沢中	1A	自然の生き物や、色とりどりの花で町を豊かにしてほしい。	地域の活動を増やしたりして、町の人たちと親しめるようになってほしい。	郷土芸能の参加人数をもっともっと増やしていけるようにしてほしい。そして、これからの人達に伝えていきたい。	地産地消の取り組み	
藤沢中	1A	木を増やし地球温暖化をふせぎたい。	ポイ捨てなどがなくかかくにんし、ゴミのない藤沢にしてほしい。	野焼祭をのこしてほしい。	農業はとてもよいと思う。	藤沢のみなさんはあいさつをしたときあいさつをかえてくれるのでうれしいです。
藤沢中	1A	藤沢はみどり豊かなので、このまま自然を守ってほしいです。	どこに行ってもゴミが落ちていないようなきれいな町になってほしいです。	受け継がれている伝統文化や祭をこれからも続けて盛り上げてほしいです。	農業や工業をこれからも発展させてほしいです。	元気なあいさつが飛び交う活気のある藤沢にしていってほしいです。
藤沢中	1A	自然はそのまま残してほしい。	通路上へのゴミが沢山あるのでゴミ拾いをしたらいと思います。	伝統文化はそのまま残してほしい。	産業で働く人を増やしたらいと思います。	だれにでも、積極的にあいさつが出来るようにしたらいと思います。
藤沢中	1A	・もっと豊かになってほしい。 ・自然のよさ、美しさをアピールしてほしい。	・タバコやあまかんなどのポイすてをなくす。 ・人が人をそんちょうできるようにしてほしい。	・とにかく今ある物は続けてほしい ・もっと自然をアピールしたものを作ってほしい。	・今よりもっと伸ばしてほしい。	・みんなが自分からあいさつできるように。

藤沢中	1A	北上川の氾らんに対してしっかり防災意識を持たせればよいと思う。	・歩道がない道路をなくしてほしい。 ・使われていない5校の小学校の校舎、体育館を何らかの形で活用してほしい。	・野焼は絶対に残してほしい。 ――何も無い街になりそうだから。 ・郷土芸能発表会を続けてほしい。	・SHOEIは残してほしい。 ――一問を盛り上げているから ・鉄道を通してほしい。→藤沢が発展すると思うし、人の行き来も活発になると思う。	
藤沢中	1A	川は残してほしい	道を広くしてほしい 遊ぶ所を作ってほしい	野焼祭は残してほしい	スーパーを作ってほしい 本屋を作ってほしい	
藤沢中	1B	山と川を今のまま続けてほしい	ゴミをへらせるように工夫したらよい	野焼祭は今後も続けてほしい	新しい工業をつくるとか	
藤沢中	1B	山にはゴミがあるのでひろってほしい。	ゴミがそこら中広がっているのでもよびかけなどをしたらいいと思います。	地域行事などで軽トラ市などをすればいいと思います。	農業ではおいしいのがいっぱいあるのもっといっぱいつくって全国にうりだせばいいと思います。	ないです。
藤沢中	1B		地区でのゴミひろいなどは続けてほしい。	野焼祭で郷土食を出すなどしても良いと思う。		
藤沢中	1B	きちんと手入れされた川、森が増えていたらよい。	交通安全のためにカーブミラーを増やしたらよい。	お米を使った料理を祭でもっと出してもよいと思う。	新たな品種のお米を考えてほしい。	なし
藤沢中	1B	キャンプ場を作ったらいいと思う。 森の中におさんぽできる公園とかがいいと思う。のこしていったらいいと思う。	ポスター いじゅうしゃおうえんプランをやったらいいと思う。	野焼き祭はのこす。	産業はお金かけてはってんさせたらいいと思います。	人口増やしてさかえさせてほしい。
藤沢中	1B	木をばっさいしながら、新しい苗木をうえて自然を大切にしてほしい。	ゴミをポイ捨てする人たちがいるので決まった場所にゴミを捨てるポイントを作ったり、ポイ捨てしないようなかんばんを作ってほしい。	子どもを中心とした行事や祭りを作ってほしい。	地産地消をメインとした食品を給食やお店などで出してほしい。	月1回に、藤沢全体でゴミ拾いをしたり、あいさつ運動などの取り組みをしてほしい。
藤沢中	1B	もっと川がほしい 自然や川などの自然、物は残してほしい。	生活はゴミ拾いや防犯の強化の呼びかけ、ゴミ拾いの地域で増やしてもいいと思う。 各家庭にWi-Fiのやつも置いて」ほしい（一問が登しているタブレットPCは家でも使えるようにしたいです。）	もっとデュロス、りんごめ 野焼祭では、いつものやつ他に夕方5時からとかに、ビンゴ大会やクイズを行ってほしい。 商業祭では、商品券やイベント券を増やしてほしい。	工業は、何かのお店などを出店や呼びかけをしてほしい、そして農業はなるべく地産地消をすればいいと思う。商業は藤沢だけにあるいろんな味のお菓子がほしい。	
藤沢中	1B	きれいであってほしい豊かなままであってほしい。		野焼祭を続けていってほしい。		テニスコートの照明を直してほしい。 コート自体も直してほしい。
藤沢中	1B		ゴミばこを多く置いたりするといったと思う。	どんどんつづけるといったと思う。		あいさつうんどうみたいのをやればいいと思う。
藤沢中	1B	ゴミなどでいっぱいにならないように気づけてほしいです。	みんな気づけているのでこれからも交通安全に気づけていってほしいです。	野焼祭は昔から続けてきているし、地域の方とふれあえるのでこれからも続けていってほしい。	特にありません	あいさつをして、みんな気持ちよく生活できるようにしてほしいです。
藤沢中	1B	生き物がたくさんいるきれいな山や川になってほしい。	ゴミがあるところないところがあるから定期的にゴミ拾いを行うと思う。	野焼祭は長く続いているからこれからもその伝統を続けていった方がいいと思う。りんごめを出してほしい。	岩手ならではの食べ物たくさん作って広めていったらいいと思う。	都会にあるような店をつくってほしい。
藤沢中	1B	きれいな風景や景色、自然は残してほしい。	・なるべくゴミをリサイクル。 ・地域の住民で交通安全運動や防犯たいさく。	・藤沢で獲れた食べ物や自然物を生かした祭をひらいてほしい。	・藤沢ならではの物を売る店。	
藤沢中	1B	ポイ捨てを減らしたい。	交通手段が少なすぎるから、続けてほしい。	野焼き祭楽しいからもっと続けてほしい。	何かおいしい物作ってほしい。	とくにないです。
藤沢中	1B	川にゴミがあるから看板などを作ったほうがいいと思いました。	ゴミが落ちていることが多いからゴミ箱を少し増やしたほうがいいと思います。	野焼き祭はとても楽しい祭だからこの先も続けていってほしいです。		どの人もあいさつをする町になってほしいと思いました。
藤沢中	1B	山にゴミがすててあったりするので、ゴミ箱をいろいろな所においてほしいです。	暮らして、どこの地域でも買い物ができるように1店でも店がほしいです。	地域行事のイベントや活動を増やしてほしいです。 他の地域といっしょに活動して、こうりゅうをふかめたりしたいです。	商業祭や農業祭はあるが、新しさを生かした物を作ったり、それに間わるお祭などもあってもいいと思います。	
藤沢中	1B		コンビニを貴海に設置してほしい			
藤沢中	1B	森林の伐採などの森林が減少するようなことはしないでほしい。	ゴミが道などに落ちていない状態が環境や見た目がよくなるので、地域ごとのゴミ拾いを続けてほしい	伝統文化をそのまま変わらずに受けついでほしい	高れい化などで農家の人が減ってきているので、農業の良い所（長所）を広める活動を行ってほしい。	
藤沢中	1B	山や川にもゴミをすてずに持ち帰るように呼びかけるといいと思います。	交通安全で、おうだんはどうをわたろうとすると、車がとまってくれないことがあるので、しっかりとまてほしいです。呼びかけなどをしてほしいです。	野焼祭はこれからも続けていってほしいです。 地域行事はこれからも続けてほしいです。	農業では、みんなが野菜を育てたり、米などのいろいろなものを育てたりすればいいと思います。	ゴミ拾いを積極的に行ってほしいです。学校や地域で行えば、自然につながると思います。
藤沢中	1B	ゴミなどでうまっていないようなきれいで安全な水が流れる川であってほしい。	事故、事件がほとんど起こらない安心して生活できる社会になってほしい。	野焼祭は藤沢ならではの文化だから続けていってほしいし、よ	野菜が沢山とれて、みちのえきにはんばいするなど、他との交流？的なものを続けていきたい。	一人一人広い心で、優しさを持ち明るい地域を目指していきたい。
藤沢中	1B	魚の住めるきれいな川をキープする。	今のまま	代々続いてほしい	今のまま	
藤沢中	1B		ポイステキンシ			
藤沢中	1B	「キレイ」たもってほしい	ない	ない	ない	ない
藤沢中	1B	自然を生かした活用した物や場所を増やしてほしい。鳥や植物を観察しながら歩ける所	遊んだり集まったりできる場所を増やしてほしい。			
藤沢中	1B	藤沢のキレイな山や川を守ってほしい。	ポイすてたり、犯罪をせず、みんなが安心して暮らせる町にしたい	野焼祭や商業祭などの文化をつないでほしい。	リンゴとか藤沢のおいしい食べ物をもっと広めたい。	地域の人やすれちがった人に「おはようございます」や「こんにちは」などの清々しいあいさつを増やしたい。
藤沢中	2A		交通安全の呼びかけを増やしてほしい	郷土食増やしほしい		
藤沢中	2A	特になし	缶とか落ちてるからポイすてしないでほしい	特になし	特になし	特になし。
藤沢中	2A	山は常にキレイで、川には魚がいたり自然をたくさんだしてほしい。	ポイ捨てをしないで皆が安全で安心できる町になってほしい。	行事や祭りになるべく皆参加できるようにしてほしい。そういうものを大事と思える町。 ・お祭がもっと増えてほしいです。	農業や畜産品などで一位をとったりして町のふんいきや産業に力を入れる町。 ・農業のイベントを開いて若者～高齢者全ての年代の人たちに興味をもってもらうようにしたらよいと思いました。	誰にでもしっかりあいさつをする
藤沢中	2A	・登山イベントなどをやる。 ・ゴミ拾い大会などをやり、環境を大切にする。	・ゴミ拾い大会などを開く。 ・何か犯罪をしたら、無期懲役にする。 ・道路上のゴミを減らす ・歩道をもっとキレイにして歩きやすくする。	・お祭がもっと増えてほしいです。	・農業のイベントを開いて若者～高齢者全ての年代の人たちに興味をもってもらうようにしたらよいと思いました。	・人とあったら必ず挨拶をするようにしたらよいと思います。
藤沢中	2A		ゴミをばい捨てる人が減ってほしい 交通安全を守りたい	農業・商業・工業が発展してほしい		
藤沢中	2A	森林の伐採を少なくする	・道路やこう共しせつでのゴミのポイ捨てがなくなる ・車のライトを早めにつける	・地域の人だけではなく、他地域の人からの制作や来場が増える	・人体に害がない農業や工業 ・安全な食品の提供	
藤沢中	2A	きれいな（川）山	・ゴミはゴミ箱に捨てる（ゴミ箱がない所にすてない） ・交通安全、車を見る 安全かくほして			だれにでも会った人にあいさつをしっかりとる。
藤沢中	2A	山や木は少しでも残してほしい。 川はにぎった川じゃなくて、とうめいなきれいな川になってほしいです。	ポイ捨てができない雰囲気にしたら良いと思う。安心して生活ができる町にする。	野焼祭をもっとにぎやかに		
藤沢中	2A		町の中とかゴミがおちていないようになってほしい	野焼祭などの伝統文化は、これからもあったほうがいい。		
藤沢中	2A	授業とかで自然にふれたり、野外調査（自分達でハザードマップを作ったり）などをする	ポスターを制作			藤中ではあいさつがいいから学校外でもあいさつをする。
藤沢中	2A		交通安全の活動をやったほうがよい	伝統文化などをひきつづきやってほしい		
藤沢中	2A	山や木が減らないでほしい。（地球温暖化につながるから）		野焼祭に県外からも多くの人に来てほしい。		
藤沢中	2A	きれいに保たれていてほしい。	交通事故がぐんく安全で過ごせる町になってほしい。	後世へ引きつがれ、色んなところから人がきて発展してほしい。	伝統ある田や畑の農業が引きつがれてほしい。	町で元気な挨拶がたくさんとびかうようになってほしい。
藤沢中	2A		ゴミ拾いの取り組みとかが増えるといいと思う。	郷土料理や郷土芸能に親しめる機会がもっと増えてほしい。		
藤沢中	2A	木をあまり切らないでほしい。（桜などの木も）	ポイ捨てをする人が減ってほしい。	野焼祭がつづいてほしい。	一人一人農業に参加し、こうけんしてほしい	あいさつが慣習になってほしい。
藤沢中	2A	自然にえいきょうをあたえる行動をつつしんでほしい。	ゴミを捨てないしゅうかんをつけ、安全にくらしてほしい	行事にしっかりと参加し、皆藤沢町の文化を楽しんでほしい。	一人一人農業に参加し、こうけんしてほしい	
藤沢中	2A		ゴミが所々におちていたりするから、気味を見かけたら、ひろってすててほしい。			
藤沢中	2A		ゴミが道路に落ちているが当たり前だから、それが無くなってほしい。			

藤沢中	2A	ポイ捨てのないきれいでゆたかな町になってほしい。	ゴミの分別をしっかりとて安全にくらせるようにてっていたほしい。	もっと伝統を広げるためにSNSなどでもっと広げたいと思う。		
藤沢中	2A					
藤沢中	2A	川の近くにはガードレールやさくをつけて山では明かりをもっとつけてほしい				
藤沢中	2B	自然物になにかい法なくぶつを川などにいれなかったり、使った油などをながさないようにしたい	2023年に大人かんけいなくヘルメットをつけることがきまつたけど、ちよくちよくつけていない人をみかけるから、つけた方がいいと思います。			
藤沢中	2B	そのままにしてほしい。	ポスターを人が見えそうな所に貼る。	毎年野焼祭りを続けて欲しい。	産業祭りのようなイベントを開催する。	
藤沢中	2B	ゴミを捨てたり持ち帰らない人を少なくするために、呼びかけをする。	ゴミ拾いの活動を増やす。			
藤沢中	2B	山の木を切るのを少なくしてほしい *雨などがふったときに、土砂災害などが起きるかもしれないから、手なおしていでおねがいです。	道路に、ゴミの丸ごと捨てやタバコ等のすいかすをすてるのをやめてほしい。	伝統文化はそのまま残してほしい。引き継ぎやってほしい	特に提案はありません	28区で子どもが部活の大会の日に、競にくさかりやどぶそうじをぜったい条件にするのをやめてほしい。
藤沢中	2B		公園のポイすて防止のポスター	月に一回、藤沢町の郷土料理を食べたら親しめると思う。		
藤沢中	2B	・緑豊かで災害が少ない ・ゴミがなく、すきとおったきれいな水 ・ネットをつける ・機械をつける（るか）	・ゴミをそこらへんに捨てず、家に持ち帰りゴミの日に分別して出す。 防はんカメラのせっち	・その地域のをうけついでいく		
藤沢中	2B		ゴミはポイ捨てをして、ゴミがあることがたまにあるので、そこをなおしたいと思います。			あいさつの慣習をもっと増やしたいと思います。理由は、小学生にあいさつをしても返ってこないし、自分も言われた時に返せていなかったから、小学校でもすれちがいにあいさつすることを増やせばいいと思います。
藤沢中	2B					
藤沢中	2B	ない	人や車の通りが少ないところにゴミがたくさんあったのをたまに見るので、ゴミ拾いをしたりするといと思った。	ない	ない	ない
藤沢中	2B	ゴミがなくなしてほしい		もっと色んな人に知ってほしい		
藤沢中	2B	ゴミをなくして、すごいきれいなところにしてほしい。	ゴミがなく、住民のくらしがまもられているようなかんじ			
藤沢中	2B	ハザードマップなどを見やすいところにはる。	交通安全をよびかける。	地域の行事を大切にしてほしい。		
藤沢中	2B	木を切ったりしないで、今の自然を保ってほしい。	ゴミが無くなってほしい	野焼祭を続けてほしい。	商業がおとろえないでいてほしい。	今のよう近所仲良く過ごしてほしい。
藤沢中	2B	ゴミをへらして、キレイな町に！	道路の危険なポイントが分かるようなものがほしい。	伝承していつてほしい。		スポーツが活発な町にするために施設つを充実してほしい。
藤沢中	2B		5時〜6時くらいに火のようじんなどラジオでながす。		地域ブランドみたいのをつくる	
藤沢中	2B	ゴミがない きれいな場所になってほしい		野焼祭や商業祭などの文化をつないでほしい。行事などはずっと先も続けてほしい	多くの人に知ってもらえるようなアピールをたくさんする（いろんなところで）	
藤沢中	2B					
藤沢中	2B	ない	自販機のとりににおいてあるカンとかのゴミ箱をきれいにしてほしい	ない	ない	ない
藤沢中	2B	ない	ない	ない	ない	ない
藤沢中	2B					
藤沢中	2B		自分からゴミがひろえるような人達になりたいでし、ゴミをそのままにしない大人になりたい	野焼祭で、また踊りたい。	馬などの動物の生活やふれあえるイベントがほしい	小学生が元気にとうこうしてほしい
藤沢中	2B		ポイ捨てをしない 交通ルールを守る			自分からあいさつをする
藤沢中	3A	自然は残っていてほしい	犯罪などなく平和であってほしい	残っていてほしい	セブンイレブン、ローソン、ドンキホーテ、イオンなどつくる	バレーボールのV1のクラブチームがあってほしい
藤沢中	3A	今と変わらないでほしい	安全に暮らせるようになってほしい	子どもから大人まで楽しめる文化のままであってほしい。	コンビニを増やしてほしい。	
藤沢中	3A	一人一人がポイ捨てをしないことを意識するようにポスターなどをつくったら良いと思います。	ボランティア活動を行い、ゴミ拾いなどをしたら良いと思います。	野焼祭の出店を増やしたりすればもっと人が来ると思います。		近所の人などにあいさつをするため地域で活動をしたら良いと思います。
藤沢中	3A	山は常にキレイになっていてほしいので月1ぐらいにゴミ拾いに行った方がいいと思う。	交通安全で年代関係なく、また道路や看板の意味を再確認した方がよい。	私の住んでいる区では打ちばやしがあるので、それを風化させないために技を教え合って伝統文化を絶やさない。	多くの人に農業の良さを知ってもらう。高齢者だけでなく、少しでも若い人たちが興味を示してもらえるように講習会を開く。	会ったら必ずあいさつできるように習慣づける。あいさつの良さを知ってもらえるように率先してあいさつをする。
藤沢中	3A	家庭でも使える綺麗な水を届けられたらよい	無駄なゴミ0を目指すようにしてほしい	各学校の伝統行事があったら楽しそう	安全でおいしい食を提供できるようになってほしい	地域同士での交流を幅広い年代で増やしたらよい。
藤沢中	3A	ゴミや汚染水などが流れてない川になってほしい。	道路に落ちているゴミがなくなしてほしい。	野焼祭は継続してほしい。	しょうえいがもっと栄えてほしい。	
藤沢中	3A	黄海の景色とかが好きだからずっとこの景色がみれるように守ってほしい。	つづけていつてほしい。	がんばってほしい。		
藤沢中	3A	危ないところにはかんばんをたてる。学校協力等で樹林会をする。（自然に関わる取り組み）	通学路の整備が必要。草木で歩道が歩けないところがあるので改善してほしい。がいとうを通学路に設置する。	学校全体で関わる機会を増やす。（野焼きや小学校等で）	中学校の職業体験でこれからも続けてほしい。	ゴミの分別やSDGSに向けての藤沢の計画を知らない人いるから何か知ってもらえるような取り組みをする。
藤沢中	3A	今のよう川や山の自然のこっていてほしい。	安全で暮らしやすい町になってほしい。	野焼祭など藤沢の伝統文化は素晴らしいことばかりなので、これから先も続けてほしい。	田んぼなどがのこっていてほしい。	あいさつをすることがあたり前になっているから続けたい。
藤沢中	3A	きれいで誰もが落ちつける所	ゴミが少なく事件や事故が少ない所	ずっと継続させればいい。	おいしくて、しんせんなものやきれいなのが作られてほしい。	店を増やしてほしい。
藤沢中	3A	きれいなまま残ってほしい。	すてられているゴミがなく、あったらひろえるような地域にしてほしい。	残してほしい。	このままでよい。	このままでよい。
藤沢中	3A	ゴミひろいをしたり、ゴミの不潔とうきをきびしく取りしまったりして、きたなくならないような取り組みをしたらいいと思う。	交通安全のためにカーブミラーを増やしたらよい。、信号や横断歩道をもっと追加するなどをしたらいいと思う。	野焼祭のきぼをもう少し大きくしてみたいと思う。	藤沢だけのブランド野菜などを開発したらいいと思う。	いろいろな世代が交流できる機会を作ったらいいと思う。
藤沢中	3A	木をもう少しきれいに切った方がいいと思う。	外灯をもう少しあった方がいいと思う。	野焼祭の出店を増やしたらいいと思う。		挨拶活動みたいなのをやった方がいいと思う。
藤沢中	3A	自然は今でもゆたかなので、このままでいいと思う。	道路わきなどにごみが捨てられていることがあるのでごみをなくしたい。	伝統文化を今のようにつつづけて、新しく来た人などに藤沢の文化を知ってもらう。	農業が盛んで自然に優しいイメージがあったりするのでこのままがいい。	帰りの町の人達が「さようなら」などのことを言ってくれるのでこのままがいい。
藤沢中	3A	もっときれいになってほしい。	ゴミ拾いとかをして、ゴミをなくす	できるだけ残してほしい	地域でのあいさつがもっと活発になってほしい。	
藤沢中	3A	自然をいかして何かを作ったり、山や川が整っていたらいいと思う。	ゴミを捨てない、交通安全などの当たり前を守れたらいいと思う。	野焼祭を岩手全体が他の県にも、もっと広めてほしい。	藤沢の地形が自然をいかした産業をしてほしい。あと藤沢といえば〇〇みたいな有名なものをつくってほしい。	店をもっと増やしてほしい。
藤沢中	3A	自然を守るためにゴミひろいのひんどを増やす。	交通安全や防犯のために電灯をふやす。	地域行事を増やす。	このままで良い	このままで良い
藤沢中	3A	そのままにしてほしい。残してほしい	犯罪のない町をつくってほしい	そのまま残っていてほしい	セブンイレブンやローソンをたててほしい	
藤沢中	3A	自然風景と共生しての藤沢町になってほしい。	ゴミが道路脇にあるのを見かけるため、クズカゴの設置をしてほしい。	野焼祭という物が藤沢を始発に各地に広がる祭となってい。		
藤沢中	3A	きれいにするために地域でのゴミ拾いしたいと思う。	歩行者も運転手側を考えて歩く。	伝統をつなげるために、若い人にも協力をしてもらったら良いと思う。	いろんな人がつくれるようにしてほしい。	元気にあいさつできるようになってほしい。
藤沢中	3A	山を大切にしてほしい	ゴミが道にないようにしてほしい	他の県に一の伝統文化を交流できるようにしてほしい	ない	ない
藤沢中	3A	川がきれいになって、森林も自然豊かな環境にしたらよいと思います。	交通安全では子供が危険に会わないように対策すれば、子供が安全に登下校ができると思います。	郷土食について10年後暮らししている人に教えてあげた方が	農業の人たちがたくさんいることで新鮮な野菜を食べれると思います。	
藤沢中	3A		道がせまいと思う。		コンビニとかを増やした方がいい	

藤沢中	3B	今ある自然（山・森）を町にするとかをしないで残してほしい。野生動物の住み家だから。	ポイ捨てがなくなるという。なので色々な所にゴミ箱を設置するなどすればいい。	野焼祭をもっとにぎやかに多くの人に知ってもらいたいし、郷土食をならべてほしい。	畑をする人が少なくなっていたので、もっとみんなに畑をやってもらって野菜を作る楽しさを知ってもらいたい。	知らない人にでも気遣い、あいさつができ、顔だけはお互い知っているという関係になってほしい。
藤沢中	3B	守られてほしい				
藤沢中	3B	自然が多いのはいいが森など放置されている所が多い。	ゴミが所々ある所があるけどゴミ袋を持つ意識をしている人もいていい。	伝統文化を大切にし町の人との交流もできるので続けてほしい。	町で有名なものはないと思う。何か藤沢らしいものを、土産とか	子供が多い方だと思うので遊び場を増やしたり公民館を自由に開放してほしい。
藤沢中	3B	整備	ポイ捨てを無くす。	野焼祭は続けてほしい。	今のまま	
藤沢中	3B	山や川をこれ以上減らさないでほしい。動物のすみかを守ってほしい。	信号と横断歩道を増やしてほしい。	野焼祭を続けてほしいし、郷土芸能を発表する場を増やしてほしい。	畜産品をSNSで全国に広める。	道路の整備 あいさつをしたら返してくれるところがけをする。
藤沢中	3B	今のまま残してほしい。	ゴミは少なくなってもほしいし、何も犯罪とかがないままでいてほしい。	藤沢の伝統野焼祭は10年後になってもつづけてほしい。	藤沢にあるお店や工場などは減らさず、できればほかにも増やしたりしてほしい。	特にありません
藤沢中	3B	クマをたおしてほしい。				
藤沢中	3B	大雨の時に川がはんらんしないようにしてほしい。	街灯を増やしてほしい。（町ではなく、郊外の方 新沼、徳田、砂子田など）	お神楽やうちばやし等を発表する場や触れる機会がほしい。	カフェやファストフード店がほしい。	中高生がにぎやかに勉強できたり、遊んだりすることができる施設がほしい。
藤沢中	3B	今のままでいいです。	これから高齢者による交通事故をなくしてほしい。	藤沢にどのような伝統文化があるのかを明確にしてほしい。	頑張してほしい。	自然をいかした施設やイベントをつくったらよいのではないかと思った。
藤沢中	3B	そのままでもいいと思う。	事故がほぼゼロになってほしい。	そのままでもいいと思う		
藤沢中	3B	自然を守る活動をすればいい	交通安全やゴミ捨てなどを徹底する活動をする。	祭の規模を大きくする。		
藤沢中	3B	できるだけ森林伐採をしないようにする	犯罪ゼロの町	この地域 全ての郷土芸能を発表 外国人を引き寄せる	さらに海外に輸出	
藤沢中	3B	自然について学べるしせつをつくってほしい。				
藤沢中	3B		はんざいゼロの町	野焼祭はこれからも続けてほしい。		書店をつくってほしい。 スーパーに行くことができないこうれい者の人のために、移動式の車で少しやさいかえるようにしてみてもいいと思う。
藤沢中	3B	大雨での川のはんらんがあるのでおしてほしい。	せまい道路があるのでひろくしてほしい。	祭などもっとしてほしい。	コンビニエンスストア（セブンイレブンなど）がもっとほしい。	あいさつがよいのもっとよくしてほしい。
藤沢中	3B	このまま自然が豊かでいてほしい。	ポイ捨てがなくなる。	野焼祭は続ける。 野焼祭でもっとダンスとか現代のものを増やしてほしい。 地域行事をもっと増やす。	中学生などが遊べる施設がほしい。	コンビニがほしい。 がいとうを増やす。
藤沢中	3B	いらない草をかり、きれいな山や川をめざす。ゴミひろいをする。	雑草を見かけたらひろう。 地域のひととかわり、防犯に取り組む。	多く生かせるように、グッズをはん売する所を作り、郷土食を地域のひとと作り食するというイベントをしたら良いと思う。	やったことがない人も手でふれてみて、若い人も産業界ができるようにする。	地域のひととあいさつをして皆が笑顔で明るい地域にしたい。
藤沢中	3B	雑草などはぬき、きれいにする。	地域の人達で仲良くできるような生活	野焼祭は引き続き、ねん土でものをつくることをさせるといいのではないか	売上の高いものや人気なものもたくさん作ってうる	電車をつくってほしい
藤沢中	3B	森林の保護に行って、守る活動を行ってほしい。		神楽や踊舞を継ぐ人は少なくなっているけど、これからも引き継いでほしい。		
藤沢中	3B	今の自然を守り続ける。	ゴミを減らす。	伝統文化を続ける。	気軽に行けるお店	町のひとのあいさつを増やす。
藤沢中	3B	豊かな自然が多いので、それを利用したレジャー施設を作ってほしい。	みんなが暮らしやすい思えるように、バリアフリーなどを取り入れた施設や、地域の人が気軽に利用できる施設がほしい。	伝統文化にふれることができるイベントや、でまえ授業などを行ってほしい。	地産地消ができるように直売所などを増やす	・地域の歴史に触れながら楽しめるスタンプラリー ・おすすめスポットをまとめたマップ作り
藤沢中	3B	山が多いから、そこににいかたてる	もっとスーパーなどを増やすべき	のやきはつづけるべき	のうぎょうもあった方がいい	
藤沢中	3B	ぜんぶたいらにしてそこになんかたてればいとおもった。	いまのあんぜんなままたもってほしい。	のやきまつりなどをつぎの世代にのこせばいとおもった。	駅があればいいとおもった。	セブンとコストコがほしい。
藤沢中	3B	ゴミなくす	道を広くする（雑草をなくし、折れた木など除く）	小中学生高校生が主催して行えるような行事を行う。	フルーツふやす	
藤沢中	3B	生物を増やしてほしい。カがでない町にほしい。	新幹線を通してほしい。	給食に郷土食を出してほしい。	もっとおいしい野菜をつくってほしい。	ジャイアンツが来てPRしてほしい。
藤沢中	3B	山にもっとたくさん木があると更に自然が豊かな森になると思った。	防犯対策をしている家が少なくかもしれないので、SECOMなどもっと増やしたらいいと思う。	野焼祭りをこれからも続けてほしいと思った。毎年、みんなが集まってくるにぎやかになるから。	野菜など育てる人が多くていいと思うのでこれからもたくさん野菜を育ててほしいと思いました。	挨拶が活発になるように呼びかけをもっとたくさんして皆が笑顔になれるようにする。
藤沢小	1	くまがこわいから山はあったほうがいい	なかよくたのしくすごせるがっこう（すきなところ）	のやきまつりを行いたい	きょうりゅうのおもちゃやさんができてほしい	
藤沢小	1	田んぼ、夏のむし取り。（すきなところ）	算数がすき。ピアノの練習も楽しい。（すきなところ）	野焼きまつり（すきなところ）	図書館がすき。「ほしのほほえみ」と「いせだしんぶんてん」すき（すきなところ）	ボコボコどうろ、きれいにならないかなあ。
藤沢小	1	自然が豊かで虫とりができる地域であって欲しい。	10年後も学校にたくさんの子供がいてほしい。	地域の行事やお祭りがにぎやかであってほしい。	米作りなどの農業が栄えて欲しい。	
藤沢小	3	小学校でゴミひろい		郷土給食		秋の運動会
藤沢小	3	川は海につながっているから、川や海にゴミをすてないでほしい				
藤沢小	3		ふくは利用できるものはすてずに、リサイクルなどに出してちがう人に利用してもらおうといいとおもう。	きょうとげいのうとか今とかわらずにうけつがれていてほしい。（かぐら）		
藤沢小	3			10年ごはまだのやきまつりはのこってほしい		
藤沢小	3	川あそびができるところをふやしてほしい		かぐらをやる人が少ないのでじゅぎょうでやってみんなにひろめたい。		
藤沢小	6	川に魚が泳いでいる。	道にゴミが全くない藤沢にしたい。	野焼祭りが10年後も続いてほしい。	道の駅ができて唐皿コーナーができてほしい。	じまんでる町にしたい。
藤沢小	2	いっぱい虫がいる（すきなところ）	みんな元気（すきなところ）	野やきまつり（すきなところ）	ニコニコパーク、おん水プール、あかり（食堂）（すきなところ）	
藤沢小	2	みどりがいっぱい（すきなところ）	みんなやさしい（すきなところ）	のうぎょうさい（すきなところ）	ショウエイ（すきなところ）	
藤沢小	2	きれいな川（すきなところ）	ぜったいあいさつする（すきなところ）	のやきまつりがあったらいいな。	ずっとうしがいたらいいな。	しばふのリッカーじょう（すきなところ）
藤沢小	2	ぼくは自然がすきなので川でつりをするのときれいなほなとかいろんないえがあることがすきです。（すきなところ）				
藤沢小	1	花見、紅葉が楽しめる公園がほしい	歩道、道路が悪い、狭い。補修が遅い。	・スポーツレクを増やしたい。 ・出店が少ない（祭の時） ・皆で楽しめる祭が少ない	将来就職できる会社が少ない	現在スポーツできる環境があるが数年後合併など考えなくてはならないと思う。
藤沢小	1	道路の草はなくなってほしいけど、自然はそのまま残っているといいなあ。	みんな元気！	・野焼じゃなくても夏のお祭りはあったらいいな。 ・継承する人がいなくなるんじゃないといいなあ。	アーク牧場とサファリパークはなくなるでほしい。	一関まで行かなくてもゲームセンターがあればいいなあ。こども園、小中学校は統合等ならず、母校が残っているといいです。
藤沢小	1	くうきがきれい（すきなところ）	なかよくする（すきなところ）	たのしいまつり（すきなところ）	たくさんひとのがのうぎょうをする（すきなところ）	
藤沢小	1	ニコニコパークであそべる（すきなところ）	皆に優しい学校（すきなところ）	子供会の行事が続いて欲しい	畜産や農業にもっと若者が興味を持って関わる	空き家利用をして永住者を増やす
藤沢小	1	はたがが生息する（すきなところ）	事件、事故が少ない（すきなところ）	モトクロス（すきなところ）	ニコニコパーク、お米、野菜（すきなところ）	
藤沢小	1	川がきれい（すきなところ）	みんなとなかよくする（すきなところ）	のやきまつり（すきなところ）	アークぼくじょう（すきなところ）	あいさつができるしょうがっこう（すきなところ）
藤沢小	1	さかながいっぱいいる（すきなところ）	みんながやさしい（すきなところ）	がっこうのすたんぷらりー。（すきなところ）	おにくがおいしい。（すきなところ）	せんせいがおもしろい。（すきなところ）
藤沢小	1	自然が豊かなところ（すきなところ）	公園（ニコニコパーク）がある事（すきなところ）	野焼きまつり参加して楽しかった様です。		
藤沢小	1	なつのひまわりがきれい（すきなところ）	みんなやさしい（すきなところ）	のやきまつり（すきなところ）	やさいがたくさんとれる（すきなところ）	
藤沢小	1	虫がたくさんつかまえること（すきなところ）	あいさつがみんなできること（すきなところ）	野焼きまつり（すきなところ）	サファリパーク（すきなところ）	
藤沢小	5	魚がたくさんいるようなきれいな川であってほしい	今と変わらず事件、事故が少ない町でいてほしい。	野焼祭をもっと盛り上げてほしい（ゲスト、花火）	もっとたくさんお店ができてほしい。	若い人達が出て行かない町づくりをしてほしい。

参考資料

地域分析シート結果

地域分析シート結果

項目（ 会費 ）

設問2 1戸あたり自治会年会費はいくらですか？

自治会名	会 費	各団体会費
第1区自治会	1,500	
第2区自治会	2,000	
第3区自治会	1,500	
第4区自治会	2,000	
第5区自治会	3,000	
第6区自治会	1,500	
第7区自治会	2,500	
第8区自治会	2,500	
第9区自治会	3,000	
第10区自治会	1,000	
第11区自治会	1,000	
第12区自治会	3,000	
第13区自治会	5,000	
第14区自治会	4,000	
七日町自治会	3,000	
二日町自治会	3,000	
第17区自治会	2,000	防犯協会費、体育協会費
第18区自治会	3,500	防犯協会費、体育協会費、ふじの実会 赤十字、緑十字、赤い羽根、歳末助け合い
第19区自治会	3,500	
小日形自治会	6,000	体育協会費、ふじの実会、交通安全協会、 野焼祭協賛金、協議会負担金
曲田自治会	5,000	防犯協会費、体育協会費、ふじの実会 赤十字、赤い羽根、社協、公衆衛生組合、緑 の羽根、歳末助け合い、野焼協賛金
中山自治会	6,000	
深萱自治会	5,000	
第24区自治会	3,000	
第25区自治会	5,000	5件
第26区自治会	5,000	
第27区自治会	6,200	防犯協会費、体育協会費、赤い羽根、緑の羽 公衆衛生組合費、社会福祉協議会費
第28区自治会	5,000	防犯協会費、体育協会費、ふじの実会費 赤十字、緑十字、赤い羽根、婦人消防協力隊、 野焼協賛金、
第29区自治会	3,000	
第30区自治会	3,000	婦人消防協力費
第31区自治会	3,000	
第32区自治会	2,000	他に32、33区共同運営自治会館運営費500円
第33区自治会	2,000	
第34区自治会	2,000	
第35区自治会	3,000	
第36区自治会	2,000	
第37区自治会	500	
第38区自治会	2,000	
第39区自治会	2,000	交通安全協会費
千松自治会	3,000	
第41区自治会	1,000	
第42区自治会	1,000	
第43区自治会	3,000	

地域分析シート結果

項目（会長、副会長 ）

設問3 自治会の組織を記入してください。

自治会名	会長人数	副会長人数
第1区自治会	1	2
第2区自治会	1	1
第3区自治会	1	2（うち1名行政区長）
第4区自治会	1	1
第5区自治会	1	2
第6区自治会	1	1
第7区自治会	1	1
第8区自治会	1	2
第9区自治会	1	1
第10区自治会	1	1
第11区自治会	1	1
第12区自治会	1	3
第13区自治会	1	2
第14区自治会	1	1
七日町自治会	1	1
二日町自治会	1	1
第17区自治会	1	1
第18区自治会	1	1
第19区自治会	1	2
小日形自治会	1	1
曲田自治会	1	1
中山自治会	1	1
深萱自治会	1	2
第24区自治会	1	2
第25区自治会	1	1
第26区自治会	1	2
第27区自治会	1	1
第28区自治会	1	1
第29区自治会	1	1
第30区自治会	1	1
第31区自治会	1	2
第32区自治会	1	1
第33区自治会	1	1
第34区自治会	1	1
第35区自治会	1	1
第36区自治会	1	2
第37区自治会	1	2（うち1名行政区長）
第38区自治会	1	1
第39区自治会	1	2
千松自治会	1	1
第41区自治会	1	2
第42区自治会	1	1
第43区自治会	1	1

地域分析シート結果
項目（専門部）

設問3 自治会の組織を記入してください。

自治会名		専門部							部数
第1区自治会	総務部	文教部	女性部	青年部	交通防犯部	生活環境部	自主防災部	保健福祉部	納税推進部
第2区自治会	総務部	文教・産業部	女性部	環境部					
第3区自治会	総務部	生活環境部	保健衛生部	納税推進部	会計(財務)部	文教	女性部	自主防災部	
第4区自治会	総務部	生活環境部	女性部	文教部					
第5区自治会	総務部	生活環境部	文教部	産業部	女性部				
第6区自治会	総務部	文教部	生活環境部	産業部	女性部	スポーツ推進部	保健衛生部	福祉部	
第7区自治会	総務部	文化部	体育部	産業部	防災安全部	生活環境部	保健福祉部	女性部	
第8区自治会	総務部	生活環境部	文教部	女性部	自主防災部				
第9区自治会	総務部	文教部	体育部	産業部	女性部	交通防犯部	福祉部	環境保健部	自主防災部
第10区自治会	総務部	交通防犯部	産業部	保健福祉部	生活環境部	文教部	女性部		
第11区自治会	総務部	文教部	福祉保健部	産業部	女性部				
第12区自治会	総務部	農政部	教育部	運動部	自主防災部	保健福祉部	交通安全部	女性部	納税部
第13区自治会	総務部	文教部	女性部	厚生部	産業部	自主防災部			
第14区自治会	総務部	会計部	産業部	環境部	文教部	女性部			
七日町自治会	総務部	文教部	生活環境部	産業部	女性部	防災部			
二日町自治会	総務部	環境部	保健部	自主防災部	文教部	女性部	産業部		
第17区自治会	総務部	環境部	自主防災部	文教部	女性部	産業部	保健部		
第18区自治会	総務部	産業部	文教部	生活環境部	女性部				
第19区自治会	庶務部	会計部	スポーツ部	資源交通安全部					
小日形自治会									
曲田自治会	生活環境部	産業部	自主防災部	文教部	女性部				
中山自治会	総務部	文教部	産業部	生活環境部	福祉、保健部	女性部	自治会館館長	会計監査部	
深重自治会	社会部	農事部	文教部	福祉保健部	女性部				
第24区自治会	総務防災部	産業部	環境部	保健福祉部	文教青年部	女性部	J A 女性部	庶務会計部	
第25区自治会	総務部	環境部	産業部	文教青年部	女性部	福祉部			
第26区自治会	総務部	納税部	生活環境部	文教部	防災部	産業部	青年部	女性部	保健福祉部
第27区自治会	総務部	産業部	生活環境部	交通防犯部	文教部	女性部	青年部	防犯部	保健福祉部
第28区自治会	総務部	環境衛生部	産業部	保健福祉部	女性部	文教部	青年部	自主防災部	
第29区自治会	総務部	環境部	文化部	女性部	産業部	防災部	厚生部	青年部	
第30区自治会	総務部	産業建設部	生活環境部	文教部	福祉保健部	青年部	女性部		
第31区自治会	総務部	庶務会計部	福祉保健部	生活環境部	産業建設部	青年部	女性部	防災部	
第32区自治会	総務部	文教部	環境部	福祉部	産業部	女性部	納税部	自主防災部	
第33区自治会	総務部	文教部	産業部	税務部	生活環境部	福祉保健部	女性部	自主防災部	
第34区自治会	総務部	産業部	女性部	文教部	生活環境部	防災部			
第35区自治会	総務部	産業部	文教部	生活環境部	保健福祉部	女性部	自主防災部		
第36区自治会	総務部	文教部	青年部	福祉保健部	生活環境部	産業部	自主防災部		
第37区自治会	総務部	産業部	文教部	女性部	環境防災部	福祉保健部	青年部		
第38区自治会	総務部	納税部	産業建設部	文教部	生活環境部	福祉保健部	青年部	婦人部	
第39区自治会	総務部	環境部	研修部	厚生部	自主防災部	体育部	女性部		
千仏自治会	環境保全推進部	町公民館町地の所有形態管理課							
第41区自治会	総務部	生活環境部	保健福祉部	文教部	体育部	女性部			
第42区自治会	総務部	文教部	環境整備部	体育部	福祉保健部	女性部	防災部		
第43区自治会	総務部	環境整備部	文教体育部	福祉保健部	防犯部	納税部	女性部		

地域分析シート結果

項目（ 班数 ）

設問4 班数を記入してください。

自治会名	班数
第1区自治会	13
第2区自治会	5
第3区自治会	11
第4区自治会	8
第5区自治会	8
第6区自治会	8
第7区自治会	8
第8区自治会	13
第9区自治会	9
第10区自治会	9
第11区自治会	12
第12区自治会	10
第13区自治会	8
第14区自治会	8
七日町自治会	9
二日町自治会	8
第17区自治会	9
第18区自治会	8
第19区自治会	7
小日形自治会	1
曲田自治会	7
中山自治会	7
深萱自治会	6
第24区自治会	12
第25区自治会	6
第26区自治会	5
第27区自治会	4
第28区自治会	9
第29区自治会	4
第30区自治会	5
第31区自治会	7
第32区自治会	9
第33区自治会	6
第34区自治会	5
第35区自治会	5
第36区自治会	9
第37区自治会	6
第38区自治会	6
第39区自治会	7
千松自治会	6
第41区自治会	6
第42区自治会	5
第43区自治会	6

地域分析シート結果

項目（ 任期及び任期満了日 ）

設問5 役員の任期を記入してください。

自治会名	任期	任期満了日
第1区自治会	2	令和7年 3月31日
第2区自治会	2	令和6年 3月31日
第3区自治会	2	令和7年 3月31日
第4区自治会	2	令和6年 3月31日
第5区自治会	2	令和6年 3月31日
第6区自治会	2	令和6年 3月31日
第7区自治会	2	令和6年 3月31日
第8区自治会	2	令和6年 3月31日
第9区自治会	2	令和7年 3月31日
第10区自治会	2	令和6年 3月31日
第11区自治会	2	未記載
第12区自治会	2	令和6年 3月31日
第13区自治会		
第14区自治会	2	令和7年 3月31日
七日町自治会	2	令和6年 3月31日
二日町自治会	2	令和7年 3月31日
第17区自治会	2	令和7年 3月31日
第18区自治会	2	令和7年 4月 1日
第19区自治会	2	令和7年 3月31日
小日形自治会	2	令和7年 3月31日
曲田自治会	2	令和7年 3月31日
中山自治会	2	令和6年 3月31日
深萱自治会	2	令和6年 3月31日
第24区自治会	2	令和6年 3月31日
第25区自治会	2	令和6年次期総会時まで
第26区自治会	2	令和7年 3月31日
第27区自治会	2	令和7年 3月31日
第28区自治会	2	令和6年 3月31日
第29区自治会	2	令和7年 3月31日
第30区自治会	2	令和6年 3月31日
第31区自治会	2	令和6年 3月31日
第32区自治会	2	令和7年 2月末日
第33区自治会	2	令和6年 3月31日
第34区自治会	2	令和6年 2月26日
第35区自治会	2	令和7年 2月
第36区自治会	2	令和7年 3月31日
第37区自治会	2	令和7年 3月31日
第38区自治会		令和6年 3月31日
第39区自治会	2	令和7年 3月31日
千松自治会	2	令和6年 3月31日
第41区自治会	2	令和6年 3月31日
第42区自治会	2	令和7年 3月31日
第43区自治会	2	令和6年 3月31日

地域分析シート結果

項目（ 会長選出方法 ）

設問6 会長の選出方法についてお尋ねします。次のいずれか該当するものを○で囲んでください。

自治会名	選択番号	内容
第1区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第2区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第3区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第4区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第5区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第6区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第7区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第8区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第9区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第10区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第11区自治会	4	一本釣り
第12区自治会	4	区を3ブロックに分け輪番選出、総会で承認
第13区自治会	4	役員候補者を各班から推薦
第14区自治会	4	各班で輪番制で選任 専任委員を選出し、会長、各専門部を選任 委員内で決め総会で承認を受ける。
七日町自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
二日町自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第17区自治会	未記載	
第18区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第19区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
小日形自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
曲田自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
中山自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
深萱自治会	4	役員会で選出確認して定期総会で承認
第24区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第25区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している 無理やり押しつけることもある。変動する
第26区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第27区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第28区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第29区自治会	3、4	総会での話し合いで、選出決定している 選出委員を設置し選出（会長）
第30区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第31区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第32区自治会	1、3	立候補により選挙で選出 総会での話し合いで、選出決定している（選考委員が原案）
第33区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第34区自治会	4	各班の中から輪番で役員としてで、そのものの中で互選し会長以下全部決める。
第35区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第36区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第37区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第38区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第39区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
千松自治会	4	班で選出した役員が話し合い決定
第41区自治会	2	班の輪番で、班で選出し総会で承認
第42区自治会	3	総会での話し合いで、選出決定している
第43区自治会	4	班長の中から選出、総会で承認

地域分析シート結果

項目（会計期間及び総会開催時期）

設問7 会計期間と総会時期を記入してください

自治会名	会計期間	総会開催時期
第1区自治会	4月～3月	3月
第2区自治会	4月～3月	4月
第3区自治会	4月～3月	4月
第4区自治会	4月～3月	4月
第5区自治会	4月～3月	4月
第6区自治会	4月～3月	4月
第7区自治会	4月～3月	4月
第8区自治会	4月～3月	4月
第9区自治会	4月～3月	3月
第10区自治会	4月～3月	4月
第11区自治会	4月～3月10日	3月
第12区自治会	4月～3月	4月
第13区自治会	3月1日～2月末	3月
第14区自治会	4月～3月	3月
七日町自治会	4月～3月	3月
二日町自治会	4月～3月	4月
第17区自治会	4月～3月	3月
第18区自治会	4月～3月	3月
第19区自治会	4月～3月	3月
小日形自治会	4月～3月	3月
曲田自治会	3月1日～2月末	3月
中山自治会	4月～3月	4月
深萱自治会	3月21日～3月20日	3月
第24区自治会	4月～3月	4月
第25区自治会	3月1日～2月末	4月
第26区自治会	4月～3月	4月
第27区自治会	4月～3月	4月
第28区自治会	4月～3月	4月
第29区自治会	4月～3月	4月
第30区自治会	4月～3月	4月
第31区自治会	4月～3月	4月
第32区自治会	3月1日～2月28日	3月
第33区自治会	4月～3月	3月
第34区自治会	3月1日～2月28日	3月
第35区自治会	3月1日～2月28日	3月
第36区自治会	4月～3月	4月
第37区自治会	4月～3月	4月
第38区自治会	4月～3月	4月
第39区自治会	4月～3月	4月
千松自治会	4月～3月	4月
第41区自治会	4月～3月	4月
第42区自治会	4月～3月	4月
第43区自治会	4月～3月	4月

地域分析シート結果

項目（一人暮らし世帯及び老老世帯）

設問10 あなたの自治会には一人暮らしの65歳以上の高齢者はいますか。

自治会名	一人暮らし	老老世帯
第1区自治会	10	6
第2区自治会	7	6
第3区自治会	13	13
第4区自治会	9	10
第5区自治会	9	8
第6区自治会	8	11
第7区自治会	7	未記載
第8区自治会	7	9
第9区自治会	未記載	未記載
第10区自治会	7	7
第11区自治会	7	9
第12区自治会	7	7
第13区自治会	6	14
第14区自治会	8	12
七日町自治会	8	8
二日町自治会	11	4
第17区自治会	8	11
第18区自治会	8	未記載
第19区自治会	4	1
小日形自治会	2	3
曲田自治会	7	13
中山自治会	1	11
深萱自治会	6	2
第24区自治会	9	8
第25区自治会	5	13
第26区自治会	2	7
第27区自治会	7	5
第28区自治会	8	11
第29区自治会	未記載	未記載
第30区自治会	3	6
第31区自治会	4	11
第32区自治会	未記載	未記載
第33区自治会	6	6
第34区自治会	5	6
第35区自治会	3	3
第36区自治会	9	12
第37区自治会	5	11
第38区自治会	8	7
第39区自治会	4	20
千松自治会	7	10
第41区自治会	6	11
第42区自治会	7	13
第43区自治会	3	11

地域分析シート結果

項目（高齢者への対応）

- 設問1 2 高齢者の一人暮らし等が緊急時の連絡体制は自治会としてどのようなになっていますか。いづれかを○で囲んでください。（複数可）
- 設問1 3 高齢者福祉においてあなたの自治会ではどのような課題や問題がありますか？具体的に記入してください。
- 設問1 4 現在、あなたの自治会では、高齢者福祉にかかわる事業、支援など実施していますか？該当するものを○で囲んでください。（複数可）

自治会名	緊急時連絡体制	課題・問題	高齢者支援
第1区自治会	隣近所と行政区長		お茶飲み会(年8回)
第2区自治会	隣近所	・道路草刈作業 ・役員構成が高齢化	お茶のみ会
第3区自治会	特に取り決めていない	・災害時についての対応を行政側と突き合わせ、その内容を周知しておくこと。 ・高齢者の孤独や孤立を防ぐ活動メニューが必要	お茶飲み会(年1回) 隣近所としての声かけや援助
第4区自治会	隣近所、自治会、民生委員、行政区長	・老化により諸行事、買い物への移動が難しい ・認知において徘徊者が生じてきている	お茶のみ会(年20回)
第5区自治会	隣近所	・買い物、ゴミ出し、草刈り	お茶のみ会(年10回)
第6区自治会	特に取り決めてしていない	・安全面の確保、生存確認 デマンド型タクシーの周知不足で、知らない人が多く、あまり利用されていない。	特にしていない
第7区自治会	隣近所		お茶のみ会(年10回)
第8区自治会	隣近所	未記載	お茶飲み会の実施(年6回)
第9区自治会	民生委員と行政区長	・緊急時の対応(移動手段) ・家の周りの環境整備	特にしていない
第10区自治会	民生委員と行政区長	役員、班長を輪番制に検討しているが高齢者世帯が増えてきているので班内で高齢者世帯に役員が回ってきたとき申し合わせで順番を変更せざるを得ない状況。	お茶飲み会の実施(年10回)
第11区自治会	民生委員	老老介護 介護人材不足 資金不足	家の草刈り、除雪作業
第12区自治会	民生委員	・自宅周辺の草刈作業や、自宅から公道までの除雪作業をどうするか。 介護、年金の減少、健康不安、移動困難、草刈等環境整備困難 除糞の問題、消防団のなり手不足、農地の荒廃、空き家の増加 年々高齢者が増加し、一人暮らし世帯見守り必要世帯の増加が予想される為、自治会としての取り組みを考える必要がある。	お茶のみ会(年12回)
第13区自治会	特に取り決めていない		お茶飲み会の実施(年12回) 家の草刈り、除雪作業
第14区自治会	特に取り決めていない		特にしていない
七日町自治会	隣近所、自治会、民生委員、行政区長		お茶飲み会(年10回)
二日町自治会	隣近所、自治会、民生委員、行政区長	・サロンなどの集いの場(郷会)の不足	特にしていない
第17区自治会	隣近所	特になし	特にしていない
第18区自治会	隣近所、民生委員	高齢世帯が多くなり、道路の草刈が大変になっている。	特にしていない
第19区自治会	特に取り決めていない	特になし	特にしていない
小日形自治会	隣近所、特に取り決めていない	それぞれ決め方で行っている	お茶飲み会(年6回)
曲田自治会	隣近所、特に取り決めていない	一人暮らしの高齢者や老老世帯の見守り活動を行っていきたいと考えているが、手段が分からない。	特にしていない
中山自治会	隣近所、自治会、民生委員、行政区長	年々高齢者が増えているため、孤独にならないよう、隣近所での声掛け、お茶会(ふれあいサロン)の出席の声掛け、参加を促す。	お茶飲み会(年6回)
深雪自治会	隣近所、に取り決めのをしていない	。免許を返納して買い物に行く手段がない。 。生存確認が難しい。	特にしていない。
第24区自治会	民生委員、行政区長	特になし	お茶飲み会(年12回)
第25区自治会	隣近所	特になし	特にしていない
第26区自治会	隣近所、民生委員、行政区長、自治会	地理的に不便なところに住んでいる高齢世帯の環境整備(草刈、雪かき等)	お茶飲み会(年2回) コロナで中止中
第27区自治会	隣近所、民生委員、行政区長、自治会	老老世帯や一人暮らし世帯が増えている	苦返り除
第28区自治会	隣近所	〇高齢化率50%が目前であり、空き家の増、一人暮らしの増、老老世帯の増により、地域全体の活性化が失われる。 家周辺の草刈や除雪作業 通院や買い物等足の確保・・・等	お茶飲み会(年5回) 数年未実施
第29区自治会	特に取り決めのをしていない	1. 1人住まい 2. 周辺の環境整備出来ない 3. 買い物等に難	お茶飲み会(年5～6回) 高齢者を招待し、世代間交流会 お茶飲み会の実施(年6回) 数年未実施
第30区自治会	特に取り決めのをしていない	老老世帯11軒、1人暮らしの高齢者は4人 いいますが、車の運転等も可能であるため、今のところ問題になっていません。	特にしていない
第31区自治会	隣近所、民生委員、行政区長、自治会		役員会等で情報共有
第32区自治会	隣近所、自治会、民生委員、行政区長民生委員、行政区長が連携し対応(第1報優先)		お茶飲み会(年1～2回)
第33区自治会	隣近所、民生委員、行政区長	・買い物、通院等 ・家の周囲、不耕作地の草刈り	特にしていない
第34区自治会	特に取り決めていない		特にしていない
第35区自治会	隣近所、特に取り決めていない	高齢者世帯数が多くなり、介護が必要な世帯では老老介護となることが予想される。自治会も高齢化が進み、生活環境の援助や福祉援助が難しくなってくるこ	お茶飲み会(年2回)
第36区自治会	隣近所、民生委員、行政区長	とが心配される。	
第37区自治会	隣近所での対応する	自治会行事への高齢者参加が少ない 高齢者交流事業の展開検討 高齢者の意見等把握の機会創出	お茶飲み会(年10回)
第38区自治会	特に取り決めていない	ゴミ捨て、買い物等が大変	特にしていない
第39区自治会	特に取り決めていない	高齢者世帯の見守り	特にしていない
千松自治会	自治会、民生委員、行政区長	一人暮らしの方を自治会、区長、民生委員でどう支えて行くかが課題	お茶飲み会(年9回)、家の草刈、除雪作業
第41区自治会	特に取り決めていない	高齢者の移動	特にしていない
第42区自治会	特に取り決めていない	ゴミ捨て	特にしていない
第43区自治会	特に取り決めていない	除草、除雪、ゴミ出し	特にしていない

地域分析シート結果
項目（少子化対応）

設問 1 5 現在、あなたの自治会には子供会がありますか。いずれかを○で囲ってください。

設問 1 6 設問 1 5 で 1. あるを選んだ自治会にお尋ねします。自治会では子供会の活動にどのような支援をしていますか？

設問 1 7 子供会の具体的活動内容を教えてください。

自治会名		子供会への支援		子供会の活動内容		子育て支援策
第 1 区自治会	ある	子供会の有無	子供会活動実費分を助成している。	子供が少なくて活動していない	なし	なし
第 2 区自治会	ある (複数自治会)			第 5 区自治会子供会とタッグを組んで活動	なし	なし
第 3 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 2 0, 0 0 0 円)	親子レク、お楽しみ会、勉強会、送る会	していない	
第 4 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 2 0, 0 0 0 円)	学習交流会	出席祝い金給付	
第 5 区自治会	ある (複数自治会)		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	花火大会	なし	なし
第 6 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	子供会活動に育成費として 1 0, 0 0 0 円助成している。子供会では夏休み期間中に親子で交流会を実施している。		
第 7 区自治会	少子化でなくなった				特に行っていない	
第 8 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 3, 0 0 0 円)		なし	なし
第 9 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	長期休み期間でレクリエーション	なし	なし
第 1 0 区自治会	少子化でなくなった					
第 1 1 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	田植え〜収穫祭、工作、スケート	なし	
第 1 2 区自治会	ある		子供会活動実費分を助成している。	釣り大会・クリスマス会・どんと祭など	・第 1 2 区結婚を祝う会	
第 1 3 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	どんと祭	なし	
第 1 4 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	小学生全員で 8 名の少人数ですが、夏休みに は親子レクリエーションとして花火大会、海水浴活動により、コミュニケーションをとっている。	特に活動はしていません	
七日町自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 2 0, 0 0 0 円)	親子行事、どんと祭	なし	
二日町自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 2 0, 0 0 0 円)	親子行事、どんと祭	なし	
第 1 7 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	夏休み中のお楽しみ会	特になし	
第 1 8 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 2 0, 0 0 0 円)	花火大会	なし	
第 1 9 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	子供会花火大会、親子レクリエーションなど	特になし	
小日形自治会	なし					
曲田自治会	複数自治会で一つの子供会としてある			夏休みや冬休みの親子レク (海水浴など)	行っていない	
中山自治会	ある (複数自治会)		定額を助成している。 (助成額年 5, 0 0 0 円)	ここ 3 年はコロナで活動していないが、以前はお正月にもちつきを行った。		
深重自治会	ある		助成していない。 定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	バーベキュー大会、どんと祭	特にしている	
第 2 4 区自治会	ある			夏に花火大会、冬スケート、3 月は小学 6 年の送る会		
第 2 5 区自治会	ある		子供会活動実費分を助成している。 自治会と共同で活動を展開、自治会は人的支援	花火大会、自然観察会等	なし	
第 2 6 区自治会	ある		子供会活動実費分を助成している。	花火大会、6 年生を送る会、料理教室等	なし	
第 2 7 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。 複数自治会で一つの子供会としてある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	花火大会、6 年生を送る会、料理教室等	なし	
第 2 8 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 25, 0 0 0 円)	○花壇花壇、夏休み・冬休み行事への参加。勉強会開催。	なし	
第 2 9 区自治会	ある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	夏祭り時の花火大会・どんと祭・・・等		
第 3 0 区自治会	なし				なし	
第 3 1 区自治会	ある		助成していない。 子ども会活動実費分を助成	郷土芸能の継続	なし	
第 3 2 区自治会	ない (別組織で活動 (助成あり))			夏の花観合い等、交通安全見守り	なし	
第 3 3 区自治会	複数自治会で一つの子供会としてある		定額を助成している。 (助成額年 1 0, 0 0 0 円)	夏休み行事・公民館清掃等		
第 3 4 区自治会	なし				行っていない	
第 3 5 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。					
第 3 6 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。				特にしている	
第 3 7 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。				特になし	
第 3 8 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。				特にしている	
第 3 9 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。					
千松自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。			していない		
第 4 1 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。				特に行っていない	
第 4 2 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。				実施していない	
第 4 3 区自治会	昔はあったが、少子化でなくなった。					

地域分析シート結果

項目（青年部）

設問19 青年部のある自治会にお尋ねします。青年部へ活動助成を行っていますか。

設問20 青年部の活動内容についてお尋ねします。

自治会名	青年部の有無	活動助成	活動内容
第1区自治会	ある	行っていない	
第2区自治会	なし	なし	なし
第3区自治会	なし	行っていない	
第4区自治会	なし	行っていない	
第5区自治会	なし	行っていない	なし
第6区自治会	なし		
第7区自治会	なし		
第8区自治会	なし		
第9区自治会	なし	行っていない	
第10区自治会	未記載		
第11区自治会	なし		
第12区自治会	なし		
第13区自治会	なし		
第14区自治会	なし		
七日町自治会	なし	行っていない	
二日町自治会	なし	行っていない	
第17区自治会	なし	行っていない	
第18区自治会	なし	行っていない	
第19区自治会	なし		
小日形自治会	なし	行っていない	
曲田自治会	なし	行っていない	
中山自治会	なし		
深薈自治会	なし	行っていない	
第24区自治会	ある(文教青年部)	行っている (年額5,000円)	花火大会、スケートしている。
第25区自治会	ある	行っている。 (年額 各年度予算円)	地域行事への参画 地域の草刈作業 地域のコミュニケーション活動 (パーベキューや子供会参画)
第26区自治会	ある	行っている (年額10,000円)	親睦会
第27区自治会	ある	行っている (年額10,000円)	世代間交流(ピアガーデン)
第28区自治会	ある	行っている (年額10,000円)	○各種スポーツ活動への参加
第29区自治会	ある	行っている(年額 実費 又は一部を助成)	①夏祭り(盆踊り)の運営や出店 ②スポーツ行事への参加
第30区自治会	ある	行っている。 (年額 定めてない)	お花見会
第31区自治会	ある	行っている。不定額	現在、部員も少なくなり、休部状態です
第32区自治会	なし	行っていない	
第33区自治会	なし		
第34区自治会	なし		
第35区自治会	なし		
第36区自治会	ある	行っている (年額20,000円)	野焼祭作品制作、青年部交流会
第37区自治会	ある	行っている (活動費実費分)	青年部交流会
第38区自治会	ある	行っていない	
第39区自治会	なし		
千松自治会	なし	行っていない	
第41区自治会	なし		
第42区自治会	なし		
第43区自治会	なし		

地域分析シート結果
項目（自治会憲章）

設問2.1 自治会憲章についてお尋ねします。自治会憲章を右記に記入願います。

自治会名	自治会憲章の有無	自治会憲章
第1区自治会	なし	
第2区自治会	なし	
第3区自治会	あり	・災害時についての対応を行政側と突き合わせ、その内容を周知しておくこと。 ・「憲章」という名称ではないが、「規約」を設置している。 ・昭和55年9月1日施行
第4区自治会	なし	
第5区自治会	なし	
第6区自治会	あり	藤沢町第6区自治会憲章 わたくしたちは、明るく美しい豊かな部落をつくるため、この憲章をまもります。 1. 郷土を愛し、仕事に励みましょう。 1. 秩序を守り、時間を大切にしましょう。 1. 教養を高め、文化の創造につとめましょう。
第7区自治会	未記載	
第8区自治会		
第9区自治会	あり	1. 私たちは和をはかり互いに助け合い、住み良い地域をぎぎきます。 1. 老人を大切にし、明日の地域をになう青年に希望をもてる地域をつくります。 1. 私たちは緑を育て、生涯にほげみ、地域の繁栄をはかります。
第10区自治会	未記載	
第11区自治会		前会長、ぜんざん会長に聞いたところ、自治会憲章について記憶にないおられた等でした。
第12区自治会	あり	1. 友愛と団結で明るい部落を作りましょう 2. 未来を開く青少年の夢と希望を伸ばしましょう 3. 老人をいたわり古き事にも理解をもちましょう 4. お互いに時間ときまりを守りましょう
第13区自治会	ある	ー 常に老人をいたわり過去の歴史を尊重しましょう ー 常に相手の立場になって物事を考えましょう ー 団体の責任を自覚しましょう ー 時間を守りましょう ー まず健康で親と子の対話に努め明るい家庭を築きましょう ー 文化活動を進めましょう
第14区自治会	なし	
七日町自治会	なし	
二日町自治会	ある	私たちは竹駒を中心に敬神崇祖の理念を高め互いに實感を自覚し二日町自治会の発展に努めます。
第17区自治会	なし	
第18区自治会	ある	昭和61年制定 1 わたしたちは、融和協同を図りましょう 1 わたしたちはお互いの健康管理に気をつけましょう 1 わたしたちは、正しく時間を守りましょう 1 わたしたちは、自然を愛し、公署の内地区を作りましょう 1 わたしたちは、老人を大切にし、夢をのぼしましょう
第19区自治会	ある	第19区自治会憲章 1. 私達は人と人とのふれあいを大切にし明るい集落づくりに努力します。 2. 私達は仕事に知性と教養を身につけ豊かな集落づくりに努力します。 3. 私達は自然と意まれた伝統を守り力を高め住みよい集落づくりに努力します。
小日形自治会	ある	ー、私達は、より美しくより住みよい部落をつくります。 ー、私達は、健康で明るい家庭をつくります。 ー、私達は、力をあわせ仕事にはげみます。
曲田自治会	ある	昭和50年10月12日に制定した「曲田部落自治会憲章」が昭和68年までに総会資料に添付されていたが、平成になってからは添付されておらず、現在に至ってはあったことを知っている者もないので有効かどうかは疑問であり、その内容についても現代に合わないものである。
中山自治会	ある	中山自治会憲章 昭和51年1月1日制定 私達は、この山紫水明の地を誇りに思い、心温き人情を忘れる事なく後世に伝える事を目的に、この憲章を定めます。 1. 自治会の振興を活動の根幹に置き金戸参加をもって自治会を明るくしましょう。 2. 時間勵行を旨とし規律ある生活をもって自治会を明るくしましょう。 3. 公共物を我が財産である事を自覚し、共に清掃保潔する事をもって、明るい自治会を作りましょう
漆置自治会	なし	
第24区自治会	ある	この自治会は、24区民相互の理解と親睦を図り、共同の福利の増進と明るく豊かにして健康あふれる地区民生活を確立し、地区の発展に寄与する。
第25区自治会	ある	あ あたらしいだけにとられず、良い伝統は残しましょう い 忙しい中でも趣味や修養を高め家族団らんを待ちましょう う 美しい意まれた清浄な環境をあらゆる雪から護りましょう え 衛生保潔に留意して趣やかに楽しく働きましょう お おだやかな部落を事件や事故不祥事の無い平和公明な安住の地にしましょう
第26区自治会	ある	私たち26区民は互いに支え合って豊か明るい住みよい部落をつくるため、この憲章を定めます。 一、私たちは、きまりを守り、時間の勵行をいたします。 二、私たちは、学習を重ね、部落の発展につとめます。 三、私たちは、健康を大事にし、体力づくりにつとめます。 四、私たちは、助労を重んじ、生涯に勵みます。 五、私たちは、和を大事にし、何事も話し合いによってすすめます。
第27区自治会	ある	黄金山より湧き出る清水に育まれて、清く正しく美しくそして健やかに暮らしましょう
第28区自治会	ある	第28区自治会憲章 昭和51年1月1日制定 私達28区自治会員は自覚と責任をもって融和団結し豊かで明るい部落を築くため憲章を定めこれを守ります。 1 お互い時間を守り集会には必ず出席しましょう 1 老人をいたわり子供の夢を伸ばし話し合いを深め明るい家庭を築きましょう
第29区自治会	ある	健康で明るく豊かな地域を作りましょう。 豊かな暮らしを目指し、地域の繁栄をめざしましょう。・・・(抜粋)
第30区自治会	ある	会員相互の理解と協同を図り、共同福利の増進と地域の発展に寄与する。
第31区自治会	ある	1. 健康で安心に住める地域づくり 2. 元気があつて希望の持てる地域づくり 3. この地域に住んで良かったと笑顔でできる地域づくり
第32区自治会	なし	
第33区自治会	なし	
第34区自治会	なし	
第35区自治会	なし	
第36区自治会	なし	
第37区自治会	不明	
第38区自治会	なし	
第39区自治会	あり	・自分でしたことは自分でしよう ・力をあわせて成すべきことを成し遂げよう ・働く喜びとゆらぎの楽しみを待とう みんな楽しく 心豊かに 笑顔がやぐさと 千松
千松自治会	スローガン（基本方針）	
第41区自治会	なし	
第42区自治会	なし	未制定
第43区自治会	なし	未制定

地域分析シート結果
項目（自催・独自事業）
期間2.2 あなたの自治会内にある自催できるもの、象徵となるものを教えてください。（複数可）
期間2.3 あなたの自治会の独自または特徴的な事業、行事を教えてください。

自治会名	自催・象徵	独自事業
第1区自治会	なし	年回研修旅行 なし
第2区自治会	旧藤沢小学校及び旧町立藤沢保育園・幼稚園が隣駅、隣園になり、自費できるものはない。	なし
第3区自治会	・「鶴山」からの眺望の復活 ・地域の先達から運もれている財産のほりおこし ・坂道、小運の景観の保持、名称付け	・大規模花壇づくり ・研修旅行 ・新年会
第4区自治会	未記載	未記載 川まつり、茶話会
第5区自治会	自然、人とのつながり、促しき、静達さんのどろく、真、敬集、雄、新地川、佐藤仰天の刺身、住みやすさ、近助つきあい、人柄の良さ、互助精神、お年寄りや子どもを見守る意識、川まつり（夏の岩手の一番の思い出、我が子にぜひ体験させたい懐かしの行事）、お茶会、自然災害が少ない、米作り	なし
第6区自治会	なし	なし
第7区自治会	高鳥彦山 郷、トマト、ピーマン	飲み会
第8区自治会	未記載	未記載 ・福祉芸術祭（中止中）
第9区自治会	・唐澤、いちご ・南木山 ・吉富川の清流	なし
第10区自治会	稲作中心ですが最近りんご生産農家が2軒 小菊生産と多少変わりつつある。	各班ごとに環境整備事業として伐採・間伐上げ等実施
第11区自治会	栗山神社 藤勢寺	なし
第12区自治会	岩倉明神神社、大蔵堂神社、山ノ神神社、相ノ沢神社 岩手南牛、米、ピーマン 田畑遊歩散策（藤崎かんばい）	東北観光、第12区結婚を祝う会、厄除け慶祝い、どんと祭 花見会、自治会・農家組合・稲刈り番組合同研修旅行
第13区自治会	曹洞宗妙法山長昌寺	どんと祭、しめ縄教室、お茶会 以前は自治会敬老会がありましたが、世話人の高齢化により中止になりました。 又、コロナ禍により数年中止になっていた研修旅行も令和6年より実行する予定です。
第14区自治会	特になし	ミニ運動会、敬老会 二日町夏祭り 特になし
七日町自治会	災害課、備蓄米制度	なし
二日町自治会	二日町祭神太鼓	なし
第17区自治会	特になし	なし
第18区自治会	栗産米米保存会	なし
第19区自治会	土地が平気で美しい田園風景	1. 1月1日新婦さん、厄年の方を招いての新年会 2. どんと祭(1月中旬) 3. 12月31日 厄年歳初祈禱(保寿寺において)
小日形自治会	①県内一番樹高のあるいちじくの大木有り（市指定天然記念物） ②峠上山 自然：北上川、国青林野 建造物：沼盛神社、花蔭橋 観光施設：岩手サファリパーク、寛情りんご園、Ark鹿ヶ森（隣接） 産業施設：国営開発農地（市ノ沢団地）、藤沢有機肥料センター 営業組織：曲田農業組合 行事：曲田マルシェ（曲田農業組合まがれつと呉共郷）	○おひまつ御南神（夏まつり） 新年交歓会、安全祈願祭（毎年1月1日に開催） 花蔭橋清掃（3月の第1曜日に実施） 先達地研修（農家組合、営業組合と共催）
曲田自治会		
中山自治会		
深置自治会	横田、藤沢橋	花見会、スポーツ大会、どんと祭 竜良神神社例祭 お茶ご飲み会とか一皿運動で訪問活動
第24区自治会	毎月会議している	なし
第25区自治会	ひまわり(菜の花)畑 自治会館法面の桜の古木 ごみステーションの「しだれ桜」 花壇	なし
第26区自治会	交流の丘（桜）	河川の草刈
第27区自治会	黄金山 ほたるの里	新年会（蕎麦打ち） 七夕カーデソ ○新年会の席上、燕祝い、新婦さんのお祝い開催
第28区自治会	なし	なし
第29区自治会	当地域には、農事組合法人「ふる砂嘴ファーム」があり多数参加しており、水田等の新作放棄を抑制している。	①新年会、どんと祭 ②自治会研修（日帰り旅行） ③世代間交流事業（日帰り旅行）
第30区自治会	神社(弥栄神社)	なし
第31区自治会	・女性部有志による サングラスコンテスト三昧戦 ・唐澤農交民館の開催（コロナ終息まで休館中）	・地域一斉草刈り作業後の懇話会 ・年に一度の研修旅行
第32区自治会		
第33区自治会	*立石神社 *増沢神楽保存会 *増沢やさい村	*さんさん連のわき（今年8月から始めた企画）
第34区自治会		コロナのため、新年会の開催を中止とし、かわりに雪外でできる「初日の出を見る会」を行った。自然も行うかは現在未定。
第35区自治会		
第36区自治会	りんご、米、野菜 松置芭蕉印頭、俳人佳村露地 俳人秋露露地、天照星（保呂羽神社分霊社）	新年会
第37区自治会	保呂羽山（延天満宮） 埴子川（養生池） 長徳寺(曹洞道真公木造) 熊沢朝香碑	37区地域内一般県道藤沢大蔵橋及び筑前川環境整備事業 自治会研修旅行、女性部研修旅行、新年交歓会幹事会幹事
第38区自治会		
第39区自治会	金越沢ダム	野焼き作品作り ・研修旅行 ・新年会
千松自治会	千松地域の環境 （二風川の樹木、伐採放棄を千屋土木センターに集約実施、エコモ栽培者による地域の草刈、地蔵会員による道路河川清掃を行い地域環境が守られている。 キリシタン殉教に因る史跡 キリシタン殉教公園（船越保武作品、碑） 大廻りんご、炊焼き、製菓の歴史	①新年会 ②どんと祭 ③千松パロン事業
第41区自治会	・芭蕉句碑「風流の はしめや里の 田植えうた」 ・伊豆越後社 ・生糞化石（旧大蔵小学校） ・キリシタン道路（保登子橋蔵）	特になし
第42区自治会	大廻焼き、酒木焼、雪神道、金屋蔵大権現、ガソボクエゴノギ、キリシタン道路（トキゾー河川堤、ハセバ音蔵）	自治会旅行、焼き肉開催会、新年会
第43区自治会		

地域分析シート結果
項目（議題・将来予想・自治会事項）

説明2.4 あなたの自治会で課題となっている、心配なことがありますか、
説明2.5 少子高齢化により、今後10年間であなたの自治会でのような変化、影響が考えられますか、既述するものも○で囲んでください。（複数可）
説明2.6 自治会の課題についてお答えします。次の経過するものも○で囲んでください。

自治会名	自治会事項	地域課題	将来予想	自治会事項
第1区自治会	第2区自治会	第3区自治会	第4区自治会	第5区自治会
第6区自治会	第7区自治会	第8区自治会	第9区自治会	第10区自治会
第11区自治会	第12区自治会	第13区自治会	第14区自治会	第15区自治会
第16区自治会	第17区自治会	第18区自治会	第19区自治会	第20区自治会
第21区自治会	第22区自治会	第23区自治会	第24区自治会	第25区自治会
第26区自治会	第27区自治会	第28区自治会	第29区自治会	第30区自治会
第31区自治会	第32区自治会	第33区自治会	第34区自治会	第35区自治会
第36区自治会	第37区自治会	第38区自治会	第39区自治会	第40区自治会
第41区自治会	第42区自治会	第43区自治会	第44区自治会	第45区自治会
第46区自治会	第47区自治会	第48区自治会	第49区自治会	第50区自治会
第51区自治会	第52区自治会	第53区自治会	第54区自治会	第55区自治会
第56区自治会	第57区自治会	第58区自治会	第59区自治会	第60区自治会
第61区自治会	第62区自治会	第63区自治会	第64区自治会	第65区自治会
第66区自治会	第67区自治会	第68区自治会	第69区自治会	第70区自治会
第71区自治会	第72区自治会	第73区自治会	第74区自治会	第75区自治会
第76区自治会	第77区自治会	第78区自治会	第79区自治会	第80区自治会
第81区自治会	第82区自治会	第83区自治会	第84区自治会	第85区自治会
第86区自治会	第87区自治会	第88区自治会	第89区自治会	第90区自治会
第91区自治会	第92区自治会	第93区自治会	第94区自治会	第95区自治会
第96区自治会	第97区自治会	第98区自治会	第99区自治会	第100区自治会

地域分析シート結果

項目（課題・協議会への要望）

設問27 藤沢町住民自治協議会に要望、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

自治会名	地域課題
第1区自治会	
第2区自治会	大変良く頑張ってくれていると思います。
第3区自治会	・人口減少をくい止める方策を考えてほしい。 ・バスの運行回数を増やす取り組みをして欲しい。 ・梅ヶ沢地区において防災無線が聞きづらい。
第4区自治会	
第5区自治会	・少子高齢化の打開策の事例、アイデアの紹介（他地区、他県、他国などの先進事例などから） ・ラインやSNS等の通信の活用事例（自治会としての有効活用例） ・統合した場合の自治会活動のメリット、デメリット いつも笑顔で誠意に対応してくださる事務局の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。助かります。㊦
第6区自治会	
第7区自治会	書類が多すぎる。 報告書類はメールも可能にして欲しい。
第8区自治会	
第9区自治会	行事、会議などの人員招集要請縮小、廃止
第10区自治会	○町内自治会長とのWSを開催してみては？ 自治会長としての悩み・問題等共通することがほとんどのように思える。 そんな思いを会長として本音がいえる場所があれば良いと思います。参加者はネームプレートを必ず付けること。 会長同士のコミュニケーションいわゆる飲みニケーションが必要。会長やって良かったと思えることが一つぐらいあってもいいのでは？
第11区自治会	・自治会地域計画を作成して何になるのか？ ・過去の計画に対して実施検証又は計画に対しての活動になっているのか？ ・あまり意味がない ・無駄な活動
第12区自治会	・この番号にFAXを送ってくださいと、電話番号をわざわざ太字で書いてきたり、郵便物の住所に脱字があったり小さなミスが多い。もう少し丁寧な仕事をして欲しい。
第13区自治会	・自治会長に対する各種研修やイベント参加の依頼文書には、参加要請人数を〇名と明記してほしい。腹巻に記載しないこと。 ・ミニ計画策定関連データがホームページでダウンロードできるということを記載すべきだった。これ以外でも様式を定めて提出を求める依頼文書には、できるだけ様式をダウンロードできる事を記載してほしい。 ・リサイクル回収の品目別単価は前回との比較増減を記載してほしい。市場がどのように変化しているのかを知る機会ともなる。
第14区自治会	
七日町自治会	
二日町自治会	
第17区自治会	
第18区自治会	
第19区自治会	記載なし
小日形自治会	・一年間の行事が多いのですが、参加できない。
曲田自治会	
中山自治会	
深雲自治会	
第24区自治会	特になし
第25区自治会	25区自治会活動は、自治協議会が行っている程、積極的な活動を行えそうもありません。
第26区自治会	高齢化により協力できる人は限られていることから、事業は効率よく最小限にしてほしい。
第27区自治会	自治会員が減っているし、高齢化も進んでいるが、年々行事が多くなって対応できないこともある。
第28区自治会	
第29区自治会	
第30区自治会	
第31区自治会	
第32区自治会	
第33区自治会	
第34区自治会	
第35区自治会	市道「増沢新沼線」の石倉～神田橋間は車の交通量が多いが歩道がなく、歩行者にとって危険です。 今後は高齢者が免許返納後の移動手段として歩行補助器（手押し車）やシニアカー等で出かけることが増えてくるかもしれません。そのため歩道の整備が望まれております。
第36区自治会	
第37区自治会	・藤沢町住民自治協議会事業について自治会に関する事業はできるだけ各自治会へ事業内容を周知願いたい。 ・スマホ等のメール連絡網等の活用も検討願いたい。 他市地域における地域づくりについて積極的な情報提供を継続願いたい。 ・藤沢町住民自治協議会役員選出において、結果的に一部関係者で決定した形にならないよう、全地区協議会が関わる形での選出方法を工夫後検討願いたい。
第38区自治会	
第39区自治会	
千松自治会	自治会への事務的なものは少なくしてほしい
第41区自治会	回答の一部は個人の判断で、自治会で確認したものではありません。また、一部数値は、正確とはいえないものがあります。
第42区自治会	
第43区自治会	

